

準備

入力

編集

印刷

活用

付録

TEPRA

PRO



SR550 取扱説明書

「TEPRA Label Editer SPC10」は「テプラ クリエイター」に名称変更しました。
本書における文中的「TEPRA Label Editer SPC10」は「テプラ クリエイター」を
指します。



KING JIM

はじめに

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR550をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テプラ」PRO SR550の使いかたを、「準備」「入力」「編集」「印刷」「活用」「付録」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テプラ」PRO SR550を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

・本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じことがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。

なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、「KING JIM」、「テプラ」、「テプラ」PRO、Pテープマークはいずれも株式会社キングジムの登録商標です。

「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「QRコード」は株式会社デンソーウエーブの登録商標です。

その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

	危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
	警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
	注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	△ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	○ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	● 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

!**危険**

電池の取り扱いについて



電池の液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。



!**警告**

ACアダプタについて



同梱の専用ACアダプタ（AC1116J）以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

電池の取り扱いについて



電池の(+)と(−)を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。



新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



充電式ニッケル水素電池を使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。



その他



本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶったり、飲み込んだりしないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



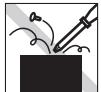
⚠ 警告



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

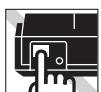


⚠ 注意

オートトリマーのお手入れについて



「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。



オートカッターについて



印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。



電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じことがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

- テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



- テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



- テープカートリッジは直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。

テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。

印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。

使用済みの「テプラ」テープカートリッジは、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、当社までお送りください。

回収方法については、当社ホームページをご確認ください。

https://kingjim.jp/tepra_recycle



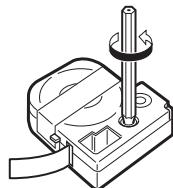
テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

■ セット前に、必ずインクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破れたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



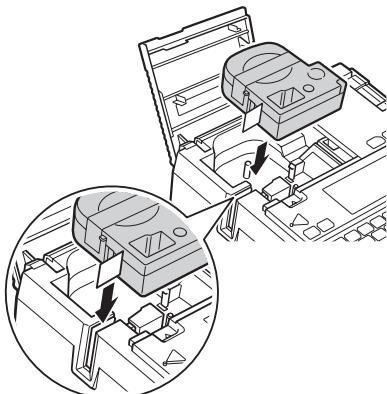
■ 正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする ([ソフト] + <印>)

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞P.28「5. テープ送りをする」

その他のご注意

- 本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光のある場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- ACアダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- テープカートリッジは、必ずPマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。点字テープカートリッジ（DL規格）は、お使いになれません。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに  (印刷) を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず  +  (=テープ送り) でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
- オートトリマーにはPマーク以外のラベルを差し込まないでください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となったアルカリ乾電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 取扱説明書に記載された内容、仕様、デザインなどは予告なく変更されることがあります。

本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

入力

文字入力の基本操作と段落の追加などテキスト画面での操作について説明しています。初めて「テプラ」PROシリーズをお使いになる方は、順を追って読まれることをおすすめします。

編集

文字サイズや書体機能などラベルの見栄えをよくする情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。

印刷

基本的な印刷から特殊印刷まで説明しています。

活用

ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テプラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【表記】	【説明】
①、②	操作の手順を示しています。
M 、 50	文字ボタンを示しています。 ボタン上側の文字は省略して表記している場合があります。
文字サイズ 、 縦・横 、 編集	機能ボタンを示しています。
△▽◀▶	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照 □	関連する事項の参照ページを案内しています。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!!注意!!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について： 本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

安全上のご注意…必ずお守りください！	1
テープカートリッジ取り扱いについての ご注意	4
テープカートリッジをセットするときの ご注意	5
その他のご注意	6
本書の使いかた	7
本書の構成	7
本書の見かた	7
同梱品の確認	10
別売品のご案内	11
まず使ってみよう…	
すぐ使いたい人のために	12
「テプラ」PRO SR550の特長	14

準備

各部の名前とはたらき	16
本機各部の名前（表）	16
本機各部の名前（内部）	16
本機各部の名前（裏）	17
本機各部の名前（背面）	17
操作パネルの名前とはたらき	18
ディスプレイの見かたとはたらき	20
使う前の準備	22
1. ACアダプタを接続する	22
2. 電池（別売）を入れて 使用するときは	22
3. テープカートリッジをセットする	25
4. 電源を入れる	27
5. テープ送りをする	28
6. 使い終わったら（電源を切る）	28

入力

文字を入力する	30
文字入力をはじめる前に	30
入力状態の切り換え	32
文字を入力する	33
長い文章を変換する	36
変換する「読み」の長さを変える	36
英字を入力する	37
スペースを入力する	38
記号（絵文字）を入力する	39
文章を作成する	40
カーソルボタンの使いかた	40
文章を入力する	40
文字を削除/挿入する	41

すべての文章を消去する	41
文字をコピーする	42
文字を貼り付ける（ペースト）	42
行を増やす（改行）	43
新しい行を作る	43
文字を次行に移動する	44
改行を取り消す	44
段落を増やす（改段落）	45
新しい段落を作る	45
段落を分割する	46
読みのわからない漢字を入力する	47
漢字検索メニュー一覧	47
コードで入力する	48
部首による漢字検索	49
連番を入力する	50
バーコードを入力する	52
バーコードメニュー一覧	52
バーコードを入力する	53
QRコードを入力する	55

編集

書体を変更する	58
書体を使う	58
文字サイズを変更する	59
文字サイズを使う	59
ラベルの向きを変更する（縦・横）	60
縦・横を使う	60
ラベルを装飾する（編集）	62
編集機能を使う	63
編集メニュー一覧	65
編集機能の説明	68

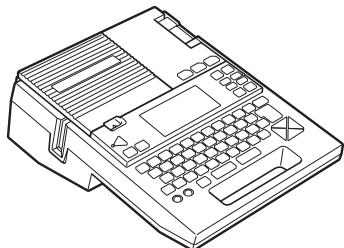
印刷

印刷イメージを確認する（プレビュー）	80
印刷する	81
カドを丸く仕上げる（オートトリマー）	82
ラベルを貼る	83
特殊印刷	84
特殊印刷メニュー一覧	84
テープ幅より大きなラベルを作る （拡大印刷）	85
同じラベルを連続して印刷する （連続印刷）	87
鏡文字を印刷する	88

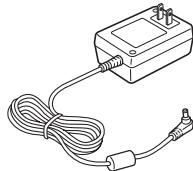
印刷設定	89	各種の初期値（保存値）を設定する	127
印刷設定メニュー一覧	89	保存値を変更する	128
「自動カット」を設定する	90	本機を初期化する	129
印刷濃度を調整する	91	初期化する	130
印刷設定をリセットする	92	表示の切り換え（みえ ² ）	131
活用		デモ印刷をする	132
ビジネスフォームを使う	94	付録	
ラベルの作りかた	95	テープカートリッジを使いわける	134
ビジネスフォームメニュー一覧	97	こんな表示が出たときは	135
デザインフォームを使う	98	ディスプレイが消えたときは	135
ラベルの作りかた	98	エラーメッセージが	
デザインフォームメニュー一覧	100	表示されたときは	135
文章を呼び出す・登録する（ファイル）	101	故障かな？と思ったら	137
ファイルメニュー一覧	101	正常な動作をしない	137
ファイルを登録する	102	○を押してもディスプレイに	
ファイルを呼び出す	103	何も表示されない	137
ファイルを消去する	104	ディスプレイが消える	137
最近印刷した文章を呼び出す	105	キーボードが動作しない	137
印刷履歴を呼び出す	105	◀ (印刷) を押しても何も	
印刷履歴を消去する	106	印刷されない	137
名前や語句を登録する		文字がきちんと印刷されない	138
（あて名/名前/辞書）	107	ラベルを印刷後、自動カット	
あて名ラベルを作る	107	されない	138
あて名を登録する	108	オートトリマーでうまくカット	
あて名を修正する	109	できない	138
あて名を消去する	109	文章の途中までしか印刷されない	139
あて名を複写する	110	ファイルの内容が消えてしまった	139
あて名ラベルを印刷する	110	ラベルを貼り付けることができない	139
カスタマバーコードについて	111	お手入れについて	140
名前を登録する	113	本機外側の汚れ・ホコリは	140
名前を修正する	114	印刷が欠けたりカスレたりする場合	141
名前を消去する	114	ヘッド・クリーニングテープ（別売）を	
名前ラベルを印刷する	115	使う	141
変換できない語句を登録する		入力文字一覧表	142
（辞書の登録）	116	入力文字表	142
語句を呼び出す	116	入力文字表（かなめくり入力）	142
辞書の語句を修正する	117	ローマ字変換表	143
辞書の語句を消去する	117	漢字変換表	144
外字を使う	118	JIS第1水準	144
外字を作成し、登録する	120	JIS第2水準	148
外字を修正する	121	その他	151
外字を呼び出す	121	外枠一覧表	152
外字を複写する	122	記号一覧表	154
外字を消去する	122	絵文字一覧表	156
外字を参照作成し、登録する	123	デザインフォーム一覧表	160
環境設定を変更する	124	おもな仕様	165
環境設定メニュー一覧	124	索引	167
バックライトの切り換え	125	アフターサービスについて	巻末
ディスプレイの濃度を調整する	125		
学習内容を初期化する	126		
電池種類を設定する	126		

同梱品の確認

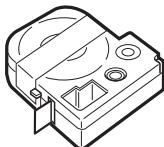
同梱品がすべて揃っているか、確認してください。



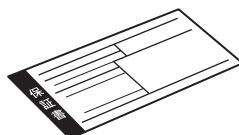
「テプラ」PRO SR550本体



ACアダプタ（AC1116J）



試用PROテープカートリッジ



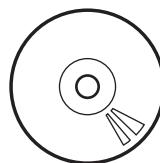
保証書
(箱の側面に添付)



SR550取扱説明書（本書）



PCラベルソフト取扱説明書



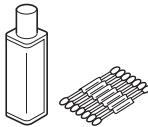
CD-ROM

MEMO

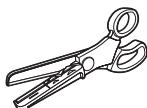
- ・本機には、電池は同梱しておりません。電池でお使いになる場合は、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）をお買い求めください。
- ・本機にはパソコン接続用のUSBケーブルは同梱しておりません。パソコン接続には市販のUSBケーブルをご使用ください（USB2.0/1.1ケーブル A-Bタイプ）。

別売品のご案内

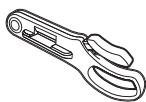
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



ヘッド・クリーニングキット
(RC15)
印刷ヘッド専用クリーニング
液です。



トリマー (RT36W)
ラベルのカドを丸くカットし
て、はがれに強い、きれいな
ラベルに仕上げるハサミ型ト
リマーです。ラベルの前後余
白調整にも便利です。
対応ラベル：4～36mm幅
※本機の対応ラベルは4mm～
24mmです。



ハーフカッター (RH24)
ラベルの印刷面にスリットを
入れて、ラベルの裏紙をはが
しやすくなります。
対応ラベル：4～24mm幅



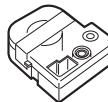
USBデバイスサーバ (RDS10)
無線LANまたは有線LAN環境
に本機を導入することができます。



システムバッグ (SR8B)
ウレタン・ボンディング・ナ
イロンを使用したクッション
性に優れたバッグです。「テ
プラ」PRO本体とテープカート
リッジ、取扱説明書などが収
納可能です。



テープカートリッジケース
(SR4TH)
A4ポックスサイズにテープ
カートリッジ(12mm幅40個
分)が収納可能です。4つの
ポックスでテープ色・幅・種
類ごとに整理できます。



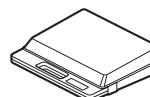
ヘッド・クリーニングテープ
(SR24C)
「テプラ」本体のヘッドクリー
ニング用のテープです。



ラベルラミネーター (RL18)
ラベル表面に透明のラミネー
トを施し、表面を保護します。
薬品、油、こすれなどからラ
ベルを守ります。
対応ラベル：9～18mm幅
※4mm幅、6mm幅のテープに
は対応していません。



りぼんキット (SRR10)
ミニサイズで使いやすい手芸用
はさみと、印刷前に使いたい長
さを確認できる綿製のメジャー、
おまけシールのついた「テプラ」
PROテープカートリッジりぼん
専用のオプション品です。



システムトランク (SR9BTM)
耐衝撃性に優れたトランクで
す。「テプラ」PRO本体とテー
プカートリッジ、同梱品、別
売品などが収納可能です。



システムケース (SR9H)
A4ポックスサイズに「テプラ」
PRO本体とACアダプタ、テー
プカートリッジ(12mm幅10
個分)などが収納可能です。
印刷済みラベルの整理用ラベ
ルファイル付きです。

MEMO

詳細については、当社ホームページ（アドレス <http://www.kingjim.co.jp/>）をご覧いただくな
ど、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。

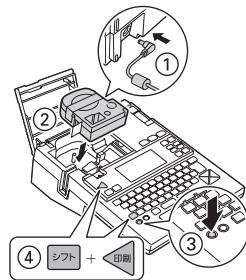
参照／^②卷末「アフターサービスについて」

まず使ってみよう…すぐ使いたい人のために

ラベル作成の準備をします。参照☞ P.22「使う前の準備」

- ① ACアダプタを本機に接続する
- ② テープカートリッジをセットする
- ③ 電源を入れる
- ④ テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は必ず
テープ送りをしてください。



準備

印刷する文字を入力します。参照☞ P.30「文字を入力する」

- ① [入力切換] を押して、「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ
- ② 文字を入力する→仮確定文字（ネガ表示）で入力されます



ATOK	伊藤 伊東
	伊藤忠 伊藤園
①	いとう

ローマ字入力 : 〔y〕〔t〕〔o〕〔u〕

かなめくり入力 : 〔あ〕×2回、〔た〕×5回、〔か〕×3回

※ 入力直後は〔▽〕〔△〕で予測入力の候補から単語を選択できます。

参照☞ P.35「予測入力を使う」

文字を入力する
(例: 伊藤)

- ③ 「伊藤」が表示されるまで [変換 スペース] を押す
- ④ [選択(決定)] を押す→「伊藤」が確定します

A i t o u
伊藤
001 伊東
伊藤

候補が表示されます。

[変換 スペース] を押すたびに候補が変わります。

X:X cm XXX mm	伊藤
1 伊藤	

行頭マークが①に変わります。



- ラベルの見栄えを変更するには…。
- 〔書体〕…押すたびに書体を切り替えます。
 - 〔文字サイズ〕…押すたびに文字サイズを切り替えます。
 - 〔裏・縦〕…押すたびにラベルの向きを切り替えます。

その他の機能については「ラベルを装飾する（編集）」を確認してください。

参照☞P.62

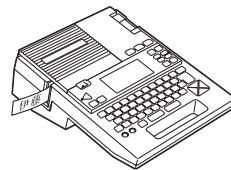
印刷する

1 (印刷) を押す→ラベルが印刷されます

印刷終了後、テープは自動カットされます。

テープは絶対に手で引っ張らないでください。

参照☞P.81「印刷する」



ラベルを貼る

1 裏紙をはがし、しっかりとこすって貼り付ける

参照☞P.83「ラベルを貼る」



「テプラ」PRO SR550の特長

■ 4行×8文字 バックライト付ワイド液晶

ワイド液晶の採用でラベルイメージが把握しやすくなりました。しかも見やすいバックライト付！

■ 打ちやすくて快適！幅広プラキートップ採用

パソコン配列の「ローマ字入力」と、「かなめくり入力」の2種類の入力形式が選べます。

■ ビジネスフォームキー搭載

「ファイル背見出し」「備品管理」などビジネスシーンでよく使うラベルを簡単に作成できます。

■ 「丸ゴシック」「ポップ体」を新搭載

表示内容をやわらかく表現する「丸ゴシック」と、かわいい書体の「ポップ体」を新搭載！

基本書体の「ゴシック」「明朝体」を含む漢字7書体・かな11書体・英数13書体となって、ますます表現豊かなラベル作成が可能になりました。

■ 「予測入力機能」付のATOK搭載

使いやすさに定評のある日本語入力システム「ATOK」を搭載。

また予測入力機能に加え、カタカナ読みを正しいスペルに変換する「カタカナ語英語変換」や、「記号変換」「絵文字変換」機能を搭載しました。

※「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

■ 「オートカッター」「オートトリマー」搭載

もちろんラベルは自動カット。カド丸仕上げもラベルを差し込むだけの簡単操作です。

※オートトリマーは9~24mm幅対応。また一部対応できないテープがあります。

■ 4~24mm幅のテープ対応

4・6・9・12・18・24mmの6種類のテープ幅に対応しているので、幅広い用途にご使用頂けます。

■ パソコン編集用ラベルソフト対応！

パソコンならではの高い操作性で、ラベルや文字の編集が簡単なPCラベルソフト「SPC10」に対応しています（MacOSは「シンプルラベルソフト TEPRA SMA3」に対応しています）。

※パソコン接続には市販のUSBケーブルが必要です。

■ 記号や絵文字も充実

略式年号「'09」「'10」や「CD」「DVD」マークなどファイル・メディア整理に必要な記号や、「環境絵文字」「ケータイ風絵文字」も新規搭載しました。

■ 新デザインフォーム

ゴミ分別や店頭POP・注意喚起などに使える100種以上のデザインフォームが勢揃い。

■ 拡大印刷は6倍まで対応

遠くからでも確認できる最大文字高さ108mmを実現しました。

■ ニッケル水素電池にも対応

充電式ニッケル水素電池にも対応したので、経済的な使用ができるようになりました。

※ 充電式ニッケル水素電池をお使いの際には、P.23の「充電式ニッケル水素電池について」を必ずお読みください。

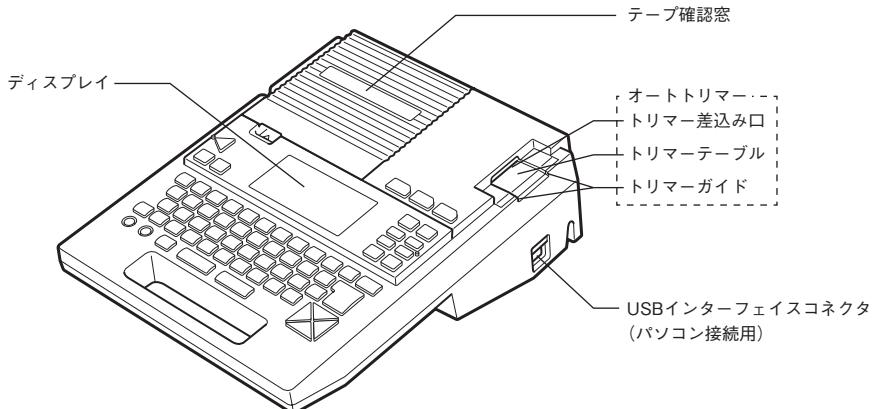


準備

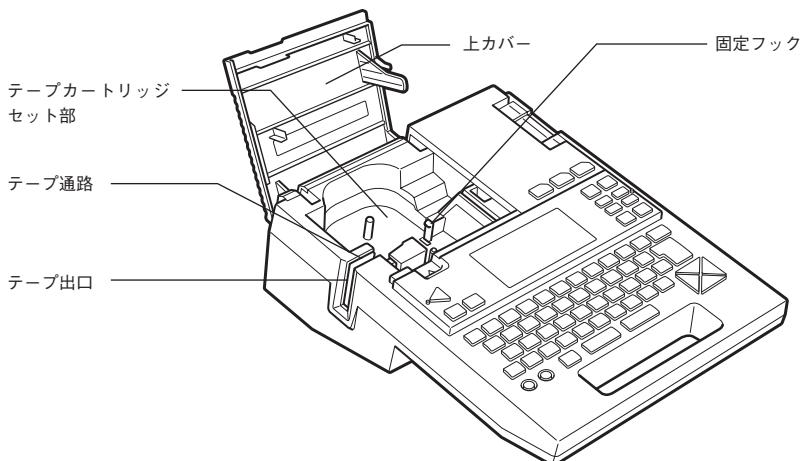
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

各部の名前とはたらき

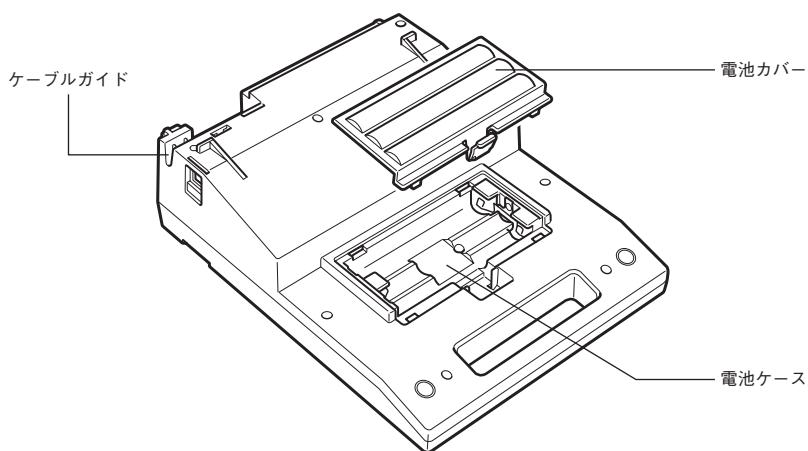
本機各部の名前（表）



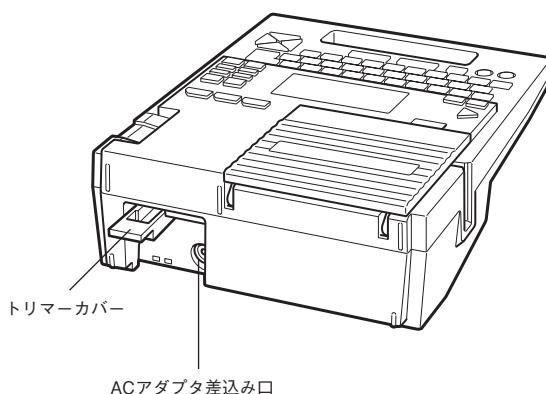
本機各部の名前（内部）



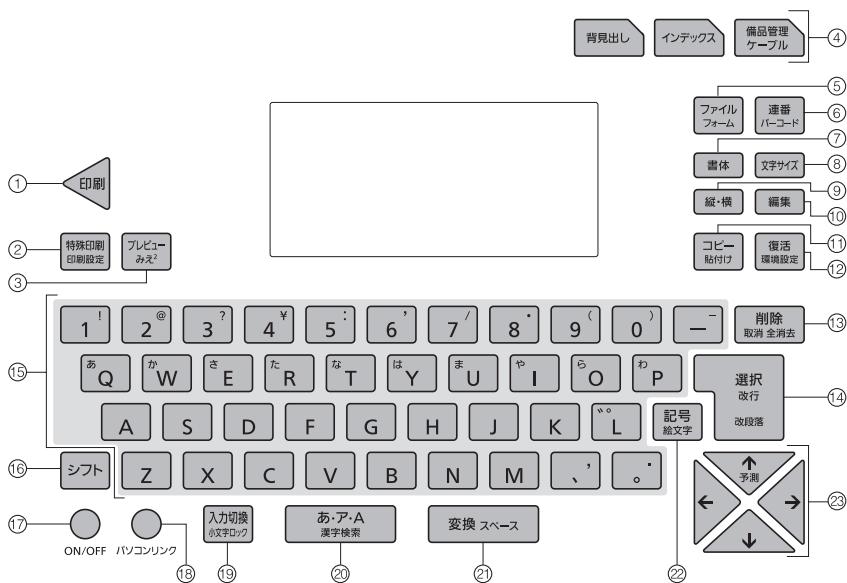
本機各部の名前（裏）



本機各部の名前（背面）



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。[Shift]+[]となっている表記は、[Shift]を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① [印刷] (Print)

入力内容をテープに印刷し、テープを自動的にカットします。

参照☞ P.81

[Shift]+[印刷] (=テープ送り) (Shift+Print = Tape Send)

テープを約17mm空送り、またはカットします。
参照☞ P.28

② [特殊印刷] (Special Print)

連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷をします。

参照☞ P.84

[Shift]+[特殊印刷] (=印刷設定) (Shift+Special Print = Print Settings)

自動カットや印刷濃度を設定します。
参照☞ P.89

③ [プレビュー] (Preview)

印刷イメージを確認します。参照☞ P.80

[Shift]+[プレビュー] (=みえ²) (Shift+Preview = Preview)

テキスト画面の表示を切り替えます。
参照☞ P.131

④ [背見出し] [インデックス] [備品管理 ケーブル] (ビジネスフォーム) (Back Out Index Equipment Management Cable = Business Form)

ビジネスフォームを呼び出します。
参照☞ P.94

⑤ [ファイル] (File)

文章の保存、呼び出しや印刷履歴の呼び出し、あて名、名前、辞書を登録します。

参照☞ P.101

[Shift]+[ファイル] (=デザインフォーム) (Shift+File = Design Form)

デザインフォームを呼び出します。

参照☞ P.98

⑥ [連番] (Serial Number)

連続番号を入力します。参照☞ P.50

[Shift]+[連番] (=バーコード) (Shift+Serial Number = Barcode)

バーコードを入力します。参照☞ P.52

⑦ [書体] (Font)

書体を指定します。参照☞ P.58

⑧ [文字サイズ] (Font Size)

文字サイズを指定します。参照☞ P.59

⑨ [縦・横] (Vertical/Horizontal)

たて書き／よこ書きを切り替えます。

参照☞ P.60

⑩ [編集] (Edit)

文字の装飾や文字サイズ、レイアウト、ラベルの長さなどを指定します。参照☞ P.62

⑪ [コピー] (コピー)

入力済みの文字をコピーします。

参照☞P.42

[シフト]+[コピー] (=貼り付け)

コピーした文字を貼り付けます。

参照☞P.42

⑫ [復活] (復活)

削除した文字や文章をもとに戻します。

参照☞P.41

[シフト]+[復活] (=環境設定)

画面の表示濃度や各種保存値を変更します。

参照☞P.124

⑬ [削除] (削除、取消)

カーソル位置（カーソルの左側）の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。参照☞P.41

[シフト]+[削除] (=全消去)

文章を消去します。参照☞P.41

⑭ [選択] (選択、改行)

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。ネガ文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。参照☞P.43

[シフト]+[選択] (=改段落)

新しい段落を作ります。参照☞P.45

⑮ 文字ボタン (禁T、禁E、禁P、禁R、禁Aなど)

文字を入力します。参照☞P.33

⑯ [シフト] (シフト)

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの下部に書かれた機能になり、文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号が入力できます。

⑰ ○ (電源)

電源を ON/OFF します。参照☞P.27

⑱ ○ (パソコンリンク)

ラベルソフト（SPC10、SMA3）使用時に、本機をパソコンと接続する状態に切り換えます。

⑲ [入力切換] (入力切換)

入力状態を「ローマ字→かなめくり→ABC」の順で切り換えます。参照☞P.32

QRコードの用途「一般」では「ローマ字→かなめくり→ABC【半角】→ABC」の順で切り換えます。参照☞P.55

「ABC入力」時のみ**[シフト]+[入力切換] (=小文字ロック)**

小文字入力に切り換えます。参照☞P.37

⑳ [あ・ア・A] (無変換)

ネガ文字がある場合、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かなめくり入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。参照☞P.33

[シフト]+[あ・ア・A] (=漢字検索)

読みのわからない漢字を検索します。

参照☞P.47

ネガ文字がある場合、「ローマ字入力」時は押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かなめくり入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。参照☞P.33

㉑ [変換・スペース] (漢字変換、スペース入力)

ネガ表示のひらがなを漢字に変換します。ネガ文字がないときは、スペースを入力します。ATOK変換画面では、次の変換候補を表示します。参照☞P.33

㉒ [記号] (記号)

記号の入力や外字を登録します。

参照☞P.39

[シフト]+[記号] (=絵文字)

絵文字やイラストを入力します。

参照☞P.39

㉓ ▶▽▼◀ (カーソルボタン)

カーソルや選択候補を上下左右に移動します。参照☞P.40

ATOK予測入力画面では▽◀で予測候補を選択します。

ATOK変換画面では▶◀で変換対象の文節長さを変更し、◀で確定します。

参照☞P.31

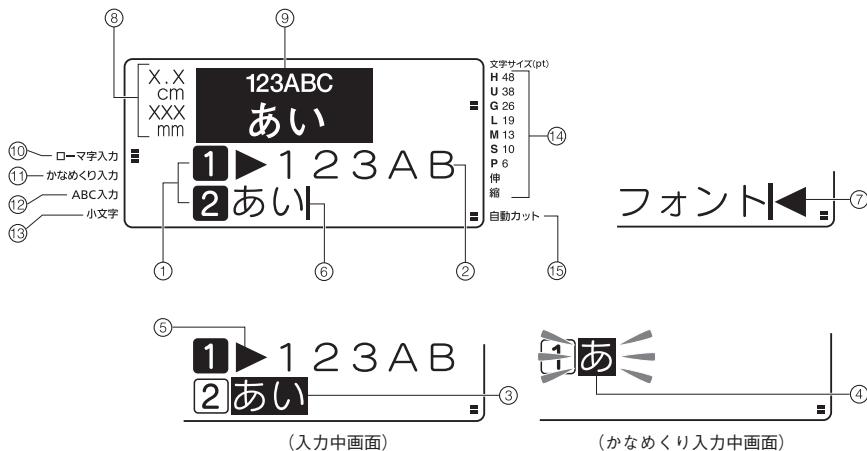
[シフト]+▶▽▼◀ (カーソルジャンプ)

カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。参照☞P.40

ATOK変換画面では変換対象の文節を切り換えます。参照☞P.31

ディスプレイの見かたとはたらき

■ テキスト画面



① 行頭マーク (① ②…☒、① ②…☒)

行頭に表示され、何行目かを示します。①、②は印刷できる行を表し、①、②はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。

☒、☒は印刷できない行を表しています。
☒が表示されているときは、印刷できません。
参照☞P.43

② 確定文字（例：123AB）

入力が確定した文字で、印刷されます。

③ ネガ文字（例：あい）

仮確定の文字で、印刷できません。
で漢字、カタカナ、英数字に、あ・ア・A
でひらがな、カタカナ、英字に変換できます。

④ 点滅文字

かなめくり入力途中の未確定の文字で、同じボタンを連続して押すと文字候補が順に表示されます。

点滅表示の文字は、印刷されません。

⑤ 文字モード指定マーク (▶)

文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの機能を変更すると表示されます。

参照☞P.63

⑥ カーソル (|)

操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除できます。

参照☞P.40

⑦ フルメモリーマーク (◀)

入力可能文字数（約175文字）をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。

⑧ 印刷情報

セットされているテープ幅と印刷したときの目安の長さを表示します。「みえ²」の設定によっては表示されないこともあります。

参照☞P.131

⑨ 印刷イメージ

印刷したときのイメージを表示します。「みえ²」の設定によっては表示されないこともあります。

参照☞P.131

⑩ ローマ字入力インジケーター

入力切換が「ローマ字入力」状態のときに点灯します。

⑪ かなめくり入力インジケーター

入力切換が「かなめくり入力」状態のときに点灯します。

⑫ ABC入力インジケーター

入力切換が「ABC入力」状態のときに点灯します。

QRコード入力時の「ABC入力【半角】」状態のときに点滅します。

参照☞P.55

⑬ 小文字入力インジケーター

【Shift】を押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。

参照☞P.37

⑭ 文字サイズインジケーター

カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。

数字はポイント数（pt）を表しています。

*1ptは約1/72インチ（約0.35mm）です。

⑮ 自動カットインジケーター

自動カットが「する」に指定されているときに点灯します。

使う前の準備

1. ACアダプタを接続する

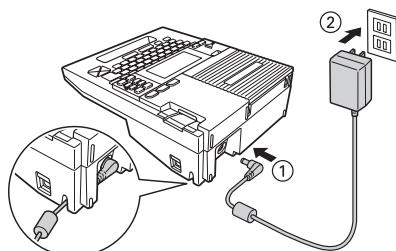
同梱のACアダプタ（AC1116J）で、家庭用コンセント（AC100V）から電源を取ります。

① ACアダプタのプラグを本機背面のACアダブ

タ差込み口にしっかりと差し込み、ケーブルガイドを通す

※ 差し込みが不充分だと電源が入らない場合があります。

② ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



!!注意!!

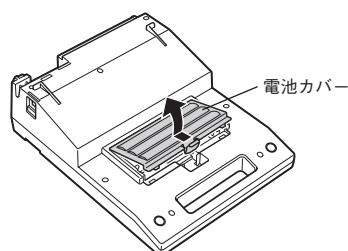
- 使い終わったらすぐにACアダプタを本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げると、断線することがあります。
- プラグのショートなどで、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

2. 電池（別売）を入れて使用するときは

本機にアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本；別売）をセットします。外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷できます。

① 電池カバーをはずす

レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げてはずします。

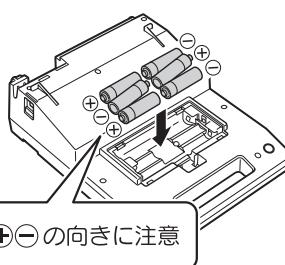


!!注意!!

必ず、電源を切ってからおこなってください。

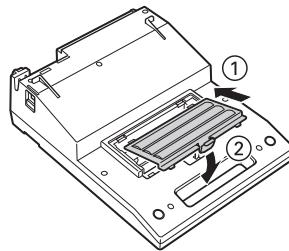
② 電池を入れる

電池の向きに注意して、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）を入れます。



③ 電池カバーをはめる

電池カバーの上の爪を本機のミゾに合わせ、
しっかりとカバーをはめます。



!!注意!!

- ・本機には単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池をお使いください。その他の乾電池は使用できません。
- ・電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ・ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ（AC1116J）をお使いください。
- ・ニッケル水素電池を使用するときは、環境設定で電池種類を「ニッケル水素」に変更してください。設定変更をしないと、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。ただし設定を変更しても、電池の状態や使用条件によっては、消耗を知らせるメッセージが表示されないことがありますのでご了承ください。
参照☞P.126「電池種類を設定する」
- ・本機に充電機能はありません。ニッケル水素電池を使用する際には、必ず専用の充電器を使って、充電してください。

充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ニッケル水素電池をお使いの際には、以下のことをお守りください。

- ・(+) (-)極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。(+) (-)極と充電器の端子を乾いた柔らかい布でていねいにふいてください。
- ・お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- ・電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります（メモリー効果といいます）。
- ・メモリー効果が発生したときは、印刷できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ・ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下することがあります。
- ・お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。
- ・ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われますので新しい電池をお買い求めください。
- ・寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。
- ・不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで最寄の充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.net/hp>

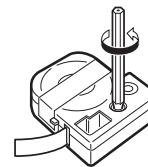
MEMO

- 広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電圧が低下！」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電圧が低下！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）に交換するか、ACアダプタ（AC1116J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることができます。
- 新品のアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、広い幅のテープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、ACアダプタ（AC1116J）を利用することをおすすめします。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- ディスプレイのバックライトをオフにすると電池を節約できます。
参照☞P.125「バックライトの切り換え」
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となったアルカリ乾電池を捨てるときは、定められた条例に従ってください。

3. テープカートリッジをセットする

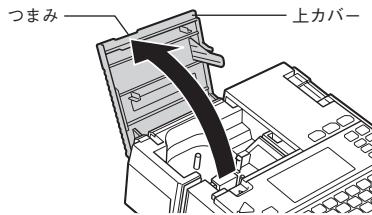
① インクリボンの「たるみ」を取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、「たるみ」を取ってください。



② つまみ部分を持って、上カバーを開ける

上カバーのつまみ部分を持ち上げてカバーを開けます。



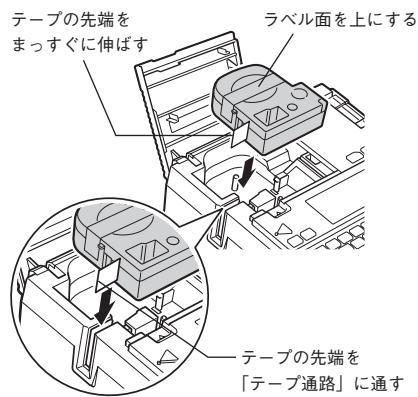
!! 注意 !!

- 必ず、電源を切ってからおこなってください。
- 上カバーは図の位置で止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。カバーがはずれて本体が落下すると、けがや本体が破損するおそれがあります。

③ テープカートリッジをセットする

ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」に通します。

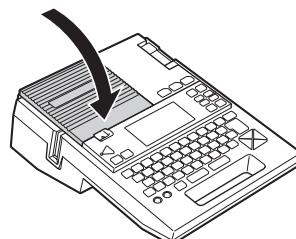


④ 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押してしっかり閉じます。

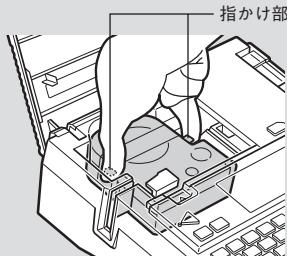
!! 注意 !!

- テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 上カバーはしっかり閉じてください。



MEMO**テープカートリッジの取り出しかた**

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。

**!!注意!!**

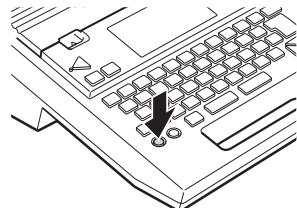
- ・テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- ・本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mmの6種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。
参照☞P.43「テープ幅と印刷できる行数」
- ・テープカートリッジは、直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- ・テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- ・テープカートリッジは奥までしっかりとセットしてください。
- ・本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合や正しくセットしていない場合は、「この機種では対応していないテープです」や「テープ無し！」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

4. 電源を入れる

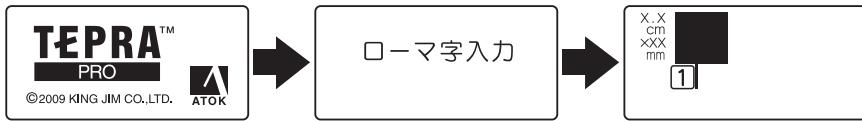
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？（電池で使用する場合）

①  (電源) を押す



電源が入るとバックライトが点灯し、タイトル画面が表示されます。



※ 設定されている入力状態が
約1秒間表示されます。

※ 行頭マーク (①) とカーソル (|) が表示されます。

すでにテキストが入力されているときは、タイトル画面のあとにテキストが表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照☞P.20「ディスプレイの見かたとはたらき」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。 (電源) をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

外字データの作成、修正をしているとき、またはパソコンリンクの状態では、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

使わないときは、こまめに電源を切るとオート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープの「たるみ」を取るために、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

- ①  を押しながら  (=テープ送り) を押す
「テープ送り」メニューが表示されます。

テープ送り
テープ送り
送りカット

- ②   で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

- ③  を押す

「テープ送り」の場合は、テープが約17mm空送りされます。
「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

!!注意!!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンの「たるみ」が取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

6. 使い終わったら（電源を切る）

- ①  (電源) を押す

電源が入っている状態で  (電源) を押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力したテキストやファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力したテキストが表示されます。

- ② ACアダプタ (AC1116J) をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!!注意!!

- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、ACアダプタ、テープカートリッジ、乾電池を本機から取りはずしてください。

入力

文字入力、改行など「テプラ」の基本操作を確認してください。
続いて文章を段落に分けるなど、レイアウトを工夫する機能を確認しましょう。

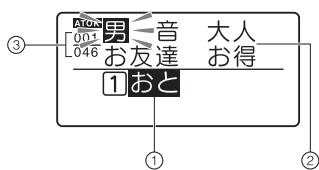
文字を入力する

文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、文字変換のときに予測入力がはたらきます。予測入力は、予測候補を次々に表示して、スムーズな入力を支援します。また、連文節変換により、高度な変換精度を実現しています。

■ ATOK予測入力画面の見かた

本機は、何文字かを入力した時点で、入力しようとする単語を予測し画面上に候補として表示します。予測候補が表示されている状態で▽△を押すと、候補を選択する予測入力画面になります。予測入力画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



①入力文字

入力した文字がネガ表示されます。

選択を押すと、選択している入力候補で確定します。

②予測入力候補一覧

予測される入力候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

③予測候補番号 / 予測候補数

選択されている予測候補の順番と予測候補の総数です。

ATOK予測入力画面で使用するボタン

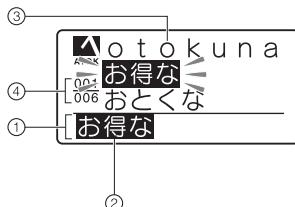
ボタン名	機能
▽△	予測入力候補の選択、および次の予測入力候補の選択
→ ←	次の予測入力候補の選択
Shift + ▽、Shift + →	最初の入力候補の選択
Shift + △、Shift + ←	最後の入力候補の選択
選択	入力候補の確定
変換 スペース	変換画面への移行 参照☞P.31「ATOK変換画面の見かた」
あ・ア・A	ひらがな、カタカナ、英字（ローマ字入力の場合のみ）への変換
削除 取消	予測入力画面を終了し、テキスト画面に戻る テキスト画面では文字を削除する
文字ボタン	予測入力画面を終了し、テキスト画面で文字を入力する

→ ←は、予測入力画面になる前のテキスト画面では、カーソルの移動動作になります。

Shift + []となっている表記は、Shiftを押しながらそのボタンを押す操作です。

■ ATOK変換画面の見かた

本機は、文字を入力した状態で [変換 スペース] を押すと、変換候補を選択する変換画面になります。変換画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



①仮確定文字

[変換 スペース] を押したとき、変換対象となる入力部分が仮確定文字として表示されます。

②変換対象

仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。
△を押すと確定します。

③変換候補一覧

変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

④変換候補番号 / 変換候補数

選択されている変換候補の順番と仮確定文字の変換候補数です。

文字の変換中に使用するボタン

ボタン名	機能
[変換 スペース]	変換候補の表示、および次の変換候補の選択
▼	前の変換候補の選択
Shift + ▼	変換候補番号 001 の候補の選択
▲	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
▶	変換対象の文節長さを短くする
◀	変換対象の文節長さを長くする
Shift + ▶	左の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
Shift + ▲	右の文節を変換対象とする
あ・ア・A Shift + あ・ア・A	ひらがな、カタカナ、英字（ローマ字入力の場合のみ）への変換
選択 ESC	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
削除 取消	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
文字ボタン	仮確定文字を表示している状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

Shift + [] となっている表記は、Shift を押しながらそのボタンを押す操作です。

MEMO

変換候補には、漢字など通常の日本語の他に、カタカナ語を正しいスペルに変換する「カタカナ語英語」や「記号」「絵文字」も含まれます。

入力状態の切り換え

文字入力をする前に、入力状態を確認してください。

■ 入力状態の切り換え

を押すたびに「ローマ字入力」→「かなめくり入力」→「ABC入力」の順で文字入力状態が切り換わります。

入力状態はインジケーターで確認できます。

参照☞P.20「ディスプレイの見かたとはたらき」

入力

■ 文字入力のしかた

ローマ字入力

文字ボタンの 、、 でローマ字読みを入力します。

参照☞P.143「ローマ字変換表」

かなめくり入力

文字ボタンの 、、 でかなを入力します。

1つの文字ボタンには、複数の文字が割り当てられています。文字ボタンを繰り返し押して、目的の文字を表示させます。

例：

文字ボタン \ 押す回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
	た	ち	つ	て	と	っ	た

- 目的の文字を通り過ぎたときは  を押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。
- 「た」と「て」など、同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力する場合は、1文字目を入力したあとに、 または  を押してカーソルを移動します。

ABC入力

文字ボタンを押す、または  を押しながら文字ボタンを押すことで直接入力します。

MEMO

各文字ボタンに割り当てられている文字は、入力文字一覧表を参照してください。

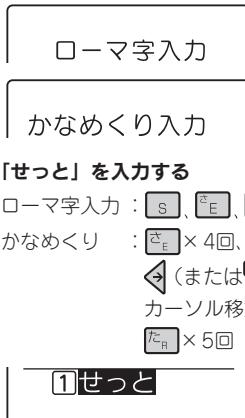
参照☞P.142「入力文字一覧表」

文字を入力する

ひらがなは文字ボタンで入力し、漢字やカタカナは、「読み」をひらがなで入力してから変換します。

■ 入力例：セット

- 1** [入力切換]を数回押して「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ



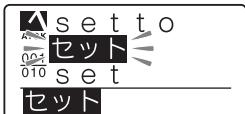
- 2** 「せっと」を入力する

ローマ字入力 : [S]、[さ_E]、[せ_T]、[な_T]、[と_O]
 かなめくり : [さ_E] × 4回、[た_R] × 6回、
 ◀ (または [選択/改行]) × 1回 (= カーソル移動)、
 [た_R] × 5回

[①]せっと

仮確定文字（ネガ表示）で入力されます。

- 3** [変換 スペース]を押す



変換対象の1番目の候補が表示されます。
 さらに [変換 スペース] を押すと、変換候補一覧が表示され、次の候補が選択されます。

- 4** 「セット」になっている状態で [選択/改行] を押す



「セット」が確定します。
 行頭マークが①から❶に変わります。

MEMO

- 文字を間違えたときは、[削除/取消] で文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 「読み」を入力した直後に [選択/改行] を押すと、ひらがなのまま確定します。
- 「かなめくり入力」のとき、「っ」「と」のように、同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは◀ (または [選択/改行]) を押して前の文字をネガ表示にしてください。
- 入力した直後に [あ・ア・A] を押すと、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かなめくり入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。また、[シフト] を押しながら [あ・ア・A] を押すと、「ローマ字入力」時は「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かなめくり入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。変換後は、[選択/改行] を押して確定します。
- 2文節目以降の語句を変換しなおす操作や変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
 参照☞ P.36「長い文章を変換する」
 参照☞ P.36「変換する「読み」の長さを変える」
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。
 参照☞ P.143「ローマ字変換表」
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大8文字です。
- 数字ボタンに表記された記号「!」「¥」などは、[シフト] を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。
- 2行目を作成するときは、[選択/改行] を押して改行します。
 参照☞ P.43「行を増やす（改行）」

参考

濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音（「ざ」「ば」） 半濁音（「ば」「ペ」）	拗音（「ゅ」「よ」） 促音（「っ」）
ローマ字入力	<p>濁音、半濁音用のスペルで入力します。 参照☞P.143「ローマ字変換表」</p>	<p>次のいずれかの方法で入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「き ゃ」（、、）などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照☞P.143「ローマ字変換表」 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例：、、、、 … 「さっか」 を押してから通常の文字ボタンを押す。 例：、、 … 「っ」 、 … 「う」
かなめくり入力	<p>清音のあとに、「°」や「°」を入力します。 ()</p> <p>直前の文字が、濁音・半濁音の両方がつく文字の場合（は行）には、濁音・半濁音が入力できます。</p> <p>直前の文字が、濁音のみがつく文字の場合（か行、さ行、た行）には、濁音のみ入力できます。</p>	<p>該当する文字ボタンを数回押します。</p> <p>例： × 6回… 「っ」 × 4回… 「ゅ」</p>

■ 予測入力を使う（入力例：大きな）

① [入力切換]を数回押して「ローマ字入力」または「かなめぐり入力」を選ぶ

② 「おお」を入力する

ローマ字入力 : 、

かなめぐり : × 5回、

(または) × 1回 (= カーソル移動)、

× 5回



仮確定文字（ネガ表示）で入力され、予測入力の候補が上半分に表示されます。

③ ▾▲を押す



予測入力画面になり、1番目の候補が選択されます。

さらに ▾▲を押すと次の候補を選択します。

MEMO

[シフト]+[ブルピュー]で予測入力候補表示を一時停止し、みえ²表示に切り替えます。続けてテキスト入力または文字の削除をすると、予測入力候補表示を再開します。

④ 「大きな」が選択されている状態で を押す



「大きな」が確定します。

MEMO

- 一度選択した予測入力候補は、次回から優先して表示されます（学習機能）。予測入力の学習内容は「学習初期化」で初期化できます。

参照☞ P.126「学習内容を初期化する」

- 予測候補のないテキストの場合は候補が表示されません。

長い文章を変換する

入力した文章が長く、思いどおりに変換できない場合は、△を押して文節ごとに変換します。

例：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

1 「あすははれますか」を入力して

変換 スペース を押す

ATOK変換画面になります。

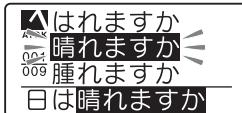
2 1文節目が正しく変換されている状態で

△を押す



1文節目が確定し、次に2文節目が変換対象になります。

3 变換 スペース を押す



2文節目の変換候補が表示されます。

4 正しく変換されている状態で △ を押す

2文節目が確定します。

さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違う、目的の漢字に変換できない場合は、▷◁を押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

例：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

1 「きのうえをかった」を入力して

変換 スペース を押す

ATOK変換画面になります。

2 変換する変換対象の長さが適当でない

ときは▷◁を押す

気の上を買った

変換対象（ネガ表示部分）は▷で短く◁で長くなります。

▷◁を押して「きのう」を文節にする

きのうえをかった

3 变換 スペース を押す

昨日絵を買った

長さを変えた1文節目の変換候補が表示されます。

正しく変換されたら△で確定し、2文節目以降を変換します。

MEMO

- ATOK変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大8文字です。

英字を入力する

英字は、「ローマ字入力」または「ABC入力」で、文字ボタンを押して入力します。小文字の入力にはシフトを使います。

例：Box

■ ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

① 「Box」を入力する

入力：B、シフト+ボ、シフト+X



「ぼ x」と表示されます。

② 「変換 スペース」を押す



ATOK変換画面になります。

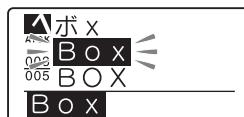
③ 変換する文節の長さが適当でないときは←を押す



「ぼ x」が変換対象（ネガ表示）になります。

④ 「変換 スペース」を押して「Box」を選択する

⑤ ▲▼を押す



「Box」が確定します。

■ ABC入力の場合

英字を入力するときに「ABC入力」にすると、文字ボタンを押して、直接英字を入力できます。

① 入力切替を数回押して「ABC入力」を選ぶ

② 「Box」を入力する

入力：B、シフト+ボ、シフト+X

(小文字ロックをしている場合)

入力：シフト+B、ボ、X)



「Box」が表示されます。

MEMO

小文字ロック

「ABC入力」時に、シフトを押しながら入力切替を押すと、小文字入力状態に切り換わり、シフトを押していないときに小文字入力インジケーターが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度シフトを押しながら入力切替を押します。

MEMO

- ・文字ボタンに表記された英字を直接入力する場合は「ローマ字入力」または「ABC入力」にしてください。「かなめくり入力」では入力できません。
- ・「ローマ字入力」で文字を入力した直後に [あ・ア・A] を押すと、押すたびに、「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、[シフト] を押しながら [あ・ア・A] を押すと「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- ・英語の「カタカナ読み」を入力して [変換 スペース] を押しても英字にできます（カタカナ語英語変換）。例えば、「ローマ字入力」または「かなめくり入力」で「ぼっくす」と入力して [変換 スペース] を押すと、正しいスペルの「box」が変換候補に表示されます。
- ・変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
参照☞P.36「変換する「読み」の長さを変える」

スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「』」（半角スペース）が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

① ネガ文字がないことを確認する**② [変換 スペース] を押す**

半角スペースが入力されます。

MEMO

- ・ネガ文字があるときに [変換 スペース] を押すと、漢字に変換されます。
 - ・スペースには、半角スペース（『』）のほかに、1文字分の全角スペース（『　』）があり、記号メニューで入力します。
- 参照☞P.39「記号（絵文字）を入力する」

記号（絵文字）を入力する

操作パネルに表記されていない記号や絵文字は、記号メニュー や 絵文字メニューから指定します。

① [記号] または [Shift]+[記号] (=絵文字) を押す

「記号」メニュー または 「絵文字」メニュー が表示されます。

② ▶▽◀で分類を選ぶ

ここでは、例として「絵文字」の「音楽」を選びます。



③ [選択 EXIT] を押す

「音楽」の絵文字が表示されます。

④ ▶◀で「◎」を選ぶ



⑤ [選択 実行] を押す



「◎」が入力されます。

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・入力できる記号や絵文字は、付録を参考にしてください。
参照☞ P.154「記号一覧表」
参照☞ P.156「絵文字一覧表」
- ・操作を途中でやめるときは、[記号] を押し、操作を戻します。
- ・一度選択した記号や絵文字は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- ・記号メニューの「編集」内の記号はそれ以下のはたらきをします。
 - (罫入力記号)：縦罫線を入力します。
 - (全角スペース)：全角スペースを入力します。
- ・一部の記号や絵文字は、記号名称の「読み」を入力して [変換 スペース] を押すと、記号や絵文字が変換候補に表示されます（記号変換・絵文字変換）。
- ・半角スペースは、[変換 スペース] で入力できます。

田中 慶介	半角スペース
田中 慶介	全角スペース

ただし、「文字間」で「プロポーショナル」が「オフ」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。

参照☞ P.73「文字間」

文章を作る

文章を入力し、文字を挿入、削除したり、全消去するなどの編集方法を説明します。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入、削除する位置を表します。

カーソルの移動にはカーソルボタン  を使います。本機のディスプレイには最大8文字×4行で表示されます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。



カーソルボタン	カーソルの移動方向
	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	前（上）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	次（下）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	行頭へ移動します。繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
	行末へ移動します。繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
	段落の先頭へ移動します。繰り返すと、前の段落の先頭へと移動します。
	段落の終わりへ移動します。繰り返すと、次の段落の終わりへと移動します。

+ となっている表記は、 を押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する



文字は操作パネルの文字ボタンで入力し、 を押して漢字などに変換します。

参照☞P.30「文字を入力する」

文字を削除/挿入する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ を押すと文字が削除されます。
文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

例：「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

- ①** で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

①定期点検実施中

- ②** を2回押して「定期」を削除する

①定期点検実施中



× 2回

①点検実施中

カーソル位置は行頭になります。

- ③** 「特別」を入力する

①特別点検実施

!! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約175文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

MEMO

間違って削除した場合は、削除した直後なら を押すと復活できます。ただし、削除直後に 、、 以外のボタンを押した場合は、復活できません。

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。
入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

- ①** を押しながら (=全消去) を押す
全文消去画面が表示されます。

- ②** を押す

入力した内容を
すべて消去
実行？

全文消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

全文消去は、入力したすべての文章が消去されます。文章の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、充分に確認してください。

MEMO

- 全文消去では、以下の内容は消去されません。
ファイル・あて名・辞書・外字データ、保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態、「みえ²」の状態
- すべてを購入時の設定に戻したいときは、本機を初期化してください。
参照☞P.129「本機を初期化する」
- 操作を途中でやめるときは、 を押し、操作を戻します。
- 削除した直後なら を押すと復活できます。

文字をコピーする

すでに入力した文字をコピーすることができます。

例：「定期点検実施中、特別点検実施中」で2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

① 1行目に「定期点検実施中」、2行目に「特別」を入力する

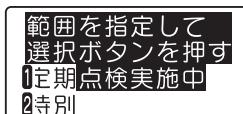
② ▶▽△◀で「点」の前（左側）にカーソルを合わせる



③ [コピー]を押す

コピー範囲を指定する画面になります。

④ ▶◀で範囲を指定し、[選択]を押す



指定した範囲がネガ表示になり、[選択]を押すと一時的に記憶されます。

このあとの貼り付け操作で文字を貼り付けます。

MEMO

- 一度にコピーできる文字は30文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーや貼り付けはできません。

文字を貼り付ける(ペースト)

コピーした文字は、次にコピーするまで何度も貼り付ける（ペーストする）ことができます。

① ▶▽△◀で貼り付け先にカーソルを合わせる



② [Shift]を押しながら[コピー]（＝貼り付け）を押す



コピーされた文字が挿入されます。

行を増やす（改行）

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます（ を押します）。

■ テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから24mmまでの幅のテープを使うことができます。

セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	4行まで	6行まで	8行まで

MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク①②…☒、①②…☒と、実質行頭マーク①②…☒、①②…☒の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒☒はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。☒の表示があるときに（印刷）を押しても「行数オーバー」が表示されます。☒のある行を削除してから印刷をおこなってください。
参照☞P.135「エラーメッセージが表示されたときは一行数オーバー」

入
力

新しい行を作る

行の終わりでを押すと、新しい行に入力することができます（改行）。

例：3行の文章を入力する

営業1課
営業2課
営業3課

1 「営業1課」を入力し、を押す

1 営業 1 課



1 営業 1 課
2

2行目に行頭マークが表示されます。

2 「営業2課」を入力し、を押す

1 営業 1 課
2 営業 2 課



X.X
cm
XXX
mm
1 営業 1 課
2 営業 2 課
3

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を入力します。

MEMO

ネガ文字があるときは、を押しても改行できず、文字が確定します。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

例：「営業1課田中慶介」を2行にする

営業1課田中慶介



途中で改行すると

**営業1課
田中慶介**

- ① ▶◀で「課」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

X.X
cm
XXX
mm

営業1課田
① 営業1課田中慶介

- ② [選択 改行] を押す

X.X
cm
XXX
mm

**営業1課
田中慶介**

① 営業1課
② 田中慶介

2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

MEMO

ネガ文字があるときは、[選択 改行] を押しても改行できず、文字が確定します。

改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて [削除 取消] を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2行目の改行を取り消す

株式会社○×商事
営業部
営業1課
田中慶介



途中の改行を取り消すと

**株式会社○×商事
営業部営業1課
田中慶介**

- ① 3行目の行頭マーク③の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1 株式会社○×
2 営業部
3 営業1課
4 田中慶介

- ② [削除 取消] を押す

1 株式会社○×
2 営業部**営業1**
3 田中慶介

3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。
4行目の「田中慶介」が3行目になります。

MEMO

- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、[削除 取消] を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク① [削除 取消] は削除できません。

段落を増やす（改段落）

左下のラベルは2つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼びます。段落とはブロックで印刷される「行の集まり（または1行）」のことです。1つのラベルの中に2つの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えることができます。本機では、段落は1つのラベル（文章）の中に10段落まで作ることができます。

■ 段落が2つのラベル

印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では各段落が縦に並んだ形になります。

【ラベルは】

	内線	営業1課	131
		営業2課	132
		営業3課	133

段落1

段落2

【画面上では】

段落1		内線
	2	営業部
	1	営業1課 131
	2	営業2課 132
	3	営業3課 133

段落2

新しい段落を作る

シフトを押しながら選択 (=改段落) を押すと、新しい段落ができます。

例：2段落の文章を入力する

	内線	営業1課	131
		営業2課	132
		営業3課	133

段落1 段落2

① 段落1を入力する

1		内線
2		営業部

1行目「 内線」
2行目「営業部」
と入力します。

② 文末にカーソルを合わせ、シフトを押しながら 選択 (=改段落) を押す

1		内線
2		営業部
1		

新しい段落が発生し、①が表示されます。

③ 段落2を入力する

2	業部
1	業1課 131
2	業2課 132
3	業3課 133

1行目
「営業1課 131」
2行目
「営業2課 132」
3行目
「営業3課 133」
と入力します。

MEMO

- ネガ文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
- すでに10段落目があるときは、改段落できません。

段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ（右側）の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす



段落1



段落1の「C」の後ろ（右側）で改段落すると



段落1

段落2

- 1 行目「C」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる



- 2 シフトを押しながら [選択 改行] (=改段落) を押す



カーソルより後ろ（右側）が改段落され新しい段落になります。

MEMO

- ネガ文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
- すでに10段落目があるときは、改段落できません。
- 段落分割によって新しくできた段落指定値の内容は、もとの段落と同じです。
- 文字サイズが行数で指定されている場合は、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。

参照☞P.75「文字サイズ」

読みのわからない漢字を入力する

「読み」のわからない漢字は、漢字検索機能で部首の読み・画数による検索や、コードによる入力ができます。入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。部首、JISコード、シフトJISコードをお使いになると、市販の辞書もしくはコード表をご参照ください。

参照☞P.144「漢字変換表」

入
力

漢字検索メニュー一覧

シフトを押しながら [あ・ア・A] (=漢字検索) を押すと以下のメニューが表示されます (太字は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
漢字検索 コード入力 ► コードを入力して漢字を呼び出します。 参照☞P.48	コード入力 ► コード	漢字検索	
部首読み ► 部首の読みで漢字を検索します。 参照☞P.49	部首読み ► 読み	部首選択 ►	漢字検索
部首画数 ► 部首の画数で漢字を検索します。 参照☞P.49	部首画数 ► 画数	部首選択 ►	漢字検索

コードで入力する

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。

入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞P.144「漢字変換表」

入力

例：「お休み處」と入力する

① ネガ文字がないことを確認する



② 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。
處…4961(区点コード)

参照☞P.144「漢字変換表」

③ シフトを押しながら [あ・ア・A] (＝漢字検索) を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。

④ 「コード入力」を選び、[選択] を押す



⑤ コードを入力する



[4]、[9]、[6]、[1]を押します。
最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。
コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

⑥ 「處」を選び、[選択] を押す



カーソル位置に「處」が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除] または [あ・ア・A] を押し、操作を戻します。
- コードの入力を間違えたときは [削除] を押して入力しなおしてください。

部首による漢字検索

漢字を部首の読みや画数で検索し、入力できます。

例：「榎（えのき）」（部首：木）を入力する

部首の読みで検索する

- ① シフトを押しながら あ・ア・A (=漢字検索) を押す

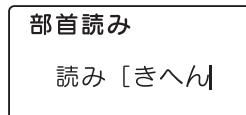
「漢字検索」メニューが表示されます。

- ② 「部首読み」を選び、選択[改行]を押す



- ③ 検索する部首の読みをひらがなで入力し、選択[改行]を2回押す

「きへん」を入力します。



- ④ ▶▽△◀で部首を選び、選択[改行]を押す
「木」を選択します。



選択した部首の漢字が表示されます。

- ⑤ 目的の漢字を選び、選択[改行]を押す



「榎」が入力されます。これで入力完了です。

部首の画数で検索する

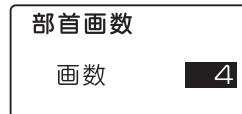
- ① シフトを押しながら あ・ア・A (=漢字検索) を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。

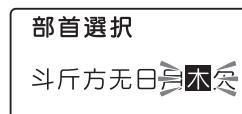
- ② 「部首画数」を選び、選択[改行]を押す



- ③ 検索する部首の画数を入力し、選択[改行]を押す
画数は 4 を押します。



- ④ ▶▽△◀で部首を選び、選択[改行]を押す
「木」を選択します。



選択した部首の漢字が表示されます。

- ⑤ 目的の漢字を選び、選択[改行]を押す



「榎」が入力されます。これで入力完了です。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除[取消]またはあ・ア・Aを押し、操作を戻します。
- 部首読みで入力できる読みは16文字までです。
- 部首画数で入力できる数字は1~23です。0もしくは24以上は入力できません。

入力

連番を入力する

数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。

連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数（1、2、3、4、5、10回）を指定します。繰り返し回数では同じ数字を何回繰り返すかを指定します。

例：2桁連番で4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る



入
力

- ① 連番を入れる位置にカーソルを合わせる

- ② [連番]を押す

「連続番号」メニューが表示されます。

- ③ 初期値に「4」を入力し、[選択/実行]を押す

連続番号

初期値

- ④ 繰り返し回数「2回」を選び、[選択/実行]を押す

繰り返し回数

1回 2回
▼ 3回 4回

- ⑤ 2桁に繰り上げるかどうかを選び、[選択/実行]を押す

連番 2桁繰上り
あり
なし

X.X
cm
XXX
mm

スト 4
顧客リスト 4

連番（連番マーク「N+数値エリア「4」）が入力されます。

[印]（印刷）を押すと、押すたびに連続番号の入ったラベルを印刷できます。

MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは「0~9」「00~99」またはアルファベットです。初期値0~9を指定した場合には、2桁繰り上がり「あり」「なし」を選択します。

各々の印刷ルールは以下の通りです。

初期値「0~9」、2桁繰り上がり「あり」の場合（テキスト表示²N）

1、2、3 … 9、10、11 … 99、0、1 …

初期値「0~9」、2桁繰り上がり「なし」の場合（テキスト表示¹N）

1、2、3 … 9、0、1 …

初期値「00~99」の場合（テキスト表示²N）

01、02、03 … 09、10、11 … 99、00、01 …

初期値がアルファベットの場合（テキスト表示¹N）

A、B、C … Y、Z、A、B …

a、b、c … y、z、a、b …

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、またはを押し、操作を戻します。
- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて3個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、を押してください。連続番号メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- 連番を削除するときは、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、を押します。
- 連番（連番マーク¹N、²N+数値エリア）にも、通常の文字と同様に、編集機能を指定できます。

バーコードを入力する

シフトを押しながら^{通常}（＝バーコード）を押すと、バーコードが入力できます。

バーコードメニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
バーコード▶ バーコード バーコードの 入ったラベルを 作ります。 参照☞P.53	JAN-8▶ JAN-13▶ QRコード▶ ITF NW-7▶ UPC-A▶ UPC-E▶	全体の幅▶ 小さめ ふつう 大きめ 用途▶ 一般 URL 全体の幅▶ 小さめ ふつう 大きめ 全体の幅▶ 小さめ ふつう 大きめ	セルサイズ▶ 大 中 小 細・太の比率▶ 2.0 2.5 3.0 C／D▶ あり なし	誤り訂正率▶ 7% 15% 25% 30%

バーコードを入力する

各種規格に準じたバーコードを入力することができます。

印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体の幅 小さめ/ふつう/大きめ	細・太の比率 2.0/2.5/3.0	C/D あり/なし
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	-	-
NW-7・ITF	○	○	○

太字は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

-：指定不要

全体の幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

C/D：チェックデジットの有無

!! 注意 !!

バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則に従って入力してください。

例：「ITF」のバーコード（全体の幅大きめ、細・太の比率3.0、C/Dあり）を入力する



- ① [シフト]を押しながら[選択]（＝バーコード）を押す
「バーコード」メニューが表示されます。

- ② 「ITF」を選び、[選択]を押す



- ③ 「大きめ」を選び、[選択]を押す



「細・太の比率」が表示されます。

- ④ 「3.0」を選び、[選択]を押す



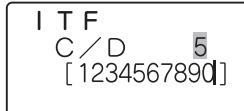
「C/D」が表示されます。

- ⑤ 「あり」を選び、[選択]を押す



バーコードの数値入力画面になります。

6 数値ボタンでバーコードの数値を入力する



数値が表示されます。右上の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。
入力できる桁数は規格によって異なります。

7 選択[改行]を押す



テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク (|) が表示されます。

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・操作を途中でやめるときは、[削除 取消] または [選番] を押し、操作を戻します。
- ・1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて3個までです。
- ・バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
- ・バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク (|) の直後（右側）にカーソルを合わせ、[シフト] を押しながら [選番] (=バーコード) を押してください。「バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- ・バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面で、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- ・バーコードを削除するときは、バーコードマーク (|) の直後（右側）にカーソルを合わせ、[削除 取消] を押します。
- ・バーコードマークにも、通常の文字と同様に、編集の機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

バーコードマークに反映される機能

地紋、定長、余白
外枠・表、割付け
罫・網

- ・印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- ・バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをおすすめします。
- ・規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1~19桁です。
- ・ITFは偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスペアコード (0) が自動的に発生します。
- ・UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- ・NW-7は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- ・バーコードのバーの長さ（線の部分）と数字の長さが一致しないことがあります、ご使用上問題はありません。

QRコードを入力する

QRコードは2次元コードの一種で、漢字など通常のバーコードよりも多くの情報を入力できます。

例：携帯電話用の電話帳データ（名前、読み、電話番号など）

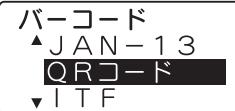
入力例「MECARD:N:山岸,正樹;SOUND:ヤマギシ,マサキ;TEL:0301234567;:」

（英数、記号は半角文字です。入力に必要な情報はお使いの携帯電話によって異なります。デザインフォームの「QR携帯1」～「QR携帯3」を参考にしてください。）



- ① **[ソフト] を押しながら [選択] (=バーコード) を押す**

- ② 「QRコード」を選び、[選択] を押す



- ③ 用途を選び、[選択] を押す



- ④ セルサイズを選び、[選択] を押す



- ⑤ 誤り訂正率を選び、[選択] を押す



- ⑥ 1行目の内容を入力する



一般：複数行が入力できます。



URL：「ABC入力【半角】」で1行のみ入力できます。あらかじめ「http://www.」が入力されています。

文字の上に線が付いて表示される英数字が半角文字です。

- ⑦ [選択] を押す

「一般」の場合は「改行」または「終わり？」の選択画面が表示されます。

「URL」の場合は入力完了です。

- ⑧ 次の行を入力する場合は「改行」を、終了する場合は「終わり？」を選び、[選択] を押す



QRコードマーク (QR) が入力されます。

MEMO

- 誤り訂正率とは、QRコードの汚れ、破損で読み取れなくなったデータを復元する能力です。誤り訂正率を上げると復元能力は向上しますが、QRコードのサイズが大きくなることがあります。
- QRコードでは、半角英数字が入力できます。**[入力切替]** を押して入力状態を「ABC入力【半角】」にしてください。用途が「URL」の場合は「ABC入力【半角】」のみとなります。文字の上に線が付いて表示される英数字が半角文字です。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除**または**取消**を押し、操作を戻します。
- QRコードには一部記号も入力できます。入力画面で**記号**を押すことで呼び出せます。
- QRコードが大きい場合、「QRコード大」と表示され、印刷できません。幅の広いテープにする、通常テキストの行数を減らす、セルサイズを小さくする、QRコードの誤り訂正率を低くする、QRコードの文字数を減らす、などの変更をしてください。
- QRコードの場合、テープ幅や設定項目により入力可能文字数が異なります。

QRコードの最大入力可能文字数：

文字サイズ	セルサイズ	誤り訂正率(%)	半角数字(1234…)	半角文字(abcd…)	全角(あいうえ…)
G	大	7~30	-	-	-
	中	7~30	-	-	-
	小	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
U	大	7~30	-	-	-
	中	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
	小	7	230	106	65
		15	202	84	52
		25	144	60	37
		30	106	44	27
		7	41	17	10
H	大	15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
		7	127	53	32
	中	15	101	42	26
		25	77	32	20
		30	58	24	15
		7	-	192	118
	小	15	230	152	93
		25	230	108	66
		30	202	84	52

- 4mm、6mm、9mm幅テープにはQRコードを印刷できません。
- 1つの文章に入力できるQRコードは2個までです。また、1つの文章に入力できるバーコード(QRコードを含む)は、連番と合わせて3個までです。
- 文字サイズインジケーターのG～H部分が点滅している場合、「QRコード大」が表示され、印刷できません。以下の操作をおこなってください。
 - QRコードの誤り訂正率を低くする。
 - QRコードの文字数を減らす。
- コードの内容やセルサイズ、誤り訂正率を変更する場合は、QRコードマーク(□)の直後(右側)にカーソルを合わせ、**左**を押しながら**速選**(=バーコード)を押してください。「バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は作成操作と同じですが、「用途」やバーコードの規格を変更すると、入力されていたコードの内容は失われます。
- QRコードの情報量によっては、印刷履歴に記録されないことがあります。

編集

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「ラベルの向きを変えたい」

「ラベルを見栄えよくしたい」

こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

書体を変更する

書体を使う

書体を使うと、ラベルの書体を以下の順で切り換えられます。

ゴシック→丸ゴシック→太ゴシック→ポップ体→行書体→隸書体→明朝体



① 目的の書体になるまで書体を押す

書体を押すたびに、選択された書体が表示され、選択肢が切り換わります。

丸ゴシック

MEMO

- ネガ文字があるときは、書体を変更できません。
- 「書体」は編集機能の「書体」でも指定できます。
参照☞P.77「書体」
- 段落ごとや文字ごとに「書体」を指定する場合や、かな専用書体、英数専用書体を指定する場合、編集機能の「書体」で指定します。
- 書体ボタンは文章全体の書体を変えます。「編集」機能で段落ごとや文字ごとに書体を指定している場合は、「▶ (文字モード指定マーク)」前までの書体を変更します。また、漢字、かな、英数書体を別々の書体を指定していても、文章全体が同じ書体になります。

文字サイズを変更する

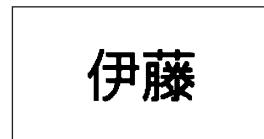
【文字サイズ】を使う

【文字サイズ】を使うと、文字サイズを一段階ずつ切り換えられます。各行の文字サイズを「おまかせフォーマット」の組み合わせから選択できます。

均等



中



選択できる文字サイズは、ラベルの行数によって次のようになります（【文字サイズ】を押したときに表示される画面イメージとは若干異なります）。

ラベルの行数	文字サイズ（おまかせフォーマット）の選択肢			
1行	特大、	大、	中、	小
2行	大大、 中大、	中中、 小大、	大細、 小大、	大小、 細大
3行	均等大、 3大、 3中、	均等小、 2大、 3中、	1大、 2中、 2小	1中、 1小、 3大、
4行	均等、 4大	1大、	2大、	
5-8行	5-8行（サイズ固定）			

① 目的の設定になるまで【文字サイズ】を押す

【文字サイズ】を押すたびに選択肢が切り換わります。

カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。

文字サイズ 3/4
1行 中

MEMO

- ネガ文字があるときは、「文字サイズ」を変更できません。
- 「文字サイズ」は編集機能の「文字サイズ」でも指定できます。
参照☞P.75「文字サイズ」
- 【文字サイズ】は、カーソルのある段落に対する指定です。
- 初期設定値（均等）に戻すには、編集機能の「文字サイズ」で「均等」を指定します。
- 選択肢を切り換えたあとは、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

ラベルの向きを変更する（縦・横）

縦・横を使う

【縦・横】を使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」に切り換えられます。

よこ書きラベル

千代田区＊＊
石原 大輔

たて書きラベル

千代田区＊＊
石原 大輔



① 縦・横を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。

「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。

たて書き

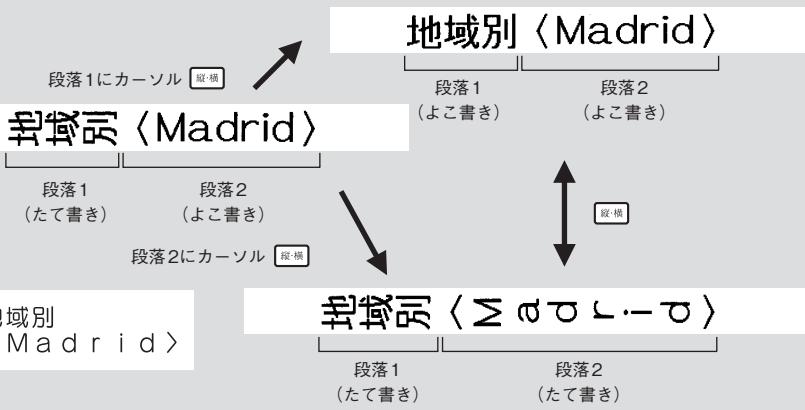
よこ書き

MEMO

- ネガ文字があるときは、「たて書き」「よこ書き」を変更できません。
- 編集機能の「縦・横」では文章単位または段落単位で指定できます。
参照☞P.62「指定範囲とカーソルの位置について」
- 絵文字の「イラスト」は縦書きには対応していません。
参照☞P.159「絵文字一覧表—イラスト」

!! 注意 !!

【縦・横】は文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が、文章全体に反映されます。



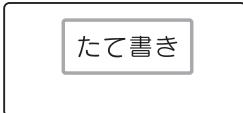
参考**たて書きで2桁の数字を印刷する**

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「14回大会記録」を入力する

14回大会記録

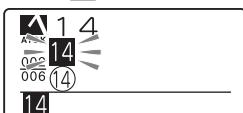
- ①** [横 横] を押して、「たて書き」を指定する



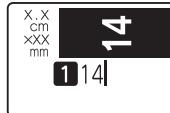
- ②** [1] [4] と入力して [変換 スペース] を押す



- ③** [変換 スペース] を押して2桁数字の「14」を選び、[選択 CNT] を押す



- ④** 続けて文章を入力する

**MEMO**

- 操作を途中でやめるときは [削除 削除] を押し、操作を戻します。
- 2桁の数字は、[記号] を押して「2桁数」を選んで入力することもできます。
- ネガ文字があるときは、2桁数字は入力できません。

ラベルを装飾する（編集）

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

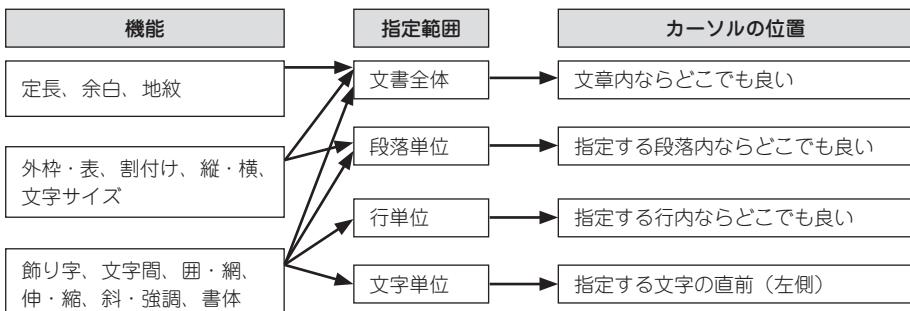
ラベルの見た目を変えるには、[編集]を押して表示されるメニューから機能を選択します。機能によって指定可能な範囲（文字単位、文章全体など）が異なります。

[編集] の機能

機能	内容	指定範囲
定長	できあがるラベルの長さを指定します。	文章全体
余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。	文章全体
外枠・表	飾り枠、表組みを指定します。	文章全体、段落単位
割付け	各行の割り付け位置を指定できます。	文章全体、段落単位
飾り字	白抜き、影文字、白抜影の装飾をします。	文章全体、段落単位
文字間	文字の間隔を変更します。	行単位、文字単位
囲・網	訂正線、下線、網かけ、囲みの装飾をします。	行単位、文字単位
伸・縮	文字を伸縮して変形します。	文章全体
地紋	背景全体に地紋を入れます。	文章全体
斜・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。	文章全体、段落単位 行単位、文字単位
縦・横	たて書きや、よこ書きにします。	文章全体、段落単位
文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。	文章全体、段落単位
書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。	文章全体、段落単位 行単位、文字単位

指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、[編集]を押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



編集機能を使う

機能は以下の流れで指定します。

① カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前（左側）にカーソルを合わせます。

行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。

文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。

参照☞P.62「指定範囲とカーソルの位置について」

② [編集] を押す

!! 注意 !!

ネガ文字があるときは、機能を指定できません。

③ 機能を選ぶ

➡▼△◀で目的の機能を選び、[選択] を押します。



④ 各機能の選択肢を指定する

▼△で目的の選択肢を選び、[選択] を押します。

例：「書体」の選択肢

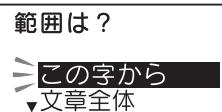


⑤ 指定した機能の有効範囲を決める

指定した機能の有効範囲を指定します。

下表を参考に、▼△で指定する範囲を選び、[選択] を押します。

指定が終了し、テキスト画面に戻ります。



●飾り字、文字間、囲・網、伸・縮、斜・強調、書体を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末（または、次の「▶」）まで、指定した機能を反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した機能を反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した機能を反映します。

●外枠・表、割付け、縦・横、文字サイズを指定した場合

この文章	文章全体に、指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

●定長、余白、地紋を指定した場合

有効範囲の画面は表示されません。

手順④で機能を選択した時点で、文章全体に指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

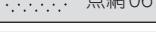
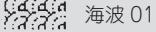
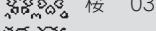
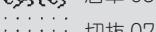
MEMO

- 「▶」（文字モード指定マーク）は印刷されません。
- 「▶」は削除できます。「▶」を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。「▶」がない場合は、「この文章」で指定した内容、または保存値を反映します。
- 各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.65「編集メニュー覧」で確認できます。また、この設定はP.127「各種の初期値（保存値）を設定する」で変更することもできます。
- 操作を途中でやめるときは、指定の途中で [削除] または各機能のボタンを押し、操作を戻します。
- 一部の指定内容は、インジケーターの点灯で確認できます。
参照☞ P.20「ディスプレイの見かたとはたらき」
また、各機能のボタンを押して、機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- 機能を指定した場合には、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

編集メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
定長 ▶ 定長 決まった長さのラベルを作ります。 参照☞P.68	数値指定 ▶ しない ミニDV 4.0cm ▶ MD 5.5cm 音楽テープ 9.5cm CD・DVDケース 11cm VHS 14cm B5ファイル 15cm A4ファイル 20cm	定長 数値指定 ▶ 1.2cm : 50cm	前寄せ 中寄せ 均等割付け 後寄せ
余白 ▶ 余白 ラベルの前後の余白を調整します。 参照☞P.70	極少 1mm 少なめ 3mm ふつう 10mm 多め 18mm テープ幅の1/3 テープ幅と同じ		前寄せ 中寄せ 均等割付け 後寄せ
外枠・表 ▶ 表組み 表組みのラベルを作ります。 参照☞P.71	表組み ▶ なし 外枠 お店外枠 学校外枠 建設外枠 病院外枠	01 02 03 04	参考☞P.152「外枠一覧表」
割付け ▶ 割付け 各行の文字の配置を指定します。 参照☞P.72		前揃え 中揃え 均等割付け 後揃え	

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
飾り字	<p>A 白抜き A ふつう A 影文字 A 白抜影</p>	
文字間	<p>ふつう</p> <p>広い 狭い 密着</p>	<p>プロポーションナル オン オフ</p>
囲・網	<p>A 訂正線 A なし A 丸囲み A 角囲み網</p>	<p>A 下線 A 角囲み A 網かけ A 丸囲み網</p>
伸・縮	<p>A 細かく A 縮める A 伸ばす</p>	<p>A 小さく A ふつう</p>
地紋	<p>なし 00</p>   	<p>海波 01</p>    
斜・強調	<p>A 斜体 A 正体 A 強調 A 斜強調</p>	
縦・横	<p>よこ書き</p>	<p>たて書き</p>

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	
文字サイズ ▶	均等 らく ² 1行 2行 3行 4行 5行～	均等 らく ² 1行 2行 3行 4行 5行～	(おまかせフォーマット) 1行 特大 大 中 小 2行 大大 中大 中小 小中 細大 3行 均等大 均等小 1大 1中 3小 2大 2中 1小 3大 3中 2小 4行 均等 1大 2大 3大 4大	
書体 ▶	書体 漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。 参照☞P.77	漢字書体 明朝体 ゴシック 丸ゴシック 太ゴシック ポップ体 行書体 隸書体	かな書体 自動 明朝体 ゴシック 丸ゴシック 太ゴシック ポップ体 行書体 えれん ハッピ あしひ てまり	英数書体 自動 明朝体 ゴシック 丸ゴシック 太ゴシック ポップ体 行書体 隸書体 HV体 CR体 BR体 PL体 ST体 CB体

編集機能の説明

●定長

印刷するラベルの長さを用途や数値で指定します。

長さを指定したあと、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



数値指定は、ラベルの長さを数値（1.2cm～50cm）で指定できます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をおすすめします。

用途	長さ	推奨テープ幅
ミニDV	4.0cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
音楽テープ	9.5cm	9mm
CD・DVDケース	11cm	4mm
VHS	14cm	18mm

用途	長さ	推奨テープ幅
B5ファイル	15cm	12mm
A4ファイル	20cm	12mm

MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長オーバー」と表示され、印刷できません。文字数を減らしたり、文字サイズの指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。

参考**定長内に文字をおさめる「つめ²」機能**

「文字サイズ」で「らく²」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく²」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。

そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく²」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ²」機能がはたらきます。

① 最後の段落の文字を小さくする

(図A→B)

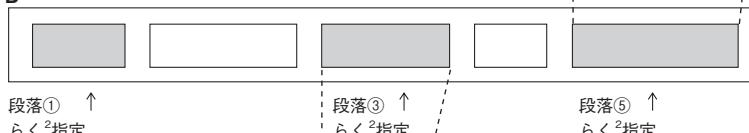
定長に入らない場合はまず、「らく²」を指定した段落の中で最後の段落(⑤)の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

② 最後から2番目の段落の文字を小さくする(図B→C)

それでも定長に入らない場合は、「らく²」を指定した段落の中で最後から2番目の段落(③)の文字サイズを1段階小さくします。

定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。

この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定しなおすか、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。

A**B****C**

※ 段落②、④が「らく²」を指定していない段落です。

MEMO

- 「らく²」を指定していない段落は「つめ²」機能ははたらきません。
- 「らく²」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ²」機能による処理はおこなわれません。

●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少（余白：前後約1mm）

■ 極少 ■

少なめ（余白：前後約3mm）

■ 少なめ ■

ふつう（余白：前後約10mm）

■ ふつう ■

多め（余白：前後約18mm）

■ 多め ■

テープ幅の1/3

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約1/3が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約4mm）。

■ 自動少なめ ■

テープ幅と同じ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約12mm）。

■ 自動多め ■

MEMO

余白「極少、少なめ、テープ幅の1/3」を指定すると、印刷前にテープがカットされます。4mm、6mm幅テープで余白を「テープ幅と同じ」に指定した場合も、印刷前にテープがカットされます。

●外枠・表

文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

なし（ご購入時の初期設定値）

外枠・表組みをつけません。

表組み

文章（段落）を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。

複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。

表示されるピクトグラフで表組みの種類を確認できます。

参照☞P.45「段落を増やす（改段落）」

表組み



備品名	R D S
管理番号	1103-U

MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中のを入力します。

ラベルの行中に縦罫線が入る

段落1 段落2

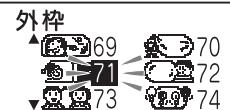
テキスト画面に[■]を入力する

シフト + [選択] で改段落をして、このように
段落2を入力します

外枠

文章（段落）のまわりに外枠をつけます。

表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。



MEMO

- 表組み・外枠の種類は、数字ボタンで番号を指定することもできます。

参照☞P.65「編集メニュー一覧」

- 外枠のデザインは「外枠一覧表」を参照してください。

参照☞P.152「外枠一覧表」

●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

 前揃え（購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
 中揃え	各行の中心を揃えます。
 均等割付け	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割り付けます。
 後揃え	行末を揃えます。

MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「均等割付け」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

●飾り字

文字の装飾を選択します。

白抜き	ふつう（購入時の初期設定値）
	
影文字	白抜影
	

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

●文字間

文字の間隔を選びます。

ふつう（購入時の初期設定値）	広い
□□ふつう	□□広い
狭い	密着
□□狭い	□□密着

さらに文字間「プロポーショナル」の「オン/オフ」を選びます。

プロポーショナル オン	世界選抜 1-1 キングFC UEHA選抜 0-2 キングFC
プロポーショナル オフ	世界選抜 1 - 1 キングFC UEHA選抜 0 - 2 キングFC

「プロポーショナル」を「オン」にすると、英数字にプロポーショナルがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

「プロポーショナル」を「オフ」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字（半角スペースを含む）をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「プロポーショナル」を「オフ」にしてください。

MEMO

文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。
参照☞P.118「外字を使う」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルになります。

●囲・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。

表示されるピクトグラフの画面に「囲・網」の種類を確認できます。



●伸・縮

各行の基本文字サイズ（行の大小）は、テープ幅・入力行数・文字サイズの指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

細かく	基本サイズより、2段階小さい文字になります。
小さく	基本サイズより、1段階小さい文字になります。
縮める	横の長さを基本サイズの約0.75倍にします。
ふつう（購入時の初期設定値）	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約1.5倍にします。

MEMO

- 基本文字に対して、よこ書きのラベルでは「下並び」（文字のベースライン揃え）、たて書きのラベルでは「中並び」（センター揃え）となります。
- 英数専用書体（HV体・CR体・BR体・PL体・ST体・CB体）はベースラインが漢字書体や、かな書体と異なるため、かな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは編集機能の指定で変えられます。
参照☞P.75「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルになります。

●地紋

ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



MEMO

地紋を指定した場合、プレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがあります、印刷に影響はありません。

●斜・強調

文字の斜体、強調を選択します。

斜体	正体（購入時の初期設定値）	強調	斜強調
斜体	正体	強調	斜強調

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレことがあります。

●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。

たて書き/よこ書きの変更は[縦・横]でも指定できます。

参照☞P.60「ラベルの向きを変更する（縦・横）」

よこ書き（ご購入時の初期設定値）

よこ書き

たて書き

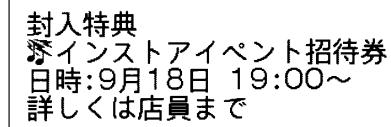
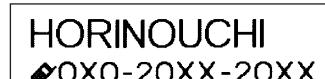
たて書き

●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく²」「おまかせフォーマット」で指定してください。

[選択] でも指定できます。

参照☞P.59「文字サイズを変更する」

均等 (購入時の 初期設定値)	各行同じ文字サイズにします。 12mm幅テープ	18mm幅テープ
		
らく ²	入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。 1行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。	
	2行以上のとき：各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。	
おまかせ フォーマット	各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。	
	参照☞P.76「おまかせフォーマット」	

おまかせフォーマット（1行～8行）

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

文字サイズ	1行
特大	1/4
大	2/4
中	3/4

おまかせフォーマット 1行の文字サイズ

特大・大・中・小と選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印刷サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt]	H [48]	U [38]	G [26]	L [19]	M [13]	S [10]	P [6]
テープ幅	24mm	特大	大	中	小	—	—
	18mm	—	特大	大	中	小	—
	12mm	—	—	特大	大	中	小
	9mm	—	—	—	特大	大	中
	6mm	—	—	—	—	特大	大
	4mm	—	—	—	—	—	特大、大、中、小

!!注意!!

テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しないことがあります。

MEMO

- おまかせフォーマットは、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なる場合は、「均等」で印刷されます。

●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。



明朝体	ゴシック（購入時の初期設定値）
美 しい文字	美 しい文字
丸ゴシック	太ゴシック
美 しい文字	美 しい文字
ポップ体	行書体
美 しい文字	美 しい文字
隸書体	
美 しい文字	
えれん	ハッピ
うつくシイ	うつくシイ
あしひ	てまり
うつくシイ	うつくシイ
HV体	CR体
Beautiful	Beautiful
BR体	PL体
Beautiful	Beautiful
ST体	CB体
Beautiful	Beautiful

印刷

入力、編集したテキストを印刷してラベルにしましょう。
同じラベルを何枚も印刷できる連続印刷などの特殊印刷機能も使いこなすと
便利です。

印刷イメージを確認する(プレビュー)

印刷前に、印刷するイメージを表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

① テープカートリッジをセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

② [プレビュー]を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

お得な
初回限

MEMO

- ・プレビュー中に[あ・ア・A]、[変換スペース]、[↓↑△◀]のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
- ・プレビューを途中でやめるときは[削除取消]または[選択実行]を押してください。
- ・定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長オーバー」と表示されます。このまま[選択実行]を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

!!注意!!

- ・プレビューが表示されるのは、テキスト画面またはビジネスフォーム入力画面のときだけです。
- ・テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し！」と表示され、プレビューは表示されません。
- ・行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー」または「テープ幅不足」と表示され、プレビューは表示されません。
- ・プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、ACアダプタ（AC1116J）を正しく接続しているかを確認してください。

① (印刷) を押す

「準備中」と表示されたあと、ラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。

印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。

長さ 8.0cm
幅 18mm
1 枚

MEMO

- 印刷を途中でやめるときは  を押してください。
- 印刷中に  (電源) を押すと印刷を中止し、テープをカットしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと印刷枚数表示が増加します。印刷枚数の表示は「100枚」の次は「1枚」と表示されます。印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。
- 余白「極少、少なめ、テープ幅の1/3」を指定すると、印刷前にテープがカットされます。4mm、6mm幅テープで余白を「テープ幅と同じ」に指定した場合も、印刷前にテープがカットされます。
- 特殊印刷（連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷）をおこなう場合は、 で印刷します。
参照☞ P.84「特殊印刷」
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長オーバー」と表示されます。このまま  を押すと、定長を解除して印刷を強行します。
- 裏紙がケバ立ってカットされることがあります、ラベルには影響ありません。

!!注意!!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りばんは「自動カット/しない」で印刷してください。そのあと、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm(りばんの場合は10mm)程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
参照☞ P.90「「自動カット」を設定する」、P.134「テープカートリッジを使いわける」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷までの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- ネガ文字、点滅文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、保護回路のはたらきで電源が切れ、印刷が中断します。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープ無し！」と表示され、印刷できません。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- QRコードが大きい場合、「QRコード大！」と表示され、印刷できません。
参照☞ P.55「QRコードを入力する」
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じことがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

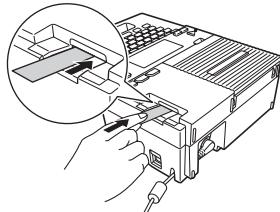
印
刷

カドを丸く仕上げる(オートトリマー)

ラベルをトリマー差込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げることができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよいかかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

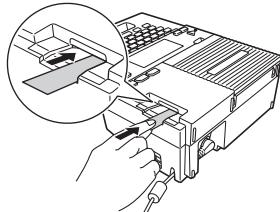
9mm、12mm、18mm幅テープのとき
ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

- 1 ラベルの片側をトリマー差込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つきあたるまで差し込む



- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

- 3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする

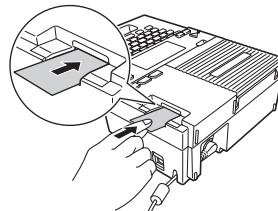


お得なセット!
初回限定版Box

24mm幅テープのとき

左右のカドが同時にカットされます。

- 1 ラベルの左右をトリマー差込み口のガイドに沿わせ、つきあたるまで差し込む



- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

MEMO

- ・ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- ・ラベルはつきあたるまでしっかりと差し込んでください。
- ・4mm、6mm幅ラベルは、オートトリマーを使用できません。トリマー(RT36W)を使ってカットしてください。

参照☞P.11「別売品のご案内」

MEMO

- ・印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
- ・オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、カドがきれいにカットされないことがあります。
- ・トリマー差込み口には、シャーペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
- ・耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・蓄光ラベル・りぼんはカットできませんので、オートトリマーに差し込まないでください。

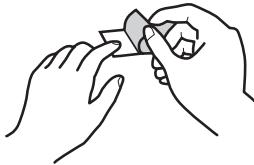
参照☞P.134「テープカートリッジを使いわかる」

- ・別売品のハーフカッター(RH24)でハーフカットしたラベルのスリット部分を折り曲げた状態でオートトリマーに差し込まないでください。

ラベルを貼る

印刷したラベルの裏紙をはがして貼ります。

① 裏紙をはがす



② しっかりとこすって貼り付ける



!!注意!!

- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともどに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかつたりはがれやすくなります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- 「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じことがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

MEMO

- 印刷したラベルのカドを丸くすることができます。
参照☞P.82「カドを丸く仕上げる（オートトリマー）」
- 「テプラ」PROテープカートリッジには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
参照☞P.134「テープカートリッジを使いわかる」
同梱のテープカタログや当社ホームページ（アドレス <http://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

印
刷

特殊印刷

[特殊印刷]を押すと、拡大印刷、連続印刷、鏡文字印刷などの特殊な印刷を指定できます。

特殊印刷メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
特殊印刷		
拡大印刷	しない	
拡大印刷	2倍印刷	2/2 1/2
拡大して印刷します。	3倍印刷	3/3 1/3
参考 P.85	4倍印刷	4/4 1/4 1/4
	5倍印刷	5/5 1/5 1/5
	6倍印刷	6/6 1/6 1/6 1/6 1/6
連続印刷	枚数指定	枚数入力
連続印刷	止めるまで	
参考 P.87		
鏡文字印刷	する	
鏡文字印刷	しない	
鏡像反転して印刷します。		
参考 P.88		
印刷実行？		

テープ幅より大きなラベルを作る（拡大印刷）

印刷内容を2倍、3倍、4倍、5倍、6倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

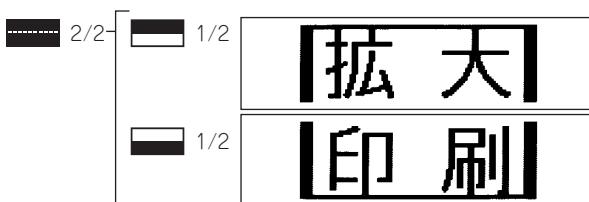
「2倍印刷」なら上下2枚で1組、「3倍印刷」なら上中下3枚で1組のラベルになります。
大きさを指定したあとに、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

●拡大印刷の種類（サンプルは12mm幅のラベルです）

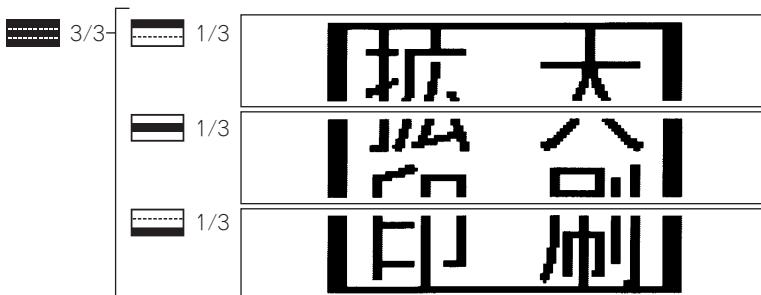
 (印刷)による
通常の印刷



2倍印刷 2倍拡大



3倍印刷 3倍拡大



2倍、3倍と同様に4倍印刷は4枚、5倍印刷は5枚、6倍印刷は6枚のラベルの組み合わせになります。

例：3倍に拡大して印刷をする

① 文章を入力し、を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

② 「拡大印刷」を選び、を押す



③ 「3倍印刷」を選び、を押す



④ 「3/3」を選び、を押す



「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。

⑤ 「印刷実行？」を選び、を押す



3枚1組のラベルが印刷されます。

⑥ テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印 (印刷) では通常の印刷がおこなわれます。

MEMO

- 操作を途中でやめときは、またはを押し、操作を戻します。
- ビジネスフォームで作成したラベルは拡大印刷機能が表示されません。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとすると全長が16mを超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章を2組に分けるなど指定をしなおしてください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍～6倍にする機能です。そのため、定長を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍～6倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍～6倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍印刷	約2倍	約2倍	約4倍
3倍印刷	約3倍	約3倍	約9倍
4倍印刷	約4倍	約4倍	約16倍
5倍印刷	約5倍	約5倍	約25倍
6倍印刷	約6倍	約6倍	約36倍

例えば「3倍印刷」で印刷をおこなうと、印 (印刷) による通常の印刷に比べて、幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになるので、使用するテープ量は約9倍になります。

参考

カラフルな3倍印刷

「3倍印刷」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）

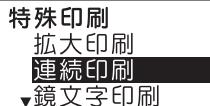
同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

例：同じラベルを3枚連続して印刷する

① 文章を入力し、**特殊印刷**を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

② 「連続印刷」を選び、**選択実行**を押す



③ 「枚数指定」を選び、**選択実行**を押す



印刷枚数を指定する画面になります。
「止めるまで」を選択した場合は、「特殊印刷」メニューに戻ります（手順⑤へ）。

④ 印刷枚数を入力し、**選択実行**を押す

入力できる枚数は1~99枚です。



「特殊印刷」メニューに戻ります。

⑤ 「印刷実行？」を選び、**選択実行**を押す



印刷が開始されます。

1枚目の印刷が終了するとテープがカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。
手順③で「止めるまで」を選択した場合は、枚数を印刷したあと、いずれかのボタンを押して印刷を停止します。

!! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。 (印刷) ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ出口付近にラベルがたまないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ出口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再度カットするおそれがあります。
- 印刷途中でテープが終了しても、指定した枚数分の印刷カットをおこないます。刃の磨耗を防ぐため、印刷途中でテープが終了した場合は、 を押して印刷を中止してください。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、 または を押し、操作を戻します。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。

例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。

参照☞P.50「連番を入力する」

鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

●鏡文字印刷

する（鏡像）



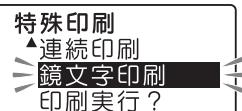
しない（正像）



- ① 文章を入力し、**[特殊印刷]**を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

- ② 「鏡文字印刷」を選び、**[選択実行]**を押す



- ③ 「する」を選び、**[選択実行]**を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

- ④ 「印刷実行？」を選び、**[選択実行]**を押す



鏡文字ラベルが印刷されます。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。
[印画] (印刷) では通常の印刷がおこなわれます。

MEMO

操作を途中でやめるときは、**[削除/取消]** または**[特殊印刷]** を押し、操作を戻します。

印刷設定

シフトを押しながら  (=印刷設定) を押すと、自動カットの設定や印刷濃度を変更できます。

印刷設定メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢
印刷設定	
印刷濃度	-3 ふつう +3
印刷濃度 印刷の濃さを設定します。 参照  P.91	
自動カット	する
自動カット 印刷時の自動カットの有無を設定します。 参照  P.90	しない
リセット	実行?
リセット 自動カットと印刷濃度を初期設定値にします。 参照  P.92	

印
刷

「自動カット」を設定する

本機は、印刷時にラベルを自動的にカットしますが「自動カット/しない」にも設定できます。

!! 注意 !!

本機のカッターでカットできない耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼんを使う場合は、「自動カット/しない」にして印刷してください。

参照☞P.134「テープカートリッジを使いわける」

① シフトを押しながら_{特殊印原} (=印刷設定) を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

② 「自動カット」を選び、_{選択 EXIT} を押す



③ 「しない」を選び、_{選択 EXIT} を押す



自動カットが無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

以降の印刷は、すべて自動カットされません。カートリッジを取り出してハサミなどでカットしてください。

自動カットを有効にする場合は、手順③で「する」を選びます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、_{削除 取消} または_{特殊印原} を押し、操作に戻します。
- 「自動カット/しない」で印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 「自動カット/しない」の設定でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。カット可能なテープに入れ替えた場合など、そのラベルのみ自動でカットしたいときは「送りカット」をおこなってください。
参照☞P.28「5. テープ送りをする」
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
- 参考☞巻末「アフターサービスについて」
- 自動カットは全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、印刷設定のリセット、本機の初期化をおこなってください。
参照☞P.92「印刷設定をリセットする」
- 参考☞P.129「本機を初期化する」

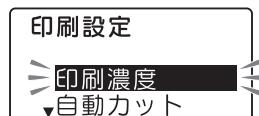
印刷濃度を調整する

印刷濃度は「-3～ふつう～+3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

① シフトを押しながら [選択] を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

② 「印刷濃度」を選び、[選択] を押す



③ 濃度を調整し、[選択] を押す



印刷濃度が設定されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除] または [取消] を押し、操作を戻します。
- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度に合わせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 耐熱ラベル・上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベルで印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。
参照☞P.134「テープカートリッジを使いわかる」
- 印刷濃度は全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、印刷設定のリセット、本機の初期化をおこなってください。
参照☞P.92「印刷設定をリセットする」
参照☞P.129「本機を初期化する」

印刷設定をリセットする

自動カットと印刷濃度の設定をご購入時の状態（初期設定値）に戻します。

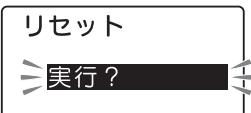
① [シフト] を押しながら [選択/実行] を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

② 「リセット」を選び、[選択/実行] を押す



③ 「実行？」を選び、[選択/実行] を押す



自動カットと印刷濃度の設定が初期設定値になります。

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・操作を途中でやめるときは、[削除/戻る] または [特殊印刷] を押し、操作を戻します。

活用

～「テプラ」をさらに活用しよう～

「あらかじめデザインされたラベルを利用したい」

「入力した文章を保存しておきたい」

「あて名や名前のラベルを作りたい」

「外字を登録したい」

こんなときは、フォーム機能やファイル機能、外字機能を活用します。

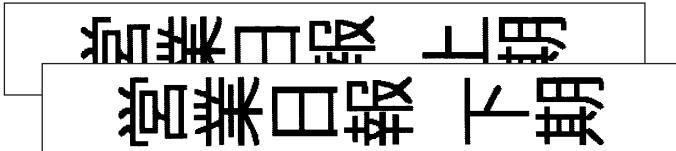
ビジネスフォームを使う

ビジネスフォームを使うと「ファイルの背見出し」や「備品管理」などビジネスでよく使う、決められたレイアウトのラベルを簡単に作ることができます。

フォームの種類によっては、異なる入力のラベルを複数枚まとめて作成できるので大変便利です。

■ 背見出し：簡単

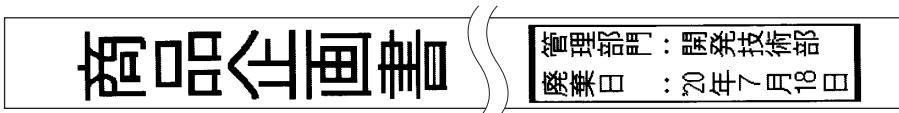
「たて書き」で「1行」の背見出しラベルを複数枚まとめて作成できます。



■ 背見出し：管理用

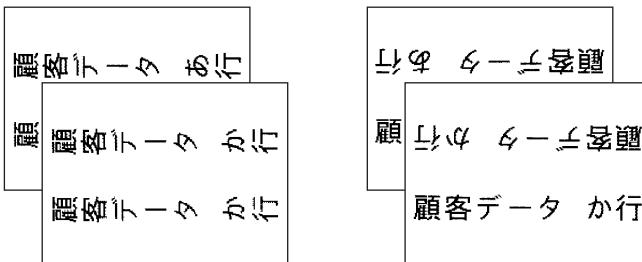
「題名」と「管理部門」「廃棄日」をきれいにレイアウトした背見出しラベルを作成できます。

「管理部門」「廃棄日」は別の項目に書き換えることもできます。



■ インデックス（たて書・よこ書）

ラベルの真ん中を折って使うインデックスラベルを複数枚まとめて作成できます。



■ 備品管理

「備品名」「管理番号」「購入日」「管理部門」を表組みにした備品管理ラベルを作成できます。

項目名はネガ印刷され、本格的な雰囲気になります。入力時に「項目名変更」を選択すると、項目名を書き換えることもできます。

備品名	デジタルカメラ
管理番号	K J O 1 2 3
購入日	09年7月22日
管理部門	総務部

■ ケーブル

ケーブルに巻き付けて表示するケーブルラベル（1行表示）を複数枚まとめて作成できます。



ラベルの作りかた

ビジネスフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

① 使用するビジネスフォームを決める

使いたいビジネスフォームを選んでください。

② ビジネスフォームボタン（、、、）のいずれか）を押す

「ビジネスフォーム」メニューが表示されます。

③ 目的のビジネスフォーム名を選び、を押す



背見出し・簡単の場合は、このあと入力画面になります（手順⑤）。
背見出し・管理、インデックス、ケーブルの場合は、このあと長さを選択します（手順④）。

備品管理の場合は、このあと内容入力か項目名変更かを選択します（手順④）。

④ 長さを選び、を押す

備品管理の場合は、入力か項目名変更かを選択します。



長さの選択



入力 / 項目名変更を選択

⑤ 文字を入力する

入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



- ・入力行が複数あるときは、△を押すと次の行にカーソルが移ります。
- ・インデックスの「表」の行で[選択]を押すと、「表」の行に入力した内容が「裏」の行に自動的にコピーされます。
- ・背見出し・簡単やインデックスでは、1枚目（裏）入力後に[選択]を押すと2枚目の行が表示されます。

!!注意!!

入力内容にある「1枚目」、「2枚目」や「1枚目 表」、「1枚目 裏」などは入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。

MEMO

- ・[シフト]を押しながら[削除]削除
取消 (=全消去) を押すと、入力した内容の全文消去ができます。背見出し・管理用および備品管理・項目名の画面では、「初期状態に戻す」も選択できます。
- ・入力画面で[編集]を押すと、ラベルを装飾することができます。指定可能な機能は、飾り字、文字間、書体、伸・縮、囲・網、斜強調の6種類です。

⑥ 印刷する

参照☞P.81「印刷する」

!!注意!!

- ・ビジネスフォームで作成した文章は電源を切っても保持されていますが、ファイル登録はできません。
- ・ビジネスフォームはフォームごとに入力限度、推奨テープなどがあります。以下の表を参照してください。

	最大枚数	最大入力文字数	推奨テープ幅	印刷可能な文字数（目安）
背見出し：簡単	10枚	全175文字	9mm～24mm	全175文字
背見出し： 管理用	1枚	各行25文字 (項目名含む)	12mm	B5ファイル： 各行9文字以内を推奨 A4ファイル： 各行12文字以内を推奨 (項目名含む)
インデックス (たて書・よ こ書)	12枚	各行27文字	18mm～24mm	長さ1.8cm：各行4文字 長さ3.2cm：各行8文字 長さ6.0cm：各行17文字 長さ8.0cm：各行23文字 長さ11cm：各行27文字
備品管理	1枚	各行20文字 (項目名8文字)	18mm～24mm	各行20文字 (項目名8文字)
ケーブル	10枚	各20文字	24mm	長さ1.4cm：各5文字 長さ2.0cm：各8文字 長さ2.6cm：各10文字

- ・長さを指定するビジネスフォームでは、指定した長さにおさまらない場合は「定長オーバー」が表示されます。[削除]削除
取消ボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか「伸・縮」で文字を小さくするなどの指定をしてください。そのまま[選択]選択
実行または[印刷]印刷を押すと、定長を解除して印刷します。
- ・ビジネスフォームでは、連続印刷は最大20枚までの対応となります。
- ・印刷可能な文字数は目安です。英数字を入力した場合や、編集機能の「飾り字」「伸・縮」を指定した場合、印刷可能文字数は変わります。

ビジネスフォームメニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
背見出し 簡単	▶ 入力 1枚目 [2枚目 [: 10枚目 [
管理用	▶ 長さ B5ファイル15cm ► A4ファイル20cm ►	▶ 入力 題名 [項目1 [管理部門 : 項目2 [廃棄日 :
インデックス たて書 よこ書	▶ 長さ 1.8cm ► 3.2cm ► 6.0cm ► 8.0cm ► 11cm ►	▶ 入力 1枚目 表 [1枚目 裏 [2枚目 表 [2枚目 裏 [: 12枚目 表 [12枚目 裏 []
備品管理/ケーブル 備品	▶ 備品管理 ▶ 項目名変更	▶ 入力 備品名 [管理番号 [購入日 [管理部門 [▶ 入力 項目1 [備品名 項目2 [管理番号 項目3 [購入日 項目4 [管理部門
ケーブル	▶ 長さ 1.4cm ► 2.0cm ► 2.6cm ►	▶ 入力 1枚目 [2枚目 [: 10枚目 [

活用

デザインフォームを使う

本機にはゴミ分別や店頭POP・注意喚起などに使えるデザインフォームが登録されています。呼び出してそのまま印刷することもできますが、入力内容や装飾を変更して印刷することもできます。

例：「可燃ごみ」のラベル



ラベルの作りかた

デザインフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

① 使用するデザインフォームを決める

使いたいデザインフォームを選んでください。

参照☞P.160「デザインフォーム一覧表」

② を押しながら (=デザインフォーム) を押す

「デザインフォーム」メニューが表示されます。

③ デザインフォームの分類を選ぶ

▽△で目的のデザインフォームが含まれる分類を選び、を押します。

選択肢を指定する画面になります。

デザインフォーム
▼ 分別廃棄・環境
▼ 施設表示

④ 使用するデザインフォームを指定する

▽△で目的のデザインフォーム名を選び、を押します。

▼ 分別廃棄・環境
<input checked="" type="checkbox"/> 可燃ごみ
<input type="checkbox"/> 不燃ごみ



X.X cm XXX mm	可燃ごみ
3 1	▶ 可燃ごみ

!! 注意 !!

デザインフォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。デザインフォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。

参照☞P.102「ファイルを登録する」

MEMO

操作を途中でやめるときは、またはを押し、操作を戻します。

5 内容を修正する

呼び出したデザインフォームの内容を修正したい場合には、必要に応じて文字や記号を削除して内容を変更します。

例 :

1 ►
1
2
3
1 ►可燃ごみ



1 ►
1
2
3
1 ►燃えるごみ

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、[削除] または [ファイル] を押し、操作を戻します。
- デザインフォームで指定されている編集機能の指定は変更できます。

6 印刷する

参照☞ P.81「印刷する」

デザインフォームメニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢		
分別廃棄・環境	可燃ごみ ピン・カン プラスチック 節電	不燃ごみ 乾電池 ダンボール 節水	ペットボトル 金属類 紙類
施設表示	案内所 救護所 男子 車椅子スロー 消火器 非常口 禁煙 駐車禁止 かけ込み禁止 飲めない 撮影禁止 障害物注意 滑面注意 感電注意 立つ (左側)	情報コーナー 警察 女子 飲料水 非常電話 広域避難場所 火気厳禁 自転車禁止 さわるな 携帯禁止 フラッシュ 上り段差注意 転落注意 指示 立つ (右側)	病院 お手洗 身障者用設備 喫煙所 非常ボタン 禁止 進入禁止 立入禁止 捨てるな 電子機器禁止 注意 下り段差注意 天井に注意 静かに
お店表示	入荷待ち 不要レシート 喫煙席 ペット禁止 配送 塩 小麦粉 ソース	お会計 休憩所 警備員巡回中 防犯カメラ 値札 コショウ 唐辛子	カード支払い 禁煙席 係員 当店HP 砂糖 片栗粉 しょうゆ
日・英併記	カード支払い 両替 携帯電話禁止 ラッピング ご覧ください 故障中 並ぶ	現金払い レシート不要 飲食禁止 NEW 新商品 店長おすすめ 年中無休	消費税 觸れないで 防犯カメラ パンフレット 配達 お手洗
お名前	名札	住所・氏名	学校持ち物
オフィス	備品管理票	ケーブル	回覧の捺印
QRコード	QR携帯1	QR携帯2	QR携帯3
			QR備品管理

MEMO

ラベルのデザインは、「デザインフォーム一覧表」を参照してください。

参照☞P.160「デザインフォーム一覧表」

文章を呼び出す・登録する（ファイル）

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文字とレイアウトなどラベルの状態がそのまま登録されます。

ファイルメニュー一覧

【ファイル】のメニュー一覧（太字は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
印刷履歴	▶ 呼出 消去	最近印刷した文章を呼び出します 印刷履歴を消去します	P.105 P.106
ファイル	▶ 呼出 登録 消去	登録した文章を呼び出します 作成した文章を保存します 登録した文章を消去します	P.103 P.102 P.104
あて名	▶ 修正 登録 消去 複写 印刷	登録したあて名を修正します あて名を登録します 登録したあて名を消去します 登録したあて名を複写します 登録したあて名ラベルを印刷します	P.109 P.108 P.109 P.110 P.110
名前	▶ 登録 修正 印刷 消去	名前を登録します 登録した名前を修正します 登録した名前ラベルを印刷します 登録した名前を消去します	P.113 P.114 P.115 P.114
辞書	▶ 登録 消去	辞書を登録します 登録した辞書を消去します	P.116 P.117

MEMO

- ・ファイルとあて名、名前は、同じエリアに保管されています。本機には、約5,000文字（最大で99個のファイル、ファイル名を含む）を登録することができますが、たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- ・データがいっぱい登録できない場合は「メモリーがいっぱい登録できません」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

ファイルを登録する

① ファイルを押す

「ファイル」メニューが表示されます。

② 「ファイル」を選び、選択を押す



③ 「登録」を選び、選択を押す



④ ⇧↓△▽で登録番号を選び、選択を押す



⑤ ファイル名を入力し、選択を押す

ファイル名登録

ファイル名 []

15文字まで入力できます。入力しなくても登録できます。

⑥ 内容を確認し、選択を押す

登録確認 02

- 1 ラベルライター
- 2 「テプラ」PR

「登録実行」と表示されます。

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- ・操作を途中でやめるときは、削除または戻します。
- ・ファイルは99件まで登録できます。
- ・データがいっぱい登録できない場合は「メモリーがいっぱい登録できません」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。
- ・本機には、約5,000文字（最大で99個のファイル、ファイル名を含む）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少くなります。
- ・ビジネスフォームの文章は登録できません。

ファイルを呼び出す

現在のテキスト画面の文章を置き換える「上書き呼出し」と、現在の文章に別段落で挿入する「連結呼出し」があります。

「上書き呼出し」を選ぶと、テキスト画面の文章は全消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。「連結呼出し」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

① ファイルを押す

「ファイル」メニューが表示されます。

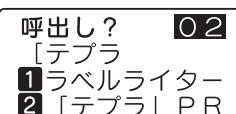
② 「ファイル」を選び、選択[改行]を押す



③ 「呼出」を選び、選択[改行]を押す



④ ⇶▽△◀で番号を選び、選択[改行]を押す



⑤ 内容を確認し、選択[改行]を押す

⇨▽△◀で文章を確認できます。

呼出確認 02

- 1 ラベルライター
- 2 「テプラ」 PR

⑥ 「上書き呼出し」「連結呼出し」のいずれか

を選び、選択[改行]を押す

上書き／連結

- 上書き呼出し
- 連結呼出し

文章が呼び出されます。

!! 注意 !!

- ・「上書き呼出し」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。
- ・「連結呼出し」の場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーしても、そのまま呼び出します。オーバーした部分は自動的に文末から削除されます。
- ・入力できる文章は約175文字です。

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- ・操作を途中でやめるときは、[削除]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- ・テキスト画面に文章がない状態で呼び出した場合は、手順⑤で文章が呼び出されます。

ファイルを消去する

① [ファイル]を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

② 「ファイル」を選び、[選択]を押す



③ 「消去」を選び、[選択]を押す



④ ↶▽△◀で番号を選び、[選択]を押す



⑤ 内容を確認し、[選択]を押す

→▽△◀で文章を確認できます。



ファイルが消去されます。

!! 注意 !!

消去したファイルは復活できません。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除]または[戻す]を押し、操作を戻します。

最近印刷した文章を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大5つまで記憶しており、ファイル登録をし忘れた場合でも呼び出せます。

印刷履歴を呼び出す

① [ファイル]を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

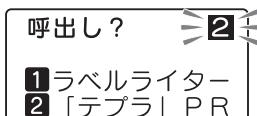
② 「印刷履歴」を選び、[選択][実行]を押す



③ 「呼出」を選び、[選択][実行]を押す



④ ▶▽△◀で文章を選び、[選択][実行]を押す



⑤ 内容を確認し、[選択][実行]を押す



文章が表示されます。

!!注意!!

- 印刷履歴を呼び出すと、直前まで作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。
- 特殊印刷やビジネスフォームの印刷などは印刷履歴の対象になりません。
- 文字数の多い文章の場合、履歴件数が5件にならないことがあります。また、QRコードを含むなど、ラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除][取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。

活
用

印刷履歴を消去する

① ファイルを押す

「ファイル」メニューが表示されます。

② 「印刷履歴」を選び、選択を押す



③ 「消去」を選び、選択を押す



④ ↶↑↓￩で文章番号を選び、選択を押す



⑤ 内容を確認し、選択を押す



印刷履歴が消去されます。

!! 注意 !!

消去した印刷履歴は復活できません。

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- ・操作を途中でやめるときは、[削除] または [ファイル] を押し、操作を戻します。

名前や語句を登録する(あて名/名前/辞書)

あて名ラベルを作る

あて名として郵便番号や住所、名前などを登録しておくと、決められたレイアウトのあて名ラベルをまとめて印刷できます。

■ 登録できる項目とあて名ラベル



項目	入力内容	入力可能文字
〒番号(郵便番号)	[101-0031]	8文字
住所1	[東京都千代田区東神田二丁目10番18号]	20文字
住所2	[]	20文字
会社	[株式会社キングジム]	20文字
部署	[開発部]	20文字
氏名	[山岸 正樹]	20文字
〒 (カスタマバーコード)	[10100312-10-18]	20文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照☞P.111「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約5,000文字（最大99件のあて名）です。

!!注意!!

郵便番号に入力した先頭の5桁に対応する住所を、「住所1」に自動的に入力できます。郵便番号変換は、2008年12月時点のデータをもとにこなっています。そのため、お客様が入力したい住所が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

MEMO

あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後ろに「御中」、氏名まで入力すると氏名の後ろに「様」が付きます。

氏名入力なし：「御中」が付きます

101-0031
東京都千代田区2
株式会社キングジム
開発部 御中

氏名入力あり：「様」が付きます

101-0031
東京都千代田区2
株式会社キングジム
開発部 山岸 正樹 様

活

用

あて名を登録する

① [ファイル]を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

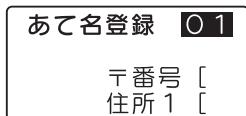
② 「あて名」を選び、[選択 実行]を押す



③ 「登録」を選び、[選択 実行]を押す



④ ▶▽◀◀で登録番号を選び、[選択 実行]を押す



⑤ 郵便番号を入力する



4桁目を入力すると、自動的にハイフン（-）が挿入されます。

⑥ [変換 スペース]を押す

郵便番号に対応する都道府県と市区町村名の候補が表示されます。

⑦ 地名が正しいときは、[選択 実行]を押す

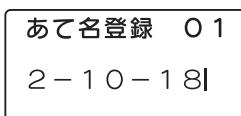


地名が違うときは、▶▽◀◀で適切な地名を選びます。

⑧ 住所1を入力し、[選択 実行]を押す

⑨ 住所2、会社名、部署名、氏名を入力し、 [選択 実行]を押す

⑩ 必要に応じてカスタマバーコードを入力す る



カスタマバーコードの項目で[変換 スペース]を押すと、郵便番号が自動的に入力されます。続けて住所部分を入力します。

参照☞P.111「カスタマバーコードにつ
いて」

⑪ 全項目入力後、[選択 実行]を押す

「登録実行」と表示されます。

活
用

MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 項目入力中に[選択
実行]を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で[選択
実行]を押すと、あて名を登録できます。
- 操作を途中でやめるときは[削除
復元]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- たくさんの文章をファイルしてたり、あて名を登録していると、登録できるあて名の件数が少
なくなります。データがいっぱい登録できない場合は「メモリーがいっぱい登録できません」
と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

あて名を修正する

① [ファイル]を押す

② 「あて名」を選び、[選択]
[改行]を押す

③ 「修正」を選び、[選択]
[改行]を押す



④ ▶▽△◀で番号を選び、[選択]
[改行]を押す



⑤ 内容を修正し[選択]
[改行]を押す



カスタマバーコードの項目で[選択]
[改行]を押すと、「修正実行」と表示されます。

MEMO

項目入力中に[選択]
[改行]を押すと、カーソルが次の
項目へ移動します。カスタマバーコードの項
目で[選択]
[改行]を押すと、あて名を登録できます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除]
[改行]または[ファイル]を押し、操作を戻します。

あて名を消去する

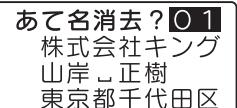
① [ファイル]を押す

② 「あて名」を選び、[選択]
[改行]を押す

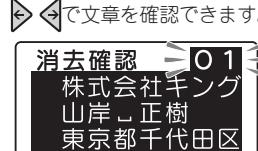
③ 「消去」を選び、[選択]
[改行]を押す



④ ▶▽△◀で番号を選び、[選択]
[改行]を押す



⑤ 内容を確認し、[選択]
[改行]を押す



あて名が消去されます。

!!注意!!

消去したあて名は復活できません。

あて名を複写する

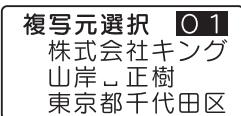
① [ファイル]を押す

② 「あて名」を選び、[選択実行]を押す

③ 「複写」を選び、[選択実行]を押す



④ ▶▽△◀で複写元の番号を選び、[選択実行]を押す



⑤ 内容を確認し、[選択実行]を押す

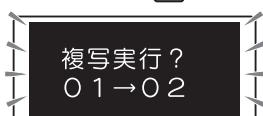
▶◀で文章を確認できます。



⑥ ▶▽△◀で複写先の番号を選び、[選択実行]を押す



⑦ 内容を確認し、[選択実行]を押す



あて名が複写されます。

活
用

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（複写操作の手順④、印刷操作の手順⑤）。
- 操作を途中でやめるときは[削除実行]または[ファイル]を押し、操作を戻します。

あて名ラベルを印刷する

① [ファイル]を押す

② 「あて名」を選び、[選択実行]を押す

③ 「印刷」を選び、[選択実行]を押す



④ 印刷する範囲を選び、[選択実行]を押す



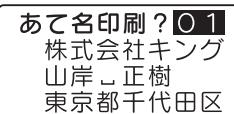
一部：1件のみ印刷

全部：すべてを印刷

「全部」を選んだ場合は、印刷がはじまります。

「一部」の場合は次の手順であて名を選びます。

⑤ ▶▽△◀で番号を選び、[選択実行]を押す



あて名が印刷されます。

MEMO

あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。

カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードを「カスタマバーコード」といいます。

本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、「カスタマバーコード」を印刷することができます。

MEMO

- ・「カスタマバーコード」は印刷する義務はありません。
- ・「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のご利用いただけます。
- ・「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード（）」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例：千葉県鎌ヶ谷市右京塚

東3丁目20-5 鈴木・A&bコーザB604号

① 住所データを次のAとBの部分に分割する

住所A：「郵便番号」で指定される町域名まで
住所B：町域名以降の住所

② 住所Aを郵便番号に置き換える

（「-」（ハイフン）は省略）

③ 住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える

④ データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める

「&」（アンパサンド）「/」（スラッシュ）「・」（中黒）「.」（ピリオド）

⑤ ③および④で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す

⑥ 抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換える

「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、「空白」、「2文字以上連続したアルファベット文字」

⑦ ⑥の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる

⑧ 先頭がハイフンの場合は取り除く

⑨ アルファベットの前後にあるハイフンを取り除く

⑩ ②で処理したデータに⑨で処理したデータをつなげる

郵便番号	_____	住所B
XXX-XXXX	東3丁目-20-5 鈴木・A&bコーザB604号	
(②の処理)	XXXXXX	
(③の処理)		東3丁目-20-5 鈴木・A&bコーザB604号
(④の処理)		東3丁目-20-5 鈴木ABコーザB604号
(⑤の処理)	3	-20-5 B604
(⑥の処理)	東 丁目	鈴木ABコーザ
	「-」に置き換え	
(⑥の処理後)		-3-20-5-B604
(⑦の処理)		-3-20-5-B604
(⑧の処理)		3-20-5-B604
(⑨の処理)		3-20-5-B604
(⑩の処理)	XXXXXX	3-20-5B604

活

用

カスタマバーコードの記入例

- 漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所Bとし、算用数字に変換して指定します。

例： 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号 **例**： 北海道帯広市稻田町南七線西28

永井タワー601

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：十一丁目六番地一号永井タワー601

バーコード [xxxxxxxx11-6-1-601]

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：七線西28

バーコード [xxxxxxxx7-28]

- 連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット1文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。

もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例： 茨城県日立市宮田町6丁目7-14

ABCビル2F

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：6丁目7-14ABCビル2F

バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2]

例： 茨城県日立市宮田町6丁目7-14

ABCビル2F201号室

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：6丁目7-14ABCビル2F201号室

バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2-201]

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが2文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

例： 神戸市中央区港島中町9丁目7-6

南シティA棟1F1号

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：9丁目7-6南シティA棟1F1号

バーコード [xxxxxxxx9-7-6A1-1]

例： 京都府綾部市青野町綾部6-7

LプラザB106

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：6-7 LプラザB106

バーコード [xxxxxxxx6-7LB106]

- バーコードの合計桁数が20文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

例： 札幌市中央区南四条西29丁目1524-23

第2山瀬ハウス501

郵便番号：xxx-xxxx

住所B：29丁目1524-23第2山瀬ハウス

501

バーコード [xxxxxxxx29-1524-23-2-

MEMO

本機ではバーコードは20文字まで入力できます。

名前を登録する

名前データを登録します。名前は名前番号01～40(40件)の番号に順に登録します。

名前は、グループに登録し、1件だけで印刷することも、グループでまとめて印刷することもできます。

わたなべのりひろ
渡辺了洋

① [ファイル]を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

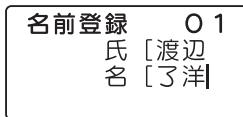
② 「名前」を選び、[選択実行]を押す



③ 「登録」を選び、[選択実行]を押す



④ 名前(氏と名)を入力し、[選択実行]を押す



各7文字まで入力できます。

⑤ ふりがなを確認し、[選択実行]を押す

ふりがな修正 O 1
氏 [わたなべ]
名 [のりひろ]

必要に応じてふりがなを修正します。

⑥ 登録するグループを選び、[選択実行]を押す



グループに登録しない場合は「グループ無」を選びます。

⑦ 内容を確認し、[選択実行]を押す

登録確認 O 1
渡辺了洋
わたなべのりひろ
グループ無

「名前登録実行」と表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- たくさんの文章をファイルに登録していたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。データがいっぱいで登録できない場合は「メモリーがいっぱいです」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

名前を修正する

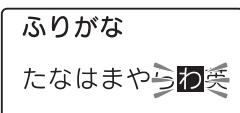
① ファイルを押す

② 「名前」を選び、選択を押す

③ 「修正」を選び、選択を押す

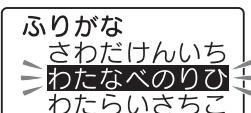


④ 名前の1文字目の行（あ行～わ行）を選び、選択を押す

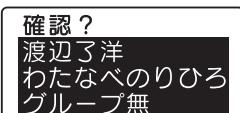


先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

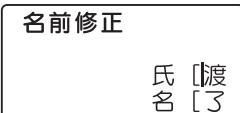
⑤ ↶▽△◀で名前を選び、選択を押す



⑥ 内容を確認し、選択を押す



⑦ 内容を修正する



名前、ふりがな、グループをそれぞれ修正します。

活用

MEMO

・ネガ文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除またはファイルを押し、操作を戻します。

名前を消去する

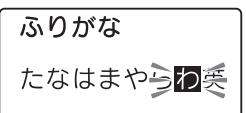
① ファイルを押す

② 「名前」を選び、選択を押す

③ 「消去」を選び、選択を押す

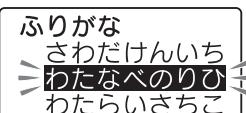


④ 名前の1文字目の行（あ行～わ行）を選び、選択を押す



先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

⑤ ↶▽△◀で名前を選び、選択を押す



⑥ 内容を確認し、選択を押す



⑦ 消去を確認し、選択を押す



名前が消去されます。

!! 注意 !!

消去した名前は復活できません。

名前ラベルを印刷する

名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。

① [ファイル]を押す

② 「名前」を選び、[選択
改行]を押す

③ 「印刷」を選び、[選択
改行]を押す



④ 印刷する範囲を選び、[選択
改行]を押す



一部：1件のみ印刷

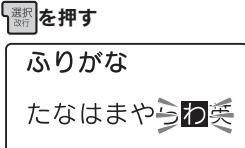
全部：すべての名前を印刷

グループ1/2：選択したグループ内のすべての名前を印刷

「全部」または「グループ」を選んだ場合は、ラベル指定の画面になります（手順⑧）。

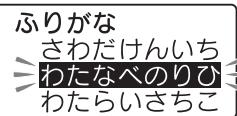
「一部」の場合は次の手順で名前を選びます。

⑤ 名前の1文字目の行（あ行～わ行）を選び、
[選択
改行]を押す



先頭文字がアルファベットのときは「英」。かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

⑥ ▶▽△◀で名前を選び、[選択
改行]を押す



⑦ 内容を確認し、[選択
改行]を押す



⑧ そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、[選択
改行]を押す



「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、書体、飾り字、斜体・強調、ふりがなの有無が指定できます。

⑨ 「印刷実行？」を選び、[選択
改行]を押す



名前ラベルが印刷されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除
取消] または [ファイル] を押し、操作を戻します。

!!注意!!

4mm幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前1行のラベルが印刷されます。

9mm幅テープ（「ふりがな」あり） 9mm幅テープ（「ふりがな」なし）

4mm幅テープ

わたなべのりひろ
渡辺了洋

渡辺了洋

渡辺了洋

活
用

変換できない語句を登録する（辞書の登録）

難しい人名や熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」を辞書登録しておくと、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できます。辞書には、最大30個登録できます。

例：「特許出願書（とっきょしゅつ）」を登録する

① [ファイル] を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

② 「辞書」を選び、[選択
改行] を押す



③ 「登録」を選び、[選択
改行] を押す



④ ↶↑↓←で登録番号を選び、[選択
改行] を押す

辞書登録 01

⑤ 語句を入力し、[選択
改行] を押す

辞書登録 01
句 [特許出願書]
み [

⑥ 読みをひらがなで入力し、[選択
改行] を押す

辞書登録 01
特許出願書
とっきょしゅつ

「読み」はひらがなのみ入力できます。
語句が登録されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除
取消] または[ファイル] を押し、操作を戻します。
- 登録できる「語句」の文字数は5文字以内、「読み」の文字数は16文字以内です（濁音、半濁音は2文字分）。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」で登録しようとすると、「辞書に登録済みの語句です」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では編集・連番・バーコードの登録はできません。
- 辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。

活
用

語句を呼び出す

登録した語句は、通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

① 「とっきょしゅつ」を入力し、[変換
スペース] を押す



辞書登録した語句が変換候補として表示されます。

② 「特許出願書」になっている状態で、[選択
改行] を押す



「特許出願書」が確定されます。

辞書の語句を修正する

例：「読み」の「とつきよしゅつ」を「とくしゅつ」に変える

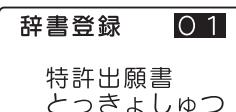
① [ファイル]を押す

② 「辞書」を選び、[選択
実行]を押す

③ 「登録」を選び、[選択
実行]を押す

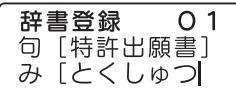


④ ↳▽△◀で番号を選び、[選択
実行]を押す



登録した語句が表示されます。

⑤ 内容を修正し、[選択
実行]を押す



修正した辞書が登録されます。

MEMO

• ネガ文字があるときは操作できません。

• 操作を途中でやめるときは、[削除
履歴]または[ファイル]を押し、操作を戻します。

辞書の語句を消去する

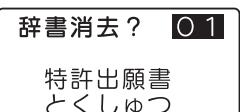
① [ファイル]を押す

② 「辞書」を選び、[選択
実行]を押す

③ 「消去」を選び、[選択
実行]を押す



④ ↳▽△◀で番号を選び、[選択
実行]を押す



⑤ 内容を確認し、[選択
実行]を押す

→◀で文章を確認できます。



辞書が消去されます。

!! 注意 !!

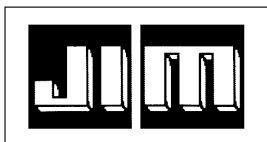
消去した辞書の語句は復活できません。

外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字、記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「編集」で文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字2つに分けて登録（文字間「ふつう」）



文字間「密着」



MEMO

外字は4文字まで登録できます。

概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・48ドットの4段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。

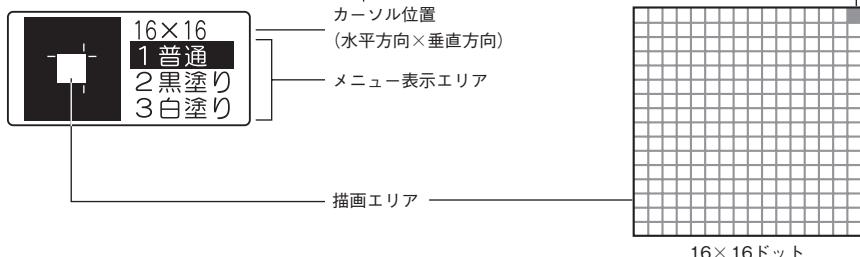
ただし、4段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・32・48ドットの字形データを作り、あとから細部を補正して作るしくみになっています。

画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点（ドット）を塗りつぶしていきます。

画面表示

（例：16ドット）



描画方法（メニュー表示エリアで選択）

描画方法（メニュー）には、1ドットずつ塗りつぶす「普通」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗り」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗り（＝消去）」があり、それぞれ数字ボタン [1] / [2] / [3] で選択します。

メニュー	描画方法	手順
普通	1つ1つの点（ドット）ずつ塗りつぶす	<p>① [1] を押す。 メニュー「1普通」がネガ表示されます。</p> <p>② $\blacktriangleright\blacktriangledown\blacktriangleleft\blacktriangleup$ で塗りつぶすドットにカーソルを移動する。</p> <p>③ シフトを押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。</p>
黒塗り	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす 指定範囲 	<p>① [2] を押す。 メニュー「2黒塗り」がネガ表示されます。</p> <p>② $\blacktriangleright\blacktriangledown\blacktriangleleft\blacktriangleup$ で塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。</p> <p>③ シフトを押す。</p> <p>④ $\blacktriangleright\blacktriangledown\blacktriangleleft\blacktriangleup$ で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。</p> <p>⑤ シフトを押す。手順②と④で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。</p>
白塗り	広い範囲のブロックを白くする（消す） 指定範囲 	<p>① [3] を押す。 メニュー「3白塗り」がネガ表示されます。</p> <p>② $\blacktriangleright\blacktriangledown\blacktriangleleft\blacktriangleup$ で塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。</p> <p>③ シフトを押す。</p> <p>④ $\blacktriangleright\blacktriangledown\blacktriangleleft\blacktriangleup$ で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。</p> <p>⑤ シフトを押す。手順②と④で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。</p>

外字を作成し、登録する

例：外字番号「2」に「四」を登録する

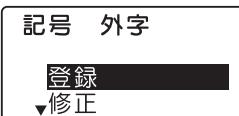
① [記号] を押す

「記号」メニューが表示されます。

② 「外字」を選び、[選択] を押す



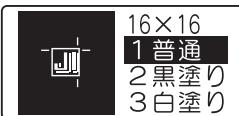
③ 「登録」を選び、[選択] を押す



④ → ↓ ↑ ← で登録番号を選び、[選択] を押す



⑤ 16ドットのデータを描画する



シフトと→ ↓ ↑ ← で描画します。

参照 P.119「画面表示と描画方法」

⑥ 16ドットの描画が終わったら、[選択] を押す

16ドットのデータをもとに、24・32・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。

⑦ 24・32・48ドットのデータを補正する



手順⑤と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。[選択] を押すと、次のサイズの描画に移ります。

!! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しないと、きれいに印刷されません。

⑧ 48ドットの描画が終わったら、[選択] を押す

「外字登録完了」と表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除] または [記号] を押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

外字を修正する

例：外字番号「2」の48ドットデータを修正する

① 記号を押す

② 「外字」を選び、選択ボタンを押す

③ 「修正」を選び、選択ボタンを押す



④ ▶▽△◀で番号を選び、選択ボタンを押す



16ドットの描画画面が表示されます。

⑤ 48ドットの描画画面が表示されるまで選択ボタンを押す



⑥ 48ドットのデータを修正する

参照☞P.119「画面表示と描画方法」

⑦ 選択ボタンを押す

外字が修正されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除]または[記号]を押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

外字を呼び出す

① 記号を押す

② 「外字」を選び、選択ボタンを押す

③ 「呼出」を選び、選択ボタンを押す



④ ▶▽△◀で番号を選び、選択ボタンを押す



カーソル位置に外字が入力されます。

外字を複写する

① [記号] を押す

② 「外字」を選び、[選択
改行] を押す

③ 「複写」を選び、[選択
改行] を押す



④ ▶▽◀◀で複写元の番号を選び、[選択
改行] を押す



⑤ ▶▽◀◀で複写先の番号を選び、[選択
改行] を押す



⑥ 内容を確認し、[選択
改行] を押す



外字が複写されます。

外字を消去する

① [記号] を押す

② 「外字」を選び、[選択
改行] を押す

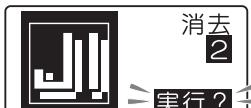
③ 「消去」を選び、[選択
改行] を押す



④ ▶▽◀◀で番号を選び、[選択
改行] を押す



⑤ 内容を確認し、[選択
改行] を押す



外字が消去されます。

!! 注意 !!

消去した外字は復活できません。消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順④）。
- 操作を途中でやめるときは、[削除
改行] または [記号] を押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能はたらきません。

外字を参照作成し、登録する

参照登録・参照修正は、本機で入力できる文字や記号のデータから外字を作成します。

●参照登録

テキストの文字（記号）を呼び出し、16ドットを修正します。修正された16ドットの文字（記号）を自動拡大（24→32→48ドット）しながら外字を作成します。

●参照修正

テキストの文字（記号）を呼び出し、16・24・32・48ドットの各サイズでテキストの文字（記号）を呼び出しそれぞれ修正し、外字を作成します。

基本の操作は外字の登録、修正と同じように操作しますが、参照登録・参照修正の場合は、はじめにテキスト画面に参照したい文字（記号）を入力しておきます。

例：「記号」の「生き物」の「⌚」にヒゲをつけて「⌚」にする

- ① 参照する文字（記号）を入力し、カーソルをその後ろ（右側）に合わせる



MEMO

- 連番、バーコード、編集記号、半角スペース、外字、イラストは参照できません。
- 参照できる文字は、テキスト画面でカーソルの左側にある1文字だけです。

- ② [記号] を押す

- ③ 「外字」を選び、[選択/改行] を押す

- ④ 「参照登録」または「参照修正」を選び、
[選択/改行] を押す

記号 外字

▲消去

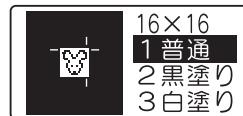
▷参照登録

参照修正

- ⑤ ▶▽△◀で登録番号を選び、[選択/改行] を押す



- ⑥ データを修正する



参照文字が16ドットで表示されるので、これをもとに修正します。

参照☞ P.119「画面表示と描画方法」

- ⑦ 16ドットの描画が終わったら、[選択/改行] を押す

自動的に拡大作成されます。

- ⑧ 24・32・48ドットのデータを補正する
[選択/改行] を押すと、次のサイズの描画に移ります。

- ⑨ 48ドットの描画が終わったら、[選択/改行] を押す
「参照登録完了」と表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除/取消] または [記号] を押し、操作を戻します。
- 外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能はたらきません。

活用

環境設定を変更する

環境設定メニュー一覧

シフトを押しながら復活(=環境設定)を押すと、画面の表示濃度や機能の保存値の設定を変更できます(太字は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢
環境設定	
表示濃度▶ 表示濃度 画面表示の濃さを設定します。 参照☞P.125	-5 : ふつう : +5
バックライト▶ バックライト 液晶ディスプレイのバックライトをオン/オフします。 参照☞P.125	オン オフ
学習初期化▶ 学習初期化 文字入力の学習内容を初期化します。 参照☞P.126	実行?
電池種類▶ 電池種類 使用する電池の種類を設定します。 参照☞P.126	アルカリ乾電池 ニッケル水素
保存値設定▶ 保存値設定 保存値を設定します。 参照☞P.128	定長 外枠・表 割付け 飾り字 文字間 囲・網 伸・縮 地紋 斜・強調 縦・横 文字サイズ 書体 終り?
保存値復元▶ 保存値復元 保存値を初期設定に戻します。 参照☞P.128	実行?

バックライトの切り換え

ディスプレイのバックライトはオン/オフできます。バックライトをオンにすると表示が見やすくなりますが、単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池で使用するときなどは、オフにすると電池を節約できます。

- ① [シフト]を押しながら[復活]（＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

- ② ▶▽△で「バックライト」を選び、[選択/実行]を押す



- ③ ▶▽△でオン/オフを選び、[選択/実行]を押す



初期設定値は「オン」に設定されています。バックライトが設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除/戻し]または[復活]を押し、操作を戻します。
- バックライトは、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

参照☞P.129「本機を初期化する」

ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は「-5～ふつう～+5」の11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

- ① [シフト]を押しながら[復活]（＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

- ② ▶▽△で「表示濃度」を選び、[選択/実行]を押す



- ③ ▶▽△で濃度を調整し、[選択/実行]を押す



初期設定値は「ふつう」に設定されています。

表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除/戻し]または[復活]を押し、操作を戻します。
- 表示濃度は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照☞P.129「本機を初期化する」

学習内容を初期化する

文字入力のときの予測候補や変換候補の学習内容を初期化します。

- ① **シフト**を押しながら**復活**（＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

- ② ▽△で「学習初期化」を選び、**選択**を押す



- ③ **選択**を押す



学習内容が初期化されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除**または**復活**を押し、操作を戻します。
- ファイル・印刷履歴・あて名・名前・外字データは初期化されません。

参照☞P.129「本機を初期化する」

活
用

電池種類を設定する

本機では単3形アルカリ乾電池の他に、充電式ニッケル水素電池（単3形）もご使用頂けます。充電式ニッケル水素電池（単3形）をご使用になる際には電池設定を「ニッケル水素」に変更してください。

- ① **シフト**を押しながら**復活**（＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

- ② ▽△で「電池種類」を選び、**選択**を押す



- ③ ▽△で「ニッケル水素」を選び、**選択**を押す



初期設定値は「アルカリ乾電池」に設定されています。

電池種類が設定されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除**または**復活**を押し、操作を戻します。
- 再び「アルカリ乾電池」を使用する際には、同じ手順で「アルカリ乾電池」を設定してください。
- 電池種類は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

参照☞P.129「本機を初期化する」

!! 注意 !!

電池種類で設定した電池を使用していないときには、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。

参照☞P.22「2.電池（別売）を入れて使用するときは」

各種の初期値（保存値）を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では編集を使って、次のような機能を指定することができます。

ボタンの機能

ボタン	指定できる機能
編集	定長、余白、外枠・表、割付け、飾り字、文字間、囲・網、伸・縮、地紋、斜・強調、縦・横、文字サイズ、書体

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、保存値を変更しておくと、文章を作るたびに編集で変更する必要がなくなります。

ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常（全文消去直後）は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

- 各機能の初期設定値についてはP.65「編集メニュー一覧」を参照してください。
- 編集で指定した内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻ります。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。

!!注意!!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照☞P.41「すべての文章を消去する」

保存値を変更する

① シフトを押しながら [削除] (=消去) を押し、全文消去をおこなう

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照☞P.41「すべての文章を消去する」

② シフトを押しながら [復活] (=環境設定) を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「保存値設定」を選び、[選択] を押す



④ 変更したい項目を選び、[選択] を押す



⑤ 保存値に設定したい選択肢を選び、[選択] を押す



各項目の設定方法は、通常の編集機能と同じです。

参照☞P.62「ラベルを装飾する（編集）」

⑥ 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「終り？」を選び、[選択] を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、[削除] または [復活] を押し、操作を戻します。
- 手順③で「保存値復元」を選択すると、変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値（初期設定値）に戻します。

本機を初期化する

!! 注意 !!

- ・本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- ・不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
- ・初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
なお、初期化や、修理、検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

内容	機能	初期化	学習初期化 (P.126)	保存値復元 (P.128)	全文消去 (P.41)	ビジネスフォームでの全文消去
入力	テキスト画面の文章	●	—	—*1	●	—
	ビジネスフォームの文章	●	—	—	—	●
	入力状態と小文字ロック	●	—	—	—	—
	「みえ ² 」の設定	●	—	—	—	—
データ	ファイルデータ	●	—	—	—	—
	あて名データ	●	—	—	—	—
	名前データ	●	—	—	—	—
	辞書データ	●	—	—	—	—
	学習データ	●	●	—	—	—
	外字データ	●	—	—	—	—
	印刷履歴	●	—	—	—	—
設定	自動カットの設定値	●	—	—	—	—
	印刷濃度の設定値	●	—	—	—	—
	バックライトの設定値	●	—	—	—	—
	表示濃度の設定値	●	—	—	—	—
	各種の保存値	●	—	●	—	—

● : ご購入時の状態に戻ります。

－ : 保持されます。

*1 初期設定値に戻す「保存値復元」をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

活用

初期化する

① を押して電源を切る

!! 注意 !!

 を押しても電源が切れないときは、ACアダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度ACアダプタを接続、または電池をセットし、再度  を押して電源を入れます。
以降は手順①からの操作で初期化してください。

② と を押しながら を押す



「本体を初期化しますか？」が点滅します。

!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは  以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
今まで登録したファイルなど、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

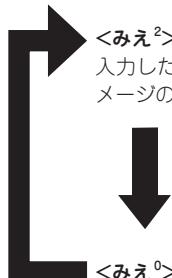
③ を押す

「初期化 実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

表示の切り換え（みえ²）

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。

シフトを押しながら[プリュー]（=みえ²）を押すと、ディスプレイの表示が交互に切り換わります。



<みえ²>（初期設定値）

入力した文章が2行まで表示されます。おおまかな印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。

シフト + [プリュー]

X.X
cm
XXX
mm

ラベルライター
「テプラ」PRO

美しいラベルを

作りましょう！

③美しいラベルを

④作りましょう！

<みえ⁰>

入力した文章のみ4行表示されます。多行入力時などに便利です。

①ラベルライター

②「テプラ」PR

③美しいラベルを

④作りましょう！

!!注意!!

- シフトを押しながら[プリュー]（=みえ²）で表示が切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面や漢字変換候補の表示中は切り換わりません。
参照☞P.20「ディスプレイの見かたとはたらき」
- 広い幅のテープセット時やテキストによっては、「みえ²」表示の反応が遅くなることがあります。

MEMO

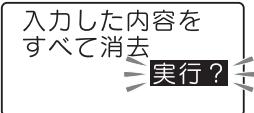
- [プリュー]を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。
参照☞P.80「印刷イメージを確認する（プレビュー）」
- ディスプレイが見えにくいときは、表示濃度を調整することができます。
参照☞P.125「ディスプレイの濃度を調整する」

活
用

デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。

- ① シフトを押しながら [削除] (=消去) を押し、全文消去をおこなう



!! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照☞P.41「すべての文章を消去する」

- ② 「demo」と入力する



参照☞P.37「英字を入力する」

- ③ シフトを押しながら [変換・スペース] を押す

デモ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

- 4mm幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないとときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

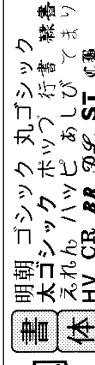
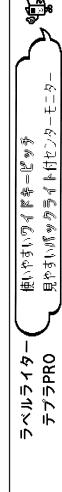
MEMO

印刷を途中でやめるときは、[削除] を押します。

見本（80%に縮小しています）

6mm幅テープ

18mm幅テープ



付録

テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼん	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm(りぼんの場合は10mm)程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 参照☞P.90「「自動カット」を設定する」
オートトリマー 使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・蓄光ラベル・りぼん	トリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整 が必要	耐熱ラベル	印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベル	印刷がカスした場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 参照☞P.91「印刷濃度を調整する」
鏡文字の設定が 必要	アイロン転写テープ	鏡文字を「する」に設定して印刷します。 参照☞P.88「鏡文字を印刷する」

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!!注意!!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。

参照☞P.28「5. テープ送りをする」

MEMO

- ・アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- ・熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
- ・マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本機の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには不向きです。
- ・マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本機から取り外してください。
- ・転写テープとカットラベルは本機では使用できません。

こんな表示が出たときは

ディスプレイが消えたときは

操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。また、約5分間何も操作をしないと電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	原因・対処
電圧が低下！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池に交換してください。または、電池の $(+)$ $(-)$ の向きが間違っている場合や、電池種類の設定が正しくない場合がありますので確認してください。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 参照☞P.22「1. ACアダプタを接続する」 参照☞P.22「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」 参照☞P.126「電池種類を設定する」
テープ蓋開放！ 電源を切れます	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示され、電源が切れます。上カバーを閉じ、再度電源を入れてください。
テープ無し！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照☞P.25「3. テープカートリッジをセットする」
テープ幅不足	ビジネスフォームで、セットされているテープカートリッジではテープ幅におさまらないため、印刷や印刷プレビューの表示ができません。幅の広いテープカートリッジをセットしてください。 参照☞P.94「ビジネスフォームを使う」
この機種では 対応していない テープです	本機で使用できないテープ幅のテープカートリッジをセットしているか、正しい位置にセットされていません。テープカートリッジを確認してください。参照☞P.25「3. テープカートリッジをセットする」
ヘッド過熱！	連続して印刷したために印刷ヘッドが過熱しています。テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷プレビューの表示できません。または、あて名印刷を24mm幅以外のテープで印刷しようとした。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、 <input checked="" type="checkbox"/> の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 参照☞P.43「テープ幅と印刷できる行数」
定長オーバー	定長で指定した長さに文章がおさまらない状態で プリント や 印刷 （印刷）を押しています。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。このまま $\text{選択}\text{[OK]}$ を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照☞P.68「定長」

エラーメッセージ	原因・対処
メモリーがいっぱいです 登録できません	ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいです。これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。 参照☞P.104「ファイルを消去する」
ファイルが登録されていません	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去の操作をしようとしたときです。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞P.102「ファイルを登録する」
印刷履歴がありません	印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとしたときです。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
連番・バーコードは3個まで！	連番・バーコードは、合わせて3個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞P.50「連番を入力する」、P.52「バーコードを入力する」
QRコードは2個まで！	QRコードは、2個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞P.50「連番を入力する」、P.52「バーコードを入力する」
QRコード大	QRコードが文字の高さを超える場合に表示されます。幅の広いテープにする、通常テキストの行数を減らす、セルサイズを小さくする、QRコードの誤り訂正率を低くする、QRコードの文字数を減らす、などの変更をしてください。
長さが16mを超えるため特殊印刷できません！	指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。 参照☞P.84「特殊印刷」
あて名が登録されていません	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとしたときです。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞P.108「あて名を登録する」
辞書に登録済みの語句です	辞書登録すでに登録してある「語句・読み」を再度登録しようとしたときです。この場合は、その登録はおこなわれずテキスト画面に戻ります。
辞書が登録されていません	辞書が登録されていない状態で、辞書の消去の操作をしようとしたときです。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞P.116「変換できない語句を登録する（辞書の登録）」
名前が登録されていません	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとしたときです。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞P.113「名前を登録する」
モーター異常発生！	モーター動作に不具合がありました。自動的に電源がOFFになります。電源を再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。 参照☞巻末「アフターサービスについて」

MEMO

上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

故障かな？と思ったら

MEMO

パソコンと接続しているときの問題は、ラベルソフトの取扱説明書も参照してください。

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、「本機の初期化」をしてください。
参照☞P.129「本機を初期化する」

を押してもディスプレイに何も表示されない

● ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。
参照☞P.22「1. ACアダプタを接続する」

● 電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが $(+)$ ○ $(-)$ 逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、全ての電池が正しくセットされているか確認してください。

参照☞P.22「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」

● 専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？

同梱のACアダプタ（AC1116J）以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

● 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

● ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいたときは、表示濃度を調整することができます。
参照☞P.125「ディスプレイの濃度を調整する」

ディスプレイが消える

● オート・パワーオフ機能ではありませんか？

本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

● 上カバーが開いていませんか？

本機では上カバーを開くと、保護回路のはたらきで電源が切れます。

● 操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

キーボードが動作しない

● ディスプレイに「パソコン通信可能」と表示されていますか？

「パソコン通信可能」のときは、パソコンからの操作が優先されます。「テプラ」本体でラベルを作るとときは、 を押してパソコンリンクを解除してください。

(印刷) を押しても何も印刷されない

● 文章が入力されていますか？

テキスト画面に何も入力されていないと印刷はされません。

● ディスプレイにメッセージが表示されていますか？

エラーメッセージが表示されていると印刷されません。

参照☞P.135「こんな表示が出たときは」

準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

● 消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？

テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかりと閉じてください。

参照☞P.25「3. テープカートリッジをセットする」

- オートトリマーが動作中ではありませんか？
オートトリマー使用中は、印刷できません。

文字がきちんと印刷されない

- テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。

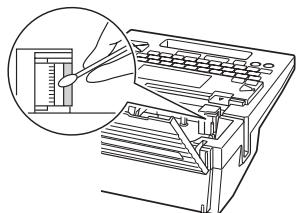
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。

参照 P.25「3. テープカートリッジをセットする」

- 印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることができます。別売のヘッド・クリーニングテープ(SR24C)またはヘッド・クリーニングキット(RC15)をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

参照 P.140「お手入れについて」



- 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電圧が低下！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本)と交換するか、同梱のACアダプタ(AC1116J)を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることができます。また電池種類を正しく設定してください。

参照 P.126「電池種類を設定する」

ラベルを印刷後、自動カットされない

- 自動カット/しないに設定していませんか？
印刷設定の自動カット/しないに設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。

参照 P.90「「自動カット」を設定する」

- カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 卷末「アフターサービスについて」

オートトリマーでうまくカットできない

- 印刷中ではありませんか？

テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。

- ラベルをトリマー差込み口にきちんと差し込んでいますか？

ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。

参照 P.82「カドを丸く仕上げる(オートトリマー)」

- 切りクズがつまっていますか？

トリマーカバーをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。

参照 P.140「オートトリマーのお手入れ」

- 4mm、6mm幅テープをカットしようとしていませんか？

4mm、6mm幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー(RT36W)を使ってカットしてください。

参照 P.11「別売品のご案内」

- オートトリマーでカットのできないラベルを使用していませんか？

本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込まないでください。

参照 P.82「カドを丸く仕上げる(オートトリマー)」

● オートトリマーの刃が磨耗していませんか？

オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞[卷末「アフターサービスについて」](#)

文章の途中までしか印刷されない

● テープカートリッジにテープの残りがありますか？

テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。

参照☞[P.25「3. テープカートリッジをセットする」](#)

● 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電圧が低下！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、同梱のACアダプタ（AC1116J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れことがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照☞[P.126「電池種類を設定する」](#)

ファイルの内容が消えてしまった

● 本機の初期化をしましたか？

本機の初期化をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われます。

参照☞[P.129「本機を初期化する」](#)

● 電源が入った状態で電池を交換していませんか？

電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照☞[P.126「電池種類を設定する」](#)

● 動作中にACアダプタや電池を抜きましたか？

ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備中」が表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

ラベルを貼り付けることができない

● 裏紙をはがしていますか？

粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。

参照☞[P.83「ラベルを貼る」](#)

● 貼る場所が汚れていたり、凹凸がありますか？

表面がザラザラしている場所や、ホコリ、油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞[卷末「アフターサービスについて」](#)

お手入れについて

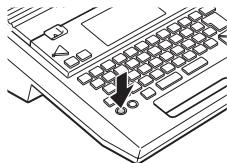
本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれブキンで拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

オートトリマーのお手入れ

「トリマーカバー」にはオートトリマーの切りクズがたまります。ときどき「トリマーカバー」をはずして掃除してください。

① ON/OFF を押して電源を切る



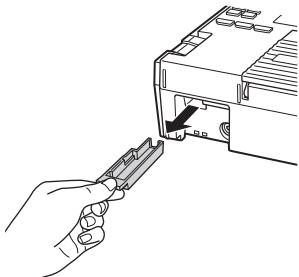
警告



「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると刃で指を切つたりするなど、大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

② 「トリマーカバー」をはずす

「トリマーカバー」の下側に指を入れ手前に引きます。



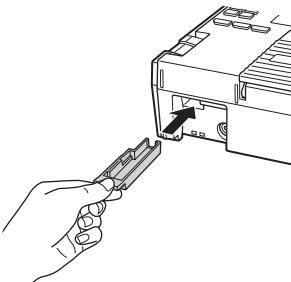
③ 切りクズを取り除く

「トリマーカバー」内にたまつた切りクズを市販の綿棒などで取り除きます。



④ 「トリマーカバー」をはめる

「トリマーカバー」をもとのように取り付けます。

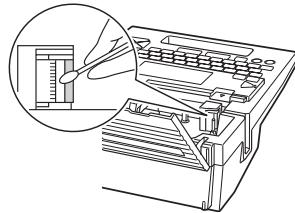


MEMO

- ご購入時、「トリマーカバー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。
- オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。
- オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。参照☞卷末「アフターサービスについて」

印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR24C）またはヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う

- ① ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする
- ② を押しながら (=テープ送り) を押す
- ③ 「テープ送り」を選び、 を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1~2回 おこなってください。

参照☞P.28「5. テープ送りをする」

!!注意!!

- 使用後はもとの箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ、砂などが多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドをいためる原因になります。

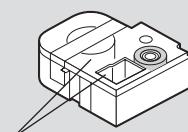


- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドをいためる原因となります。



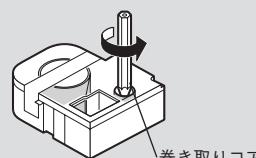
- 図の部分の白いテープがなくなるとテープがすべて巻き取られることになり、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドをいためるおそれがありますので、ご使用にならないでください。

白いテープがなくなる



MEMO

- 本機をご使用になるヘッド・クリーニングテープは SR24C をお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみを取ってください。
- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめに見えますが、約120回のクリーニングが可能です。



入力文字一覧表

入力文字表

「大」は **シフト** を押していない状態、「小」は **シフト** を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かなめくり		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
1	1	!	1	!	1	!	1	!
2	2	@	2	@	2	@	2	@
3	3	?	3	?	3	?	3	?
4	4	¥	4	¥	4	¥	4	¥
5	5	:	5	:	5	:	5	:
6	6	,	6	,	6	,	6	,
7	7	/	7	/	7	/	7	/
8	8	.	8	.	8	.	8	.
9	9	(9	(9	(9	(
0	0)	0)	0)	0)
-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q	Q	q			Q	q	Q	q
W	W	w			W	w	W	w
E	E	e	次表		E	e	E	e
R	R	r	P.142		R	r	R	r
T	T	t			T	t	T	t
Y	Y	y			Y	y	Y	y
U	U	u			U	u	U	u
I	I	i			I	i	I	i
O	O	o			O	o	O	o
P	P	p			P	p	P	p

ボタン	ローマ字		かなめくり		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
A	A	a			A	a	A	a
S	S	s			S	s	S	s
D	D	d			D	d	D	d
F	F	f			F	f	F	f
G	G	g			G	g	G	g
H	H	h			H	h	H	h
J	J	j			J	j	J	j
K	K	k			K	k	K	k
L	L	l	次表 P.142		L	l	L	l
Z	Z	z			Z	z	Z	z
X	X	x			X	x	X	x
C	C	c			C	c	C	c
V	V	v			V	v	V	v
B	B	b			B	b	B	b
N	N	n			N	n	N	n
M	M	m			M	m	M	m
、	、	、	、	、	、	、	、	、
。	。	。	。	。	。	。	。	。

注：「ABC(半角)」はQRコード入力時のみ有効です。

入力文字表（かなめくり入力）

ボタン	押す回数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Q (あ)	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お
W (か)	か	き	く	け	こ	か	け			
E (さ)	さ	し	す	せ	そ					
R (た)	た	ち	つ	て	と	つ				
T (な)	な	に	ぬ	ね	の					
Y (は)	は	ひ	ふ	へ	ほ					
U (ま)	ま	み	む	め	も					
I (や)	や	ゆ	よ	や	ゅ	よ				
O (ら)	ら	り	る	れ	ろ					
P (わ)	わ	ゐ	ゑ	を	ゐ	わ				
L (。)	。	。								

目的の文字通り過ぎたときは **シフト** を押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。

注：「L」は、直前がか行、さ行、た行、は行のネガ文字の場合に、濁点、半濁点が入力できます。

ローマ字変換表

あ	あ A	い I	う U	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI	つ TU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI	ゆ YU	いえ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA		う WU		を WO
ん	ん N+(Y以外の子音) (例) N+N→ん N+P→んP				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぶ PU	ペ PE	ぽ PO
きや	きや KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きょ KYO
しゃ	しゃ SYA	しや SYI	しゅ SYU	しえ SYE	しょ SYO
ちゃ	ちゃ TYA	ちや TYI	ちゅ TYU	ちえ TYE	ちょ TYO
てや	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てょ THO
にや	にや NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひや	ひや HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひょ HYO
みや	みや MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みょ MYO

りや	りや RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りょ RYO
ぎや	ぎや GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎょ GYO
じや	じや ZYA	じい ZIYI	じゅ ZYU	じえ ZYE	じょ ZYO
じゃ	じゃ JA	じい JYI	じゅ JU	じえ JE	じょ JO
ぢや	ぢや DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢょ DYO
びや	びや BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びょ BYO
ぴや	ぴや PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴょ PYO
つか	つか TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO
でや	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふあ	ふあ FA	ふい FI	ふえ FYI	ふえ FE	ふお FO
ふや	ふや FYA	ふい FYI	ふゅ FYU	ふえ FYE	ふよ FYO
うあ	うあ VA	うい VI	うゅ VU	うえ VE	うお VO
あ	あ LA XA	い LI XI	う LU XU	え LE XE	お LO XO
か	か LKA XKA			け LKE XKE	
つ		つ LTU XTU			
		同一の子音+子音=っ+子音 (N以外有効)			
や	や LYA XYA		ゅ LYU XYU		よ LYO XYO
わ	わ LWA XWA				

付

録

漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞P.47「読みのわからない漢字を入力する」

!!注意!!

- ・漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
- ・表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS第1水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ア	1601～1609	亜 唇 威 阿 哀 愛 挨 始 逢
	1610～1619	葵 茜 稔 悪 握 濡 旭 草 芦 鰐
	1620～1629	梓 庄 韶 扱 宛 姐 虬 鉛 純 綾
	1630～1639	鮎 或 粟 裕 安 庵 按 暗 案 間
	1640～1641	鞍 杏
イ	1642～1649	以 伊 位 依 倭 囂 夷 委
	1650～1659	威 尉 惟 意 慰 易 椅 為 畏 異
	1660～1669	移 維 緯 胃 委 衣 謂 違 遺 医
	1670～1679	井 亥 域 育 郁 磯 一 壱 澄 逸
	1680～1689	稻 荻 苜 蘋 允 印 咽 員 因 姻
	1690～1694	引 飲 淫 嵐 蔭
	1701～1705	院 陰 隱 韻 时
ウ	1706～1709	右 宇 烏 羽
	1710～1719	迂 雨 卯 鶴 窓 丑 確 白 湖 嘘
	1720～1729	唄 蘭 蔔 鳥 姥 肆 浦 閑 噴
	1730～1732	云 運 雲
	1733～1739	菴 餌 叡 嘗 豊 映 变
エ	1740～1749	曳 栄 永 泳 洩 瑞 盈 頬 頤 英
	1750～1759	衛 詠 銳 液 疫 益 駿 悅 謁 越
	1760～1769	閑 楓 厥 圜 園 壕 奕 延 怨
	1770～1779	掩 援 沿 演 炎 焰 煙 燕 猥 緣
	1780～1786	艶 苑 蘭 遠 鉛 鶯 塩
オ	1787～1789	於 汚 甥
	1790～1794	凹 央 奥 往 応
	1801～1809	押 旺 橫 欧 殿 王 翁 褐 燕
	1810～1819	鷗 黃 岡 沖 荻 億 屋 憶 櫃
カ	1820～1827	牡 乙 俺 卸 恩 温 穏 音
	1828～1829	下 化
	1830～1839	仮 何 伽 倻 佳 加 可 嘉 夏 嫁
キ	1840～1849	家 寡 科 暇 果 架 歌 河 火 珂
	1850～1859	禍 禾 稼 筒 花 莘 茄 荷 華 莖
	1860～1869	蝦 課 瞳 貨 過 霞 蝙 俄 峨
	1870～1879	我 牙 画 臥 芽 蛾 賀 雅 餓 駕
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
カ	1880～1889	介 会 解 回 塊 壊 回 快 怪 悔
	1890～1894	恢 懐 戒 拐 改
	1901～1909	魁 晦 械 海 灰 界 皆 絵 芥
	1910～1919	蟹 開 階 貝 凱 効 外 呼 害 崖
	1920～1929	慨 慨 涯 碍 蓋 街 該 鐣 𩫇 涼
	1930～1939	馨 蛙 垣 柿 蜴 鈎 劇 嘻 各 廏
	1940～1949	拠 撸 格 核 賦 穫 穩 角 角
	1950～1959	赫 較 郭 閣 隔 草 学 岡 灑 額
	1960～1969	頸 掛 笠 櫻 檻 鰐 喫 割 喝
	1970～1979	恰 括 活 涅 滑 葛 揭 輻 且 鰐
	1980～1989	叶 桃 樺 鞍 株 兜 竈 蒲 釜 錄
	1990～1994	噉 鴨 柏 茅 萱
	2001～2009	粥 刈 茄 瓦 乾 侃 冠 寒 刊
	2010～2019	勸 勸 卷 喚 堪 疋 完 官 寬 干
	2020～2029	幹 患 感 憶 換 敏 桤 桓 桧
	2030～2039	款 歎 汗 漢 洞 滯 環 甘 監 看
	2040～2049	竿 管 簡 緩 缶 翰 肝 艤 莞 観
	2050～2059	諫 貢 還 鑑 間 閑 閔 陷 韓 館
	2060～2069	館 丸 合 岸 巍 玩 癌 眼 岩 瓢
	2070～2074	贋 雁 頑 願 願
キ	2075～2079	企 伎 危 喜 器
	2080～2089	基 奇 嬉 寄 岐 希 級 忌 挥 机
	2090～2094	旗 既 期 棋 禿
	2101～2109	機 翦 穀 気 汽 畿 祈 季 稀
	2110～2119	紀 微 規 記 貴 起 軌 輸 飢 騎
	2120～2129	鬼 亀 偽 儀 妓 宜 戲 技 摶 欺
	2130～2139	犧 疑 犢 義 蟻 識 議 淫 菊 鞠
	2140～2149	吉 吃 喫 桔 橘 詰 犢 犢 却
	2150～2159	客 脚 廉 逆 丘 久 仇 休 及 吸
	2160～2169	宮 弓 急 救 朽 求 汲 泣 炙 球
	2170～2179	究 窮 爰 級 紋 紋 紋 牛 去 居
	2180～2189	巨 拒 抱 爪 球 虚 許 距 鋸 漁
	2190～2194	禦 魚 亨 享 京
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
キ	2201~2209	供 俠 僕 兮 競 共 凶 協 匡
	2210~2219	卿 叫 喬 境 峠 強 張 快 恐 恭
	2220~2229	挟 教 橋 況 狂 狹 總 胸 脅 興
	2230~2239	薈 鄉 鏡 韻 養 驚 仰 凝 奕 曉
	2240~2249	業 局 曲 極 玉 桐 杆 僅 勤 均
	2250~2259	巾 錦 斤 欣 欽 禁 禽 筋 繫
	2260~2268	芹 菌 莼 襪 謹 近 金 银 銀
ク	2269	九
	2270~2279	俱 句 区 狗 玖 矩 苦 躯 駆 駢
	2280~2289	駒 具 愚 虞 嘘 空 偶 寓 遇 隅
	2290~2294	串 櫛 飼 屑 屈
	2301~2309	掘 窟 杏 鞍 彎 窪 熊 窪 条
	2310~2319	栗 繁 桑 鍬 紅 君 薫 訓 群 軍
	2320	郡
ケ	2321~2329	卦 裂 邶 係 傾 刑 兄 啓 圭
	2330~2339	珪 型 契 形 径 惠 慶 慧 懇 揭
	2340~2349	携 敬 景 桂 溪 畦 稽 系 經 繼
	2350~2359	繫 莖 茎 荊 蛾 計 詣 警 輕 頸
	2360~2369	鶴 芸 迎 鯨 劇 戰 激 隘 衍
	2370~2379	傑 欠 決 潔 穴 結 血 訣 月 件
	2380~2389	僕 倦 健 兼 券 劍 喧 圈 堅 嫌
	2390~2394	建 憲 懸 拳 捲
	2401~2409	檢 權 爪 犬 研 砥 緝 県
	2410~2419	肩 見 謙 賢 軒 遣 鍵 陥 顕 驗
	2420~2429	儻 元 原 戰 幻 弦 減 源 玄 現
	2430~2434	絃 紛 言 諺 限
コ	2435~2439	乎 個 古 呼 固
	2440~2449	姑 孤 己 庫 弧 戸 故 枯 湖 狐
	2450~2459	櫛 裂 股 胡 茵 虎 誇 跨 鈿 扉
	2460~2469	顧 鼓 五 互 伍 午 興 吾 娼 後
	2470~2479	御 悟 梧 橋 瑞 基 語 誤 護 酬
	2480~2489	乞 鯉 交 伎 侯 候 倖 光 公 功
	2490~2494	効 勾 厚 口 向
	2501~2509	后 喉 坑 堀 好 孔 孝 宏 工
	2510~2519	巧 巷 幸 広 庚 康 弘 恒 慌 抗
	2520~2529	拘 控 攻 昂 晃 更 杭 校 梗 構
	2530~2539	江 洪 浩 港 溝 甲 皇 硬 稿 糊
	2540~2549	紅 紗 紹 綱 耕 考 青 肢 腔 膏
	2550~2559	航 荒 行 衡 講 貢 購 郊 酝 鉄
	2560~2569	礮 鋼 閣 降 項 香 高 鴻 剛 劫
	2570~2579	号 合 壕 拷 濟 豪 蕤 麴 克 刻
	2580~2589	告 国 穀 酷 鵠 黑 獄 滉 腰 軒
	2590~2594	忽 悠 骨 犹 辰
	2601~2609	此 頃 今 困 坤 墾 婚 恨 懇
	2610~2618	昏 昆 根 桐 混 痕 紺 良 魂
ヰ	2619	些
	2620~2629	佐 叉 咳 左 差 查 沙 瑟 砂
	2630~2639	詐 鎮 娑 坐 座 挣 債 催 再 最
	2640~2649	哉 塞 妻 宰 彩 才 探 栽 賈 賈
	2650~2659	災 采 犀 碎 碧 祭 廉 細 菜 裁
	2660~2669	載 際 劑 在 材 罪 財 洋 坂 阪

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヰ	2670~2679	堺 榊 肴 咲 崎 喆 倍 鷺 作 削
	2680~2689	昨 擙 昨 肅 楠 窄 策 索 錯 桜
	2690~2694	鮭 笹 匙 冊 刷
	2701~2709	察 拶 摽 擦 札 犀 薩 雜 露
	2710~2719	鯖 涮 鑄 鮫 皿 曬 三 傘 參 山
	2720~2729	惨 撒 散 棺 燦 珊 產 算 繁 蚕
	2730~2736	讚 賛 酸 餐 斬 暫 残
シ	2737~2739	仕 仔 伺
	2740~2749	使 刺 司 史 翠 四 士 始 姉 姿
	2750~2759	子 尸 市 師 志 思 指 支 孜 斯
	2760~2769	施 旨 枝 止 死 氏 獅 社 私 系
	2770~2779	紙 紫 肱 脂 至 視 詞 試 誌
	2780~2789	諦 資 賦 雌 飼 齒 事 似 侍 兒
	2790~2794	字 寺 慈 持 時
	2801~2809	次 滋 治 爾 蠶 式 識 鳴 竹
	2810~2819	耳 自 蒔 辞 沙 鹿 式 識 鳴 暈
	2820~2829	軸 穴 零 七 叱 執 失 嫉 室
	2830~2839	湿 漆 疾 質 実 蔔 簡 傅 柴
	2840~2849	屢 茜 緝 舍 写 射 捨 救 斜
	2850~2859	社 紗 者 謝 車 遮 蛇 邪 借 若 疎
	2860~2869	尺 約 灼 鳥 酣 錫 紗 勿 弱 種
	2870~2879	惹 主 取 手 朱 受 珠 犹 寿 授 樹
	2880~2889	腫 趣 酒 首 儒 朱 受 珠 犹 寿 授
	2890~2894	緩 需 因 収 周
	2901~2909	宗 就 州 修 愁 拾 衆 洲 豐 秋
	2910~2919	終 繡 習 臭 舟 艦 充 豐 豐 十
	2920~2929	輯 過 酒 酒 醇 住 什 叔 術 循 遵
	2930~2939	從 戎 柔 汁 淀 獻 重 銃 出
	2940~2949	夙 宿 淑 祝 縮 墓 熟 驟 駿 駿
	2950~2959	述 俊 峻 春 瞬 竣 舜 駿 駿
	2960~2969	旬 植 殉 淳 準 潤 盾 純 巡
	2970~2979	醇 順 处 初 所 暑 曙 諸 庶
	2980~2989	署 書 薯 諸 諸 助 叙 女 序
	2990~2994	恕 鋤 除 傷 償
	3001~3009	勝 匠 升 召 哨 商 唱 告 廷
	3010~3019	妾 姮 宵 將 少 尚 庄 昭 晶
	3020~3029	彰 承 抄 招 掌 昇 昌 潤 焦
	3030~3039	松 梢 樺 椿 沼 涉 烧 糟
	3040~3049	照 痘 省 硝 碓 祥 訂 種 詔
	3050~3059	紹 肖 菖 蒂 蕉 裳 訂 証 詔
	3060~3069	詳 象 賞 醬 鈺 鍾 鐘 障 婪
	3070~3079	丈 丞 乘 穀 剩 城 埠 婪
	3080~3089	情 援 条 杖 淨 狀 罩 蒸
	3090~3094	釀 錠 嘴 墓 飾
	3101~3109	拭 植 疠 織 職 色 触 食
	3110~3119	蝕 尋 尸 伸 信 侵 唇 嫩 申
	3120~3129	心 慎 振 新 晋 棱 浸 深 診
	3130~3139	瘳 真 神 秦 紳 臣 芯 仁 刈
	3140~3149	身 辛 進 针 震 人 壴 壴
	3150~3157	尋 甚 尽 腎 訊 迅 陣 鞠
ス	3158~3159	箇 諷

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヌ	3160~3169	須 酔 国 廚 逗 吹 垂 帥 推 水
	3170~3179	炊 睡 粋 翠 衰 遂 醉 錐 鍾 随
	3180~3189	瑞 隈 崇 嵩 数 枢 趣 雜 据 杉
	3190~3194	相 苗 頗 雀 褐
	3201~3203	澄 摺 尺
セ	3204~3209	世 瀬 故 是 凄 制
	3210~3219	勢 姓 征 性 成 政 整 星 晴 棲
	3220~3229	栖 正 清 牲 生 盛 精 圣 声 製
	3230~3239	西 誠 誓 請 逝 醒 青 静 斋 稅
	3240~3249	脆 隻 席 惜 戚 斥 昔 析 石 積
	3250~3259	籍 繢 脊 責 赤 跡 碩 切 捏
	3260~3269	接 摂 折 設 窃 節 說 雪 絶 舌
	3270~3279	蟬 仙 先 千 占 宣 專 尖 川 戰
	3280~3289	扇 摆 桂 梅 泉 浅 洗 染 潜 煎
	3290~3294	煽 旋 穿 箭 線
	3301~3309	織 羨 腺 外 船 薦 詮 賤 践
	3310~3319	選 還 錢 銑 閃 鮮 前 善 漸 然
	3320~3324	全 禅 繕 膳 糜
ソ	3325~3329	曾 増 塑 帷 措 曾
	3330~3339	曾 楚 狹 疏 疎 磔 祖 粗 粗 素
	3340~3349	組 蘇 訴 阻 遷 鼠 僧 創 双 簇
	3350~3359	倉 壽 壮 奏 突 宋 層 瓢 惣 想
	3360~3369	搜 揮 捕 搞 操 早 曹 巢 榆 槽
	3370~3379	漕 燥 爭 瘦 相 窓 糟 總 総 聰
	3380~3389	草 莊 葬 蒼 藻 裳 走 送 遭 銀
	3390~3394	霜 騷 像 增 憎
	3401~3409	臓 藏 贈 造 促 側 則 即 息
	3410~3419	捉 束 測 足 速 俗 属 賊 族 統
	3420~3429	卒 袖 其 捅 存 孫 尊 損 村 遂
タ	3430~3439	他 多 太 汗 詫 唾 堕 妥 情 打
	3440~3449	柁 舶 楠 陀 駄 輛 体 堆 對 耐
	3450~3459	岱 带 待 憩 戴 替 泰 滯 胎
	3460~3469	腿 苔 袋 貸 退 逮 隊 黑 鯛 代
	3470~3479	台 大 第 醒 題 鷹 滴 瀧 卓 啄
	3480~3489	宅 托 拙 沢 灌 琢 託 鐸 濁
	3490~3494	諾 草 凤 蜩 只
	3501~3509	叩 但 達 辰 奪 脱 異 堅 迪
	3510~3519	棚 谷 猛 鰐 樽 誰 丹 单 嘴 坦
	3520~3529	担 探 旦 歎 淡 漠 炭 短 端 篓
	3530~3539	綻 耷 胆 蛋 誕 鍛 团 壇 彈 断
	3540~3544	暖 檻 段 男 談
チ	3545~3549	值 知 地 弛 懈
	3550~3559	智 池 痴 稚 置 致 蜘 遷 驰 繕
	3560~3569	畜 竹 筑 蕃 逐 秩 空 茶 嫡 着
	3570~3579	中 伸 宙 忠 抽 昼 柱 注 虫 衷
	3580~3589	註 酷 鑄 駐 樂 瀑 猪 莺 著 貯
	3590~3594	丁 兆 調 嘴 龍
	3601~3609	帖 帳 庁 吊 張 彫 徵 懲 挑
	3610~3619	暢 朝 潮 牟 聰 聽 賴 腸 蠍
	3620~3629	調 謀 超 跳 銚 長 頂 鳥 勅 捗
	3630~3636	直 朕 沈 珍 貨 鎮 陳

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ツ	3637~3639	津 墜 椎
	3640~3649	槌 追 鋸 痛 通 塚 梅 捱 横 佃
	3650~3659	漬 枯 汗 蔦 級 鍔 椿 潛 壺
	3660~3665	嬬 紬 爪 吊 釣 鶴
テ	3666~3669	亭 低 停 偵
	3670~3679	刺 貞 呈 堤 定 帝 底 庭 廷 弟
	3680~3689	悌 抵 挺 提 梭 汀 稔 禮 締
	3690~3694	艇 訂 蹄 通
	3701~3709	邸 鄭 釤 鼎 泥 摘 罂 敵 滴
	3710~3719	的 笛 適 鑼 潑 哲 徹 撒 輻 迭
	3720~3729	鉄 典 填 天 展 店 添 纏 甜 貼
	3730~3737	転 頽 点 伝 殿 濱 田 電
ト	3738~3739	兔 吐
	3740~3749	堵 塗 姮 屠 斗 杜 渡 登 菁
	3750~3759	賭 途 都 鍔 砥 砲 努 度 土 奴
	3760~3769	怒 倒 党 冬 凍 刀 唐 塔 塵 套
	3770~3779	宕 島 鳴 憐 投 搭 東 桃 榆 棍
	3780~3789	盜 淘 湯 涛 灯 燈 当 痘 痢 等
	3790~3794	答 筒 糖 統 到
	3801~3809	董 蘭 藤 討 膽 豆 踏 逃 透
	3810~3819	鎧 陶 頭 滕 闢 勵 動 同 堂 導
	3820~3829	憧 撞 洞 瞳 童 脳 菩 道 銅 峠
	3830~3839	鴉 匿 得 德 洗 特 督 犹 毒
	3840~3849	独 読 楠 機 凸 突 段 畏 苦
	3850~3859	寅 西 滯 噴 屯 憒 敦 池 豚 遁
	3860~3863	頓 吞 疊 鈍
ナ	3864~3869	奈 那 內 乍 風 蘿
	3870~3879	説 灘 捺 鍋 檬 脩 繩 暇 南 楠
	3880~3882	軟 難 汝
ニ	3883~3889	二 尼 武 途 句 賑 肉
	3890~3894	虹 甘 日 乳 入
	3901~3907	如 尿 垣 任 妊 忍 認
ヌ	3908	濡
ホ	3909	襦
	3910~3919	祢 寧 葱 猫 热 年 念 捻 燃 粘
	3920	
ノ	3921~3929	乃 遷 之 執 囊 懈 濃 納 能
	3930~3934	脳 腹 鳥 農 観 蚕
ハ	3935~3939	巴 把 播 爪
	3940~3949	波 派 琶 破 婆 莽 芭 馬 俳 廃
	3950~3959	拝 排 敗 杯 盆 牌 背 肢 豊 配
	3960~3969	倍 培 媒 梅 槌 煤 狹 買 売 賠
	3970~3979	陪 這 蝇 稚 菲 莎 菲 剥 博 拍
	3980~3989	柏 泊 白 箔 粮 船 薄 追 曝 漠
	3990~3994	爆 繩 莫 駁 麦
	4001~4009	函 箱 硎 箸 肇 答 檻 脣 肌
	4010~4019	畑 畠 八 鉢 淚 發 醜 髮 伐 罰
	4020~4029	拔 筏 閣 鳩 嘶 壞 蛤 隼 伴 判
	4030~4039	半 反 叛 帆 撤 斑 板 汗 版
	4040~4049	犯 班 畔 繁 般 蕃 賑 采 煩
	4050~4058	頌 飯 挽 晚 番 盤 蒜 蕃 薩

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヒ	4059	匪
	4060~4069	卑否妃庇彼悲扉批披斐
	4070~4079	比泌疲皮碑秘緋罷肥被
	4080~4089	誹費避非飛樋簸備尾微
	4090~4094	枇毘琵眉美
	4101~4109	鼻柊稗匹疋懿彥膝菱
	4110~4119	肘弼必畢筆逼桧姫媛紐
	4120~4129	百謬俵彪標水漂瓢票表
	4130~4139	評豹廟描病秒苗鑄鎔蒜
	4140~4149	蛭鰐品彬斌浜瀨貧賓頻
	4150~4151	敏瓶
フ	4152~4159	不付埠夫婦富富布
	4160~4169	府怖扶敷斧普浮父符腐
	4170~4179	膚美譜負賦赴阜附侮撫
	4180~4189	武舞葡蕪部封楓風葺落
	4190~4194	伏副復幅服
	4201~4209	福腹複覆淵弗払沸仏
	4210~4219	物鮒分吻噴墳憤扮焚奮
	4220~4225	粉糞紛雰文聞
ヘ	4226~4229	丙併兵墀
	4230~4239	幣平弊柄並蔽閉陞米貢
	4240~4249	僻壁癖碧別瞽蔑範偏変
	4250~4259	片篇編辺返遍便勉婉弁
	4260	鞭
ホ	4261~4269	保舗鋪圃捕歩甫補輔
	4270~4279	穂慕墓慕戊暮母簿普倣
	4280~4289	俸包呆報奉宝峰峯崩庖
	4290~4294	抱捧放方朋
	4301~4309	法泡烹砲縫胞芳萌蓬
	4310~4319	蜂褒訪豊邦鋒飽鳳鵬乏
	4320~4329	亡傍剖坊妨帽忘忙房暴
	4330~4339	望某棒冒紡肪膨謀貌貿
	4340~4349	鉢防吠頬北僕卜墨撲朴
	4350~4359	牧睦穆鉢勃没殆堦幌奔
	4360~4363	本翻凡盆
マ	4364~4369	摩磨魔麻埋妹
	4370~4379	昧枚毎哩楨幕膜枕鮒祇
	4380~4389	鱗柵亦俣又抹末沫迄併
	4390~4394	繭磨万慢満
	4401~4402	漫蔓
ミ	4403~4409	味未魅已箕岬密
	4410~4418	蜜湊養稔脈妙耗民眼
ム	4419	務
	4420~4428	夢無牟矛霧鵠椋娘
メ	4429	冥
	4430~4439	名命明盟迷銘鳴姪牝減
	4440~4445	免棉綿緬面麵
モ	4446~4449	摸模茂妄
	4450~4459	孟毛猛盲網耗蒙儲木默
	4460~4469	目李勿餅尤戻糲貴問悶
	4470~4472	紋門匂
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヤ	4473~4479	也治夜爺耶野弥
	4480~4489	矢厄役約葉訛躍靖柳藪
	4490	鑑
ユ	4491~4494	愉愈油癒
	4501~4509	諭輸唯佑優勇友宥幽
	4510~4519	悠憂揖有袖湧涌猶歎由
	4520~4528	祐裕誘遊邑郵雄融夕
ヨ	4529	予
	4530~4539	余与誉輿預傭幼妖容庸
	4540~4549	揚搖擁曜楊様洋溶熔用
	4550~4559	窯羊耀葉蓉要謡踊遙陽
	4560~4568	養慾抑欲沃浴翌翼淀
ラ	4569	羅
	4570~4579	螺裸來萊賴雷洛絡落酪
	4580~4587	亂卵嵐欄濫藍蘭覧
リ	4588~4589	利吏
	4590~4594	履李梨理璃
	4601~4609	痢裏裡里離陸律率立
	4610~4619	葎掠略劉流溜硫留硫粒
	4620~4629	隆竜龍侶慮旅虜了亮僚
	4630~4639	丱凌寮料梁涼獵療瞭
	4640~4649	糧良諒遼量陵領力綠倫
	4650~4659	厘林淋熒琳臨輪隣鱗鱗
ル	4660~4664	瑠星涙累類
レ	4665~4669	令伶例冷励
	4670~4679	嶺怜玲礼苓鈴隸零靈麗
	4680~4689	齡曆歷列劣烈裂廉恋憐
	4690~4694	漣煉簾練聯
	4701~4703	蓮連鍊
ロ	4704~4709	呂魯櫓爐賂路
	4710~4719	露勞妻廊弄朗樓榔浪漏
	4720~4729	牢狼籠老聲蠍郎六麓祿
	4730~4732	肋錄論
ワ	4733~4739	倭和話歪賄脇惑
	4740~4749	梓鶩互亘鰐詫藁蕨椀澗
	4750~4751	碗腕
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

JIS第2水準

文字上の2桁の数字は点コードを表わします。
従って「丶」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
4801~4809	式 丐 丕 个 卯 丶 丶 丶 丶 丶
4810~4819	乖 乘 亂 丂 豫 事 舒 式 于 亞
4820~4829	亟 亾 亢 京 毫 宣 从 仍 仄 仆
4830~4839	彷 仗 刚 𠂇 𠂇 价 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇
4840~4849	徇 伦 佧 佧 修 佧 佧 佧 佧 佧
4850~4859	侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷
4860~4869	侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷
4870~4879	侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷
4880~4889	侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷 侷
4890~4894	傀 傀 傀 傀 傀 傀 傀 傀 傀 傀
4901~4909	僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕
4910~4919	僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕
4920~4929	僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕 僕
4930~4939	兢 競 競 競 競 競 競 競 競 競
4940~4949	問 間 間 間 間 間 間 間 間 間
4950~4959	决 𠮶 冲 冰 况 冴 冴 冴 冴 冴
4960~4969	几 處 函 凭 凤 凰 口 凰 刑 刑
4970~4979	剗 刊 剗 刊 剗 刊 剗 刊 剗 刊
4980~4989	剗 刈 剗 刈 剗 刈 剗 刈 剗 刈
4990~4994	剗 刈 剗 刈 剗 刈 剗 刈 剗 刈
5001~5009	辨 辨 劍 劍 劍 劍 劍 劍 劍 劍
5010~5019	勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸
5020~5029	勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸
5030~5039	勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸
5040~5049	危 邑 邑 参 篆 篆 双 双 夏 夏
5050~5059	厥 叻 曷 曷 曷 曷 曷 曷 曷 曷
5060~5069	吁 叻 吻 吻 吻 吻 吻 吻 吻 吻
5070~5079	盼 吻 吻 吻 吻 吻 吻 吻 吻 吻
5080~5089	咒 呴 呴 呴 呴 呴 呴 呴 呴 呴
5090~5094	啞 啞 啞 啞 啞 啞 啞 啞 啞 啞
5101~5109	啞 啞 啞 啞 啞 啞 啞 啞 啞 啞
5110~5119	唔 嘎 嘎 嘎 嘎 嘎 嘎 嘎 嘎 嘎
5120~5129	唔 嘎 嘎 嘎 嘎 嘎 嘎 嘎 嘎 嘎
5130~5139	咯 喊 喊 喊 喊 喊 喊 喊 喊 喊
5140~5149	喻 嘴 嘴 嘴 嘴 嘴 嘴 嘴 嘴 嘴
5150~5159	嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔
5160~5169	嘴 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔
5170~5179	嚙 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔
5180~5189	嚙 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔
5190~5194	嚙 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔 嘔
5201~5209	囝 囝 囝 囝 囝 囝 囝 囝 囝 囝
5210~5219	壻 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤
5220~5229	壻 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤
5230~5239	壻 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤
5240~5249	壻 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤
5250~5259	壻 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤 埤
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
5260~5269	壻 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢
5270~5279	壻 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢
5280~5289	壻 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢
5290~5294	壻 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢 壢
5301~5309	奸 妒 妒 妒 妒 妒 妒 妒 妒 妒
5310~5319	姜 妍 妍 妍 妍 妍 妍 妍 妍 妍
5320~5329	婀 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮 姮
5330~5339	嫋 嫋 嫋 嫄 嫄 嫄 嫄 嫄 嫄 嫄
5340~5349	嬌 嬪 嬪 嬪 嬪 嬪 嬪 嬪 嬪 嬪
5350~5359	嬌 嬪 嬪 嬪 嬪 嬪 嬪 嬪 嬪 嬪
5360~5369	學 李 穡 穡 穡 穡 穡 穡 穡 穡
5370~5379	寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃
5380~5389	寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃
5390~5394	尹 尹 尹 尹 尹 尹 尹 尹 尹 尹
5401~5409	屮 帕 帕 帕 帕 帕 帕 帕 帕 帕
5410~5419	岑 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳
5420~5429	峩 峩 峩 峩 峩 峩 峩 峩 峩 峩
5430~5439	峩 峩 峩 峩 峩 峩 峩 峩 峩 峩
5440~5449	嵌 嵌 嵌 嵌 嵌 嵌 嵌 嵌 嵌 嵌
5450~5459	嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠
5460~5469	嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠
5470~5479	嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠
5480~5489	嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠 嶠
5490~5494	廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁
5501~5509	廖 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁
5510~5519	廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁
5520~5529	廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁
5530~5539	廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁
5540~5549	廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁 廁
5550~5559	徯 徯 徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 徯 徯
5560~5569	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 徯 徯 徯 徯
5570~5579	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 徯 �𬀩 徯 徯
5580~5589	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5590~5594	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5601~5609	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5610~5619	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5620~5629	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5630~5639	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5640~5649	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5650~5659	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5660~5669	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5670~5679	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5680~5689	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5690~5694	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5701~5709	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5710~5719	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5720~5729	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5730~5739	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5740~5749	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5750~5759	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
5760~5769	徯 徯 徯 徯 徯 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩 �𬀩
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
5770~5779	揉 插 捶 摘 搞 奪 携 搓 捭 搶
5780~5789	攝 摄 捺 搏 摧 摧 搏 捏 搦 搦
5790~5794	撓 撻 撷 撈 撃 撈 撈 撈 撈 撈
5801~5809	據 擾 擾 擾 擾 擾 擾 擾 擾 擾
5810~5819	擧 擧 擧 擧 擧 擧 擧 擧 擧 擧
5820~5829	擺 攀 攀 攀 攀 攀 攀 攀 攀 攀
5830~5839	攖 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮
5840~5849	攖 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮
5850~5859	攖 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮
5860~5869	攖 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮
5870~5879	攖 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮
5880~5889	攖 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮 攮
5890~5894	暨 遥 曉 瞳 曜 曜 曜 曜 曜 曜
5901~5909	瞇 瞳 瞳 瞳 瞳 瞳 瞳 瞳 瞳 瞳
5910~5919	曳 曬 曠 曠 曠 曠 曠 曠 曠 曠
5920~5929	朶 肋 初 杆 杆 杆 杆 杆 杆 杆
5930~5939	朶 杰 杆 杆 杆 杆 杆 杆 杆 杆
5940~5949	枷 柯 楠 杆 杆 杆 杆 杆 杆 杆
5950~5959	柢 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
5960~5969	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
5970~5979	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
5980~5989	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
5990~5994	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6001~6009	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6010~6019	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6020~6029	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6030~6039	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6040~6049	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6050~6059	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6060~6069	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6070~6079	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6080~6089	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6090~6094	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6101~6109	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6110~6119	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6120~6129	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6130~6139	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6140~6149	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6150~6159	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6160~6169	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6170~6179	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6180~6189	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6190~6194	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6201~6209	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6210~6219	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6220~6229	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6230~6239	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6240~6249	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6250~6259	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6260~6269	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
6270~6279	榦 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆 榆
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
6280~6289	溥 濡 漵 漵 漵 漵 漵 漵 漵 漵
6290~6294	滲 漵 漵 漵 漵 漵 漵 漵 漵 漵
6301~6309	潑 漵 漵 漵 漵 漵 漵 漵 漵 漵
6310~6319	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6320~6329	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6330~6339	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6340~6349	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6350~6359	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6360~6369	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6370~6379	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6380~6389	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6390~9394	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6401~6409	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6410~6419	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6420~6429	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6430~6439	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6440~6449	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6450~6459	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6460~6469	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6470~6479	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6480~6489	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6490~6494	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6501~6509	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6510~6519	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6520~6529	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6530~6539	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6540~6549	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6550~6559	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6560~6569	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6570~6579	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6580~6589	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6590~6594	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6601~6609	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6610~6619	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6620~6629	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6630~6639	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6640~6649	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6650~6659	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6660~6669	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6670~6679	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6680~6689	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6690~6694	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6701~6709	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6710~6719	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6720~6729	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6730~6739	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6740~6749	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6750~6759	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6760~6769	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6770~6779	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
6780~6789	潑 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛 潛
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
7810~7819	遞 漱 選 遅 隨 遷 遵 遠 適 遇 邀
7820~7829	邊 邊 還 邰 邯 邛 邅 邪 邝 邫
7830~7839	鄂 鄂 鄒 鄕 鄉 鄢 鄔 鄖 鄗 鄙
7840~7849	酥 酥 酣 醍 醇 醇 醇 醇 醇 醇
7850~7859	醪 酿 酒 酒 酒 酒 酒 酒 酒 酒
7860~7869	釀 金 鈎 鈎 鈎 鈎 鈎 鈎 鈎 鈎
7870~7879	鉢 鉢 鉢 鉢 鉢 鉢 鉢 鉢 鉢 鉢
7880~7889	鉋 鉋 鉋 鉋 鉋 鉋 鉋 鉋 鉋 鉋
7890~7894	銛 銛 銛 銛 銛 銛 銛 銛 銛 銛
7901~7909	鎌 鎌 鎌 鎌 鎌 鎌 鎌 鎌 鎌 鎌
7910~7919	鍼 鍑 鍑 鍑 鍑 鍑 鍑 鍑 鍑 鍑
7920~7929	鑿 鑿 鑿 鑿 鑿 鑿 鑿 鑿 鑿 鑿
7930~7939	鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽
7940~7949	鑿 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽
7950~7959	鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽
7960~7969	鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽 鑽
7970~7979	閥 閥 閥 閥 閥 閥 閥 閥 閥 閥
7980~7989	閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘
7990~7994	關 閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘
8001~8009	陥 陥 陥 陥 陥 陥 陥 陥 陥 陥
8010~8019	険 険 険 険 険 険 険 険 険 険
8020~8029	雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰
8030~8039	雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰
8040~8049	雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰
8050~8059	雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰 雰
8060~8069	鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞
8070~8079	鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞
8080~8089	鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞
8090~8094	韻 韵 韵 韵 韵 韵 韵 韵 韵 韵
8101~8109	顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛
8110~8119	顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛 顛
8120~8129	餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃
8130~8139	餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃 餃
8140~8149	馳 馳 馳 馳 馳 馳 馳 馳 馳 馳
8150~8159	駕 駕 駕 駕 駕 駕 駕 駕 駕 駕
8160~8169	驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅
8170~8179	驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅
8180~8189	驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅 驅
8190~8194	鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢
8201~8209	鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢
8210~8219	鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢 鬢
8220~8229	鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8230~8239	鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8240~8249	鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8250~8259	鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8260~8269	鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8270~8279	鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8280~8289	鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓 鮓
8290~8294	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8301~8309	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8310~8319	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
8320~8329	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8330~8339	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8340~8349	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8350~8359	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8360~8369	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8370~8379	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8380~8389	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8390~8394	鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴 鶴
8401~8406	堯 橫 遙 瑞 凜 熙
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

その他

以下の132文字は本機特有の漢字です。
文字上の数字はコードの下2桁を表します。

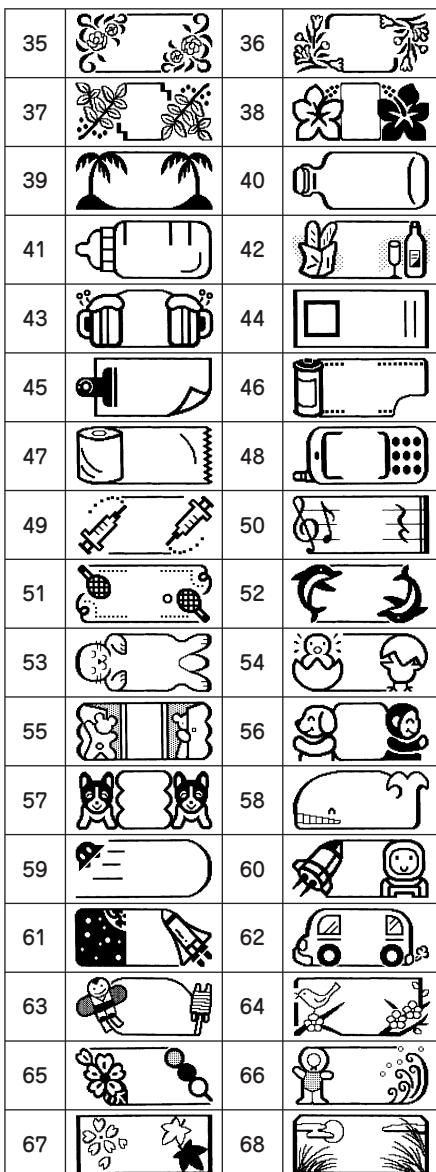
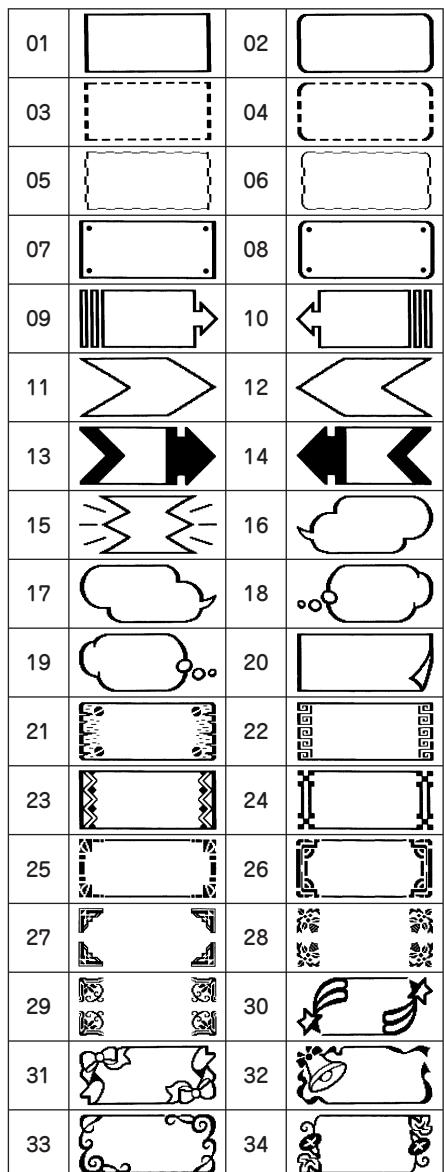
コード									
85									15 澄
01	鷗	葛	祇	麌	鷓	錚	繡	蹕	涇
02	葛	葛	祇	祇	鷄	鷄	鷄	蹕	涇
03	祇	祇	祇	祇	鷄	鷄	鷄	蹕	涇
04	鷄	鷄	鷄	鷄	鷄	鷄	鷄	蹕	涇
05	鷄	鷄	鷄	鷄	鷄	鷄	鷄	蹕	涇
06	鷄	鷄	鷄	鷄	鷄	鷄	鷄	蹕	涇
07	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕
08	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕
09	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕
10	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕
11	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕
12	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕
13	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕
14	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕
15	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕	蹕
86									15 嶺
01	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
02	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
03	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
04	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
05	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
06	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
07	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
08	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
09	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
10	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
11	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
12	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
13	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
14	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
15	步	墨	每	賴	欄	處	綠	淚	類
付 録									

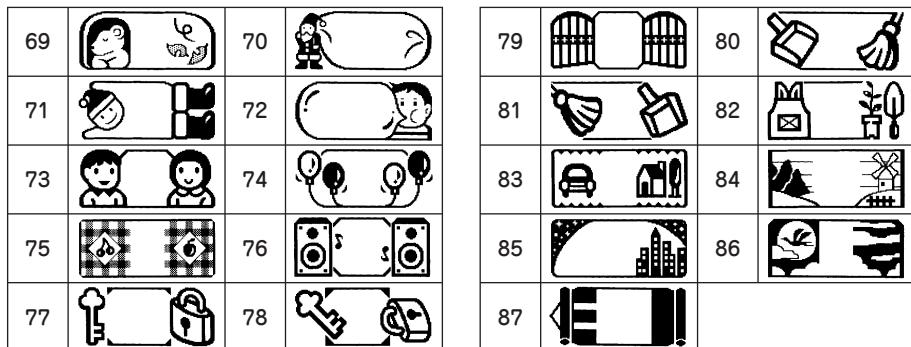
外枠一覧表

!!注意!!

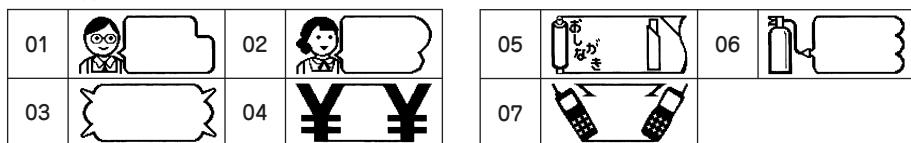
外枠一覧表の外枠と印刷される外枠の結果が若干異なるものがあります。

外枠

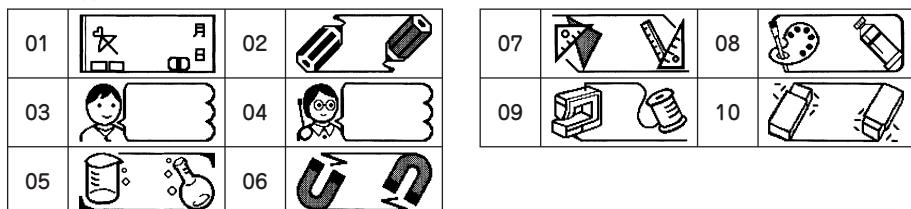




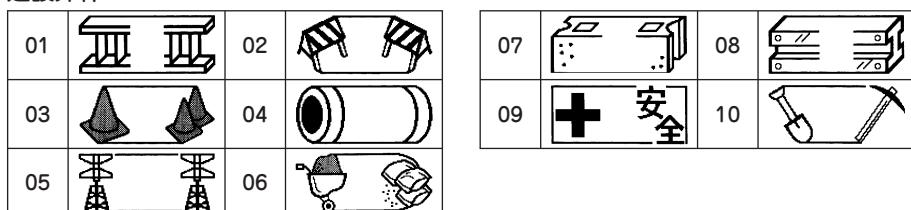
お店外枠



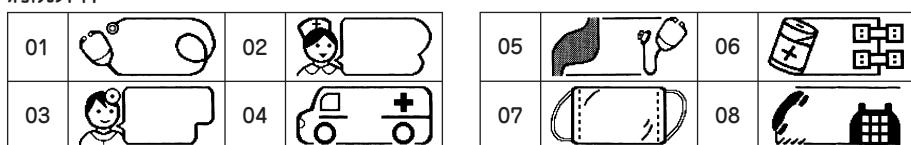
学校外枠



建設外枠



病院外枠



記号一覧表

!! 注意 !!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が若干異なるものがあります。

省略	カッコ	単位	数字
# No. & ナンバー	‘ ’ “ ” ()	% % μ m mm cm	① ② ③ ④ ⑤
© ® 秘印済) [] []	m km ft mile cm ²	⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
注控検問答	{ } < > { }	m ² a ha km ³ cm ³	⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
祝休祭(代)(内)	» 「 」 『 』	m ³ mg g kg t	⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
(直)(呼)(株)K.K.(有)	[]	cc mℓ dℓ ℓ kℓ	○ 一二三四
(財)(社)(特)(学)TEL		mol ¥ (円) \$ €	五六七八九
FAX ♂ ♀		£ Fr ₣ A V	I II III IV V
記述	矢印	Ω W kHz dB	VI VII VIII IX X
、 。 , . .	→ ← ↑ ↓ ↗ ↘ ↙ ↖ ↛ ↚	H A @ ° ‘	i ii iii iv v
: ; ? ! —	↑ ↓ ↔ ↔	” °C °F Pt ct	vi vii viii ix x
- / \ ~ @	图形	算数	1 2 3 4 5
~ _ § † ‡	○ ● ○ △ ▲	+ - ± × ÷	6 7 8 9 0
\ バ ッ ッ //	▽ ▼ ◇ ◆ □	= ≠ < > ≤	1 2 3 4 5
全々々	■ ☆ ☆ ◇ ◆	≥ ∞ ∴ ≡ ≒	6 7 8 9 0
※ *	♣ ♠ ♥ ♡ ♣	√ ∞ ∧ ∫	+ - 1/2 1/3 2/3
	♣		1/4 3/4

2桁数字

00～99

年号

'00～'99

ギリシャ

ΑΒΓΔΕ

ΖΗΘΙΚ

ΛΜΝΞΟ

ΠΡΣΤΥ

ΦΧΨΩα

βγδεξ

ηθικλ

μνξοπ

ρστυφ

χψω

欧洲

ä ë ï ö ü

Ä Ë Ï Ö Ü

á é í ó ú

Á É Í Ó Ú

à è ì ò ù

À È Ì Ò Ù

â ê î ô û

Â Ê Î Ô Û

ñ ñ ß ç ç

œ œ ð i

編集

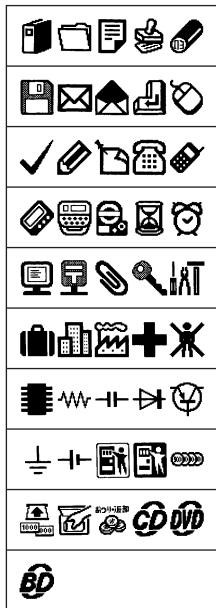
■

絵文字一覧表

!!注意!!

絵文字一覧表の絵文字と印刷される絵文字の結果が若干異なるものがあります。

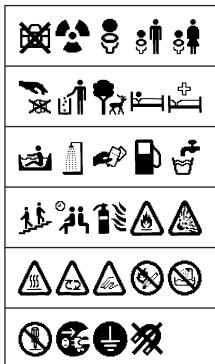
仕事



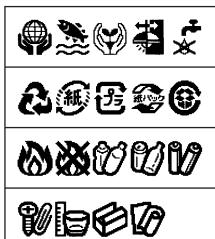
公共用



公共用（続き）



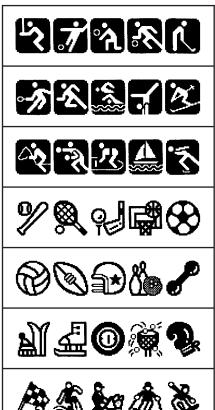
環境



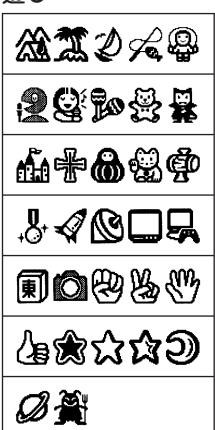
荷物



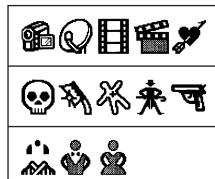
スポーツ



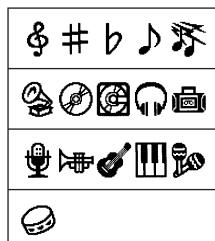
遊び



映画



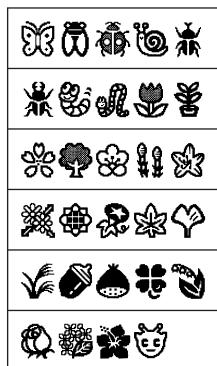
音楽



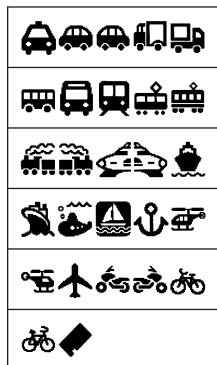
生き物



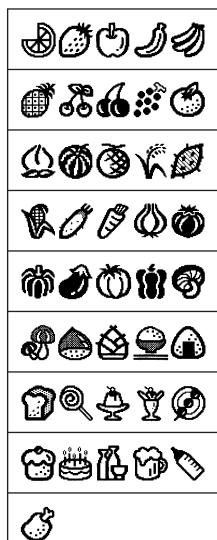
生き物（続き）



乗り物



食べ物



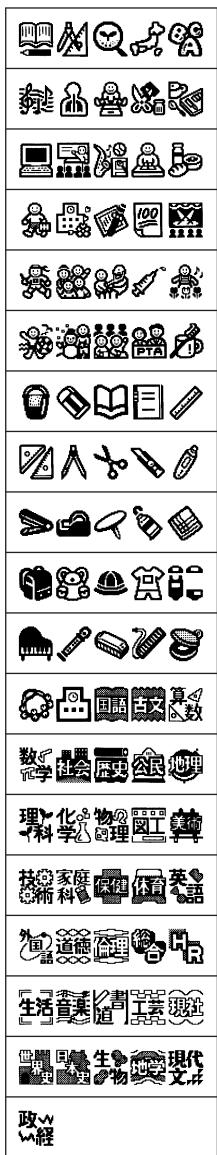
予定



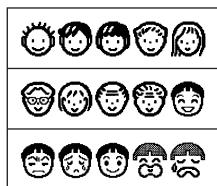
暮らし



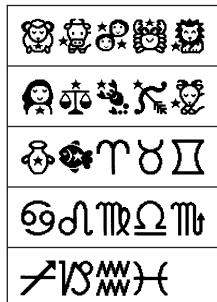
学校



家族



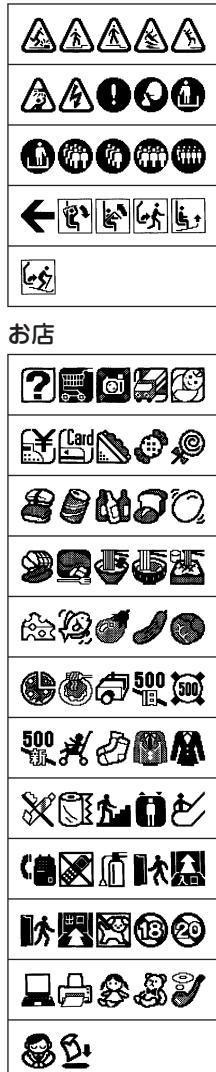
星座



案内用



案内用（続き）



建設



ケータイ風



イラスト・顔文字

$(\wedge \wedge \vee (+_+)(\cdot \cdot ;)(>_<)(\top _\top)(\wedge \circ \wedge)$

イラスト・POP

イラスト・学校

イラスト・建設

イラスト・病院

デザインフォーム一覧表

!!注意!!

- ・使用するテープ幅によってレイアウトは多少変わることがあります。ラベルサンプルは一部を除き12mm幅テープで印刷したものを縮小したものです。
- ・推奨テープ以外のテープ幅では、「行数オーバー」と表示され印刷できないことがあります。

● 分別廃棄・環境（推奨テープ幅 9~24mm）

■可燃ごみ



可燃ごみ

■不燃ごみ



不燃ごみ

■ペットボトル



ペットボトル

■ビン・カン



ビン・カン

■金属類



金属類

■ダンボール



ダンボール

■節電



節電

■乾電池



乾電池

■プラスチック



プラスチック

■紙類



紙類

■節水



節水

● 施設表示（推奨テープ幅 9~24mm）

■案内所



■情報コーナー



■病院



■救護所



■警察



■お手洗



■男子



■女子



■身障者用設備



■車椅子スロープ



■飲料水



■喫煙所



■消火器



■非常電話



非常電話

Emergency telephone

■非常口



非常口

Emergency exit

■禁止



禁 止

Prohibited

■進入禁止



進入禁止

No entry

■自転車禁止



自転車乗り入れ禁止

No bicycles

■かけ込み禁止



かけ込み禁止

Do not rush

■飲めない



飲めない

Not for drinking

■電子機器禁止



電子機器使用禁止

Do not use electronic devices

■フラッシュ



フラッシュ撮影禁止

Do not take flash photographs

■障害物注意



障害物注意

Watch for obstacles

■下り段差注意



下り段差注意

Caution: Downward slope

■転落注意



転落注意

Caution: Drop-off

■指示



指 示

Rules

■立つ（左側）



左側にお立ちください

Please stand on the left

■非常ボタン



非常ボタン

Emergency call button

■広域避難場所



広域避難場所

Evacuation area

■禁煙



禁 煙

No smoking

■火気厳禁



火気厳禁

No open flame

■駐車禁止



駐車禁止

No parking

■立入禁止



立入禁止

No admittance

■捨てるな



捨てるな

No littering

■携帯禁止



携帯電話使用禁止

Do not use mobile phones

■撮影禁止



撮影禁止

Do not take photographs

■注意



注 意

Caution

■上り段差注意



上り段差注意

Caution: Upward slope

■滑面注意



滑面注意

Caution: Slippery surface

■感電注意



感電注意

Shock hazard

■静かに



静かに

Quiet, please

■立つ（右側）



右側にお立ちください

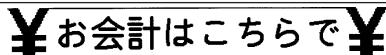
Please stand on the right

● お店表示 (推奨テープ幅 6~24mm)

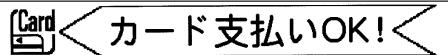
■入荷待ち



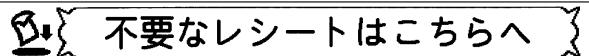
■お会計



■カード支払い



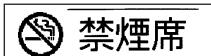
■不要レシート



■休憩所



■禁煙席



■喫煙席



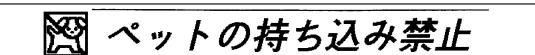
■警備員巡回中



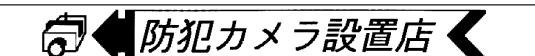
■係員



■ペット禁止



■防犯カメラ



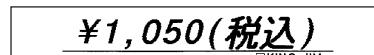
■当店HP



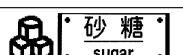
■配送



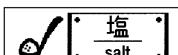
■値札



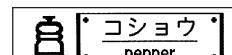
■砂糖



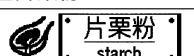
■塩



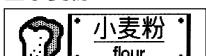
■コショウ



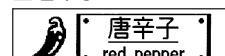
■片栗粉



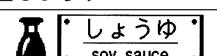
■小麦粉



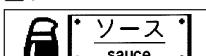
■唐辛子



■しょうゆ



■ソース



● 日・英併記 (推奨テープ幅 9~24mm)

■カード支払い



クレジットカード利用できます
Credit cards accepted

■現金払い



お支払いは日本円の現金でお願いします
Please pay in yen

■消費税

表示価格に消費税が含まれています
Price includes consumption tax

■両替

当店では両替できません
We cannot exchange currency here

■レシート不要



不要なレシートはこちらへ
Discard unneeded receipts here

■触れないで



商品にはお手を触れないようお願いいたします
Please don't touch the merchandise

■携帯電話禁止



携帯電話の使用はご遠慮ください
Refrain from using mobile phones

■飲食禁止



店内での飲食はご遠慮ください
Please do not eat or drink in this store

■防犯カメラ



防犯カメラ作動中
Security camera in use

■ラッピング



ギフトラッピング無料で承ります
Gift-wrapping at no extra charge

■新商品



こちらは新商品です
New product

■パンフレット



パンフレットをご自由にお持ちください
Help yourself to a pamphlet!

■ご覧ください

手にとってご覧ください

Feel free to handle the merchandise

■店長おすすめ



店長のおすすめ
Manager's Recommendation

■配達



配達できます

Delivery service available

■故障中



故障中
Out of order

■年中無休

年中無休

Open 365 days a year

■お手洗



トイレをきれいに使って頂き、ありがとうございます。
Thank you for keeping the restroom clean

■並ぶ



こちらからお並びください
Please line up here

● お名前（推奨テープ幅 9~24mm）

■名札

■KING JIM 東京営業所
主任 佐藤 美香

■住所・氏名

NAME: 佐藤 美香
ADDRESS: 千代田区東神田2-10-18
TEL: 090-9876-0000

■学校持ち物

1ねん2くみ さとうみか

● オフィス

■備品管理票（推奨テープ幅 18~24mm） ■ケーブル（24mm幅テープ専用）

備品名	デジタルPBX
管理番号	0512-S
購入年月	20XX年10月
管理部署	営業部

NPO-0745

■回覧の捺印（推奨テープ幅 9~24mm）

回覧

● QRコード（推奨テープ幅 24mm）

■QR携帯1

	佐藤 美香
03-0000-0000	
090-0000-0000	
XXXX@kingjim.co.jp	
XXXX@docomo.ne.jp	

■QR携帯2

	佐藤 美香
03-0000-0000	
090-0000-0000	
XXXX@kingjim.co.jp	
XXXX@ezweb.ne.jp	

■QR携帯3

	佐藤 美香
03-0000-0000	
090-0000-0000	
XXXX@kingjim.co.jp	
XXXX@softbank.ne.jp	

■QR備品管理

備品名	607d
管理番号	KG00206
購入年月日	20XX年5月12日
管理部署	開発技術部



おもな仕様

■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式（66鍵）
入力状態	文字ボタン39、機能ボタン27 ローマ字入力、かなめくり入力、ABC入力
	小文字入力、小文字ロック（ABC入力時のみ）、記号入力、外字入力、コピー機能（30文字まで）、コード変換入力（区点コード・JISコード・ソフトJISコード）、部首読み入力、部首画数入力、ABC半角入力（QRコード時のみ）
漢字変換方式	ATOK for テプラ（予測入力、学習機能付き連文節変換） 搭載語句数 約119,000語（追加可能）

■表示

表示装置	ドットマトリクスSTN液晶パネル（バックライト付き）
文字表示	130dot×64dot(8chr×4line)
表示濃度	-5～ふつう～+5(11段階)
インジケーター	14個

■記憶

文章メモリー	約175文字
内蔵ファイル	可変長データ式（あて名・名前と共に用）
	約5,000文字/最大99ファイル（ファイル名を含む）
辞書登録	最大30件
外字登録	ピットマップフルライン自動拡大登録
	フルライン（16・24・32・48ドット）×4文字
あて名登録	最大99件
名前登録	最大40件
印刷履歴	最大5件

■フォント

内蔵文字数	全8,379文字
	漢字 JIS第1水準2,965字、JIS第2水準3,390字、その他132字
	ひらがな・カタカナ・英数字・記号・その他
内蔵フォント	ピットマップフォント
	明朝体、ゴシック体、丸ゴシック体、太ゴシック体、ポップ体、行書体、隸書体（漢字書体・かな書体・英数書体）
	えれん体、ハッピ体、あしひ体、てまり体（かな書体）
	サンセリフHV体、クラレンドン・ローマン体、スクриプトBR体、スクリプトPL体、サンセリフST体、クロイスター・ブラック体（英数書体）

■印刷

印刷方式	熱転写PRO印刷方式
印刷濃度	-3～ふつう～+3(7段階)
ヘッド構成	サーマルヘッド・128dot、180dpi
テープ幅検出	Pテープ規格検出孔対応
テープカートリッジ	Pテープ規格ワンタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、耐摩擦PRO印刷式、4・6・9・12・18・24mm幅
カッター	オートカッター
トリマー	センサーつき自動カド丸仕上げ（半径3mm）

■印刷機能

文字構成

7段階
P字 16 × 16dot (6ポイント相当)
S字 24 × 24dot (10ポイント相当)
M字 32 × 32dot (13ポイント相当)
L字 48 × 48dot (19ポイント相当)
G字 64 × 64dot (26ポイント相当)
U字 96 × 96dot (38ポイント相当)
H字 120 × 120dot (48ポイント相当)

※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。

106種 (テンプレート式)

6種

99件 カスタマバーコード印刷機能付

40件

拡大、連続、鏡文字

加算一方向 (繰り返し回数指定可)

QRコード、JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF (7種)

デザインフォーム
ビジネスフォーム
あて名印刷最大
名前印刷最大
特殊印刷
連番機能
バーコード

■電源、その他

主電源
補助バッテリー
電源スイッチ
パワーオフ

パソコン接続
寸法
重量
同梱品

別売品

AC100V (同梱ACアダプタAC1116J使用のこと)

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池 (単3形×6本)

ボタン式

操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする (外字作成・修正中、ACアダプタ使用時のパソコンリンク中を除く)

USBケーブルにて接続

約180W×235D×80H (mm)

約770g (電池、テープカートリッジを除く)

試用PROテープカートリッジ

ACアダプタ (AC1116J)

PCラベルソフト (CD-ROM)

取扱説明書、PCラベルソフト取扱説明書、保証書

PROテープカートリッジ

ヘッド・クリーニングキット (RC15)

ヘッド・クリーニングテープ (SR24C)

トリマー (RT36W)

ハーフカッター (RH24)

ラベルラミネーター (RL18)

リボンキット (SRR10)

USBデバイスサーバ (RDS10)

システムトランク (SR9BTN)

システムバッグ (SR8B)

システムケース (SR9H)

テープカートリッジケース (SR4TH)

■使用条件

温度環境

動作時 5°C ~ 35°C

保存時 -10°C ~ 55°C

湿度環境

動作時 30% ~ 80% (非結露)

保存時 5% ~ 80% (非結露)

索引

記号

- ☒☒ (印刷不可行頭マーク) 20, 43
- ▷▽△◁ (カーソルボタン) 19
- ①② (空白行頭マーク) 20, 43
- 罫 (罫入力記号) 39, 71
- ①② (実質行頭マーク) 20, 43
- (全角スペース) 38, 39
- (バーコードマーク) 54
- (半角スペース) 38
- ◀ (フルメモリーマーク) 20
- ▶ (文字モード指定マーク) 20, 63
- ¹N²N (連番マーク) 50, 51

英数字

- 2桁繰り上り (連続番号) 50
- 2桁数字 61
- 2桁数字 (記号) 155
- 2倍印刷 84, 85
- 3倍印刷 84, 85
- 4倍印刷 84
- 5倍印刷 84
- 6倍印刷 84
- A4ファイル (定長) 65, 68
- ABC入力 32
- ABC入力【半角】(QRコード) 55
- ACアダプタ 10, 22
- ACアダプタ差込み口 17
- ATOK変換画面 31
- ATOK予測入力画面 30
- B5ファイル (定長) 65, 68
- C/D (バーコード) 52, 53
- CD・DVDケース (定長) 65, 68
- ITF (バーコード) 52, 53
- JAN-8 (バーコード) 52, 53
- JAN-13 (バーコード) 52, 53
- MD (定長) 65, 68
- NW-7 (バーコード) 52, 53
- (電源) 19
- PCラベルソフト 10
- QRコード (デザインフォーム) 100, 164
- QRコード (バーコード) 52, 55
- RC15 (ヘッド・クリーニングキット) 11, 141
- RDS10 (USBデバイスサーバ) 11
- RH24 (ハーフカッター) 11
- RL18 (ラベルラミネーター) 11
- RT36W (トリマー) 11
- SRR10 (りばんキット) 11
- SR4TH (テープカートリッジケース) 11

- SR8B (システムバッグ) 11
- SR9BTN (システムトランク) 11
- SR9H (システムケース) 11
- SR24C (ヘッド・クリーニングテープ) 11, 141
- UPC-A (バーコード) 52, 53
- UPC-E (バーコード) 52, 53
- URL (QRコード) 52, 55
- USBインターフェイスコネクタ 16
- USBデバイスサーバ (RDS10) 11
- VHS (定長) 65, 68

あ

- あ・ア・A (無変換) 19, 33
- アイロン転写テープ 134
- アイロンラベル 134
- 遊び (絵文字) 156
- あて名 101, 107
 - 印刷 110
 - 修正 109
 - 消去 109
 - 登録 108
 - 複写 110
- 後揃え (割付け) 65, 72
- 後寄せ (定長) 65
- 網かけ (囲・網) 66
- 誤り訂正率 (QRコード) 52, 55
- アルカリ乾電池 (電池種類) 22, 124, 126
- 案内用 (絵文字) 158
- 生き物 (絵文字) 156
- 一般 (QRコード) 52, 55
- イラスト・POP (絵文字) 159
- イラスト・顔文字 (絵文字) 159
- イラスト・学校 (絵文字) 159
- イラスト・建設 (絵文字) 159
- イラスト・病院 (絵文字) 159
- ◀ (印刷) 18, 81
- 印刷 81
- 印刷イメージ 20, 80
- 印刷実行? 84, 86, 87, 88
- 印刷情報 20
- 印刷設定 18, 89
 - ～メニュー一覧 89
- 印刷濃度 (印刷設定) 89, 91
- 印刷不可行頭マーク (☒☒) 20, 43
- 印刷履歴 101, 105
 - 消去 106
 - 呼出 105
- インジケーター 20
- インデックス (インデックス) 18, 95

インデックス（ビジネスフォーム）	94, 97	囲・網（編集）	66, 73, 127
インデックスラベル	134	飾り字（編集）	66, 72, 127
上カバー	16, 25	カスタマバーコード（あて名）	111
上書き呼出し（ファイル）	103	下線（囲・網）	66
映画（絵文字）	156	家族（絵文字）	157
英字	37	カタカナ	33
英数書体	67, 77	カッコ（記号）	154
絵文字	19, 39	学校（絵文字）	157
～一覧表	156	学校外枠（外枠・表）	65, 153
エラーメッセージ	135	カド丸仕上げ	82
欧洲（記号）	155	かな書体	67, 77
オートカッター	90	かなめくり入力	32, 33
オートトリマー	16, 82, 140	画面	20
オート・パワーオフ	27	仮確定文字	31
多め（余白）	65, 70	環境（絵文字）	156
送りカット（テープ送り）	28	環境設定	19, 124
お手入れ	140	～メニュー一覧	124
お名前（デザインフォーム）	100, 164	漢字	31, 33
オフィス（デザインフォーム）	100, 164	漢字検索	19, 47
おまかせフォーマット（文字サイズ）	59, 67, 75	～メニュー一覧	47
お店（絵文字）	158	漢字書体	67, 77
お店外枠（外枠・表）	65, 153	漢字変換表	144
お店表示（デザインフォーム）	100, 162	規格（バーコード）	53
終り？	128	記号	19, 39
音楽（絵文字）	156	～一覧表	39
音楽テープ（定長）	65, 68	記述（記号）	154
か			
カッター	90	機能の説明（編集）	154
カーソル	20, 40	行	43
～の位置（機能）	62	鏡像	88
カーソルジャンプ	19	強調（斜・強調）	66, 74
カーソルボタン 19, 40	行頭マーク 1 2 … × 1 2 … ×	20, 43	
改行	33, 43	極少（余白）	65, 70
外字	118	ギリシャ（記号）	155
参照修正	123	均等（文字サイズ）	59, 67, 75
参照登録	123	均等割付け（定長）	65
修正	121	均等割付け（割付け）	65, 72
消去	122	空白	38
登録	120	空白行頭マーク (1) (2)	20, 43
複写	122	区点コード	48, 144
呼出	121	暮らし（絵文字）	157
改段落	19, 45	クリーニングテープ	141
鏡文字印刷	84, 88	繰り返し回数（連続番号）	50
角囲み（囲・網）	66	グレー文字ラベル	134
角囲み網（囲・網）	66	黒塗り（外字）	119
学習初期化（環境設定）	124	罫入力記号 (罫)	39, 71
学習内容（初期化）	126	ケータイ風（絵文字）	158
拡大印刷	84, 85	ケーブル（ビジネスフォーム）	95
確定文字	20	ケーブルガイド	17
各部の名前	16	建設（絵文字）	158
影文字（飾り字）	66, 72	建設外枠（外枠・表）	65, 153
		公共用（絵文字）	156
		候補（ATOK変換画面）	31

コード入力 (漢字検索)	47	少なめ (余白)	65, 70
固定フック	16	図形 (記号)	154
□ (コピー)	19	スペース	38
コピー	42	スポーツ (絵文字)	156
細かく (伸・縮)	66, 74	星座 (絵文字)	157
小文字ロック	19, 37	正体 (斜・強調)	66, 74
さ		狭い (文字間)	66, 73
サイズ (文字サイズ)	59, 75	□ (背見出し)	18, 95
削除 (削除・取消)	19	背見出し (ビジネスフォーム)	94, 97
削除	41	セルサイズ (QRコード)	52, 55
算数 (記号)	154	全角スペース ()	38, 39
仕事 (絵文字)	156	全消去	19, 41
辞書	101, 116	全体の幅 (バーコード)	52, 53
修正	117	□ (選択・改行)	19
消去	117	全文消去	41
登録	116	操作パネル	18
呼び出す	116	促音	34
システムケース (SR9H)	11	外枠 (外枠・表)	65, 71, 152
システムトランク (SR9BTN)	11	～一覧表	152
システムバッグ (SR8B)	11	外枠・表 (編集)	65, 71, 127
施設表示 (デザインフォーム)	100, 160	た	
実質行頭マーク (1 2)	20, 43	耐熱ラベル	134
指定範囲 (機能)	62	濁音	34
自動 (英数書体)	67, 77	□ (縦・横)	18, 60
自動 (かな書体)	67, 77	縦・横 (編集)	66, 75, 127
自動カット (印刷設定)	89, 90	たて書き (縦・横)	60, 66, 75
～しない	90	食べ物 (絵文字)	157
□ (シフト)	19	単位 (記号)	154
地紋 (編集)	66, 74, 127	段落	45
斜・強調 (編集)	66, 74, 127	小さく (伸・縮)	66, 74
斜強調 (斜・強調)	66, 74	チェックデジット (バーコード)	53
斜体 (斜・強調)	66, 74	縮める (伸・縮)	66, 74
充電式ニッケル水素電池	22, 23	蓄光ラベル	134
仕様	165	つめ ²	69
消去	41	ディスプレイ	16, 20
上質紙ラベル	134	～の濃度	125
省略 (記号)	154	訂正線 (団・網)	66
初期化	129	定長 (編集)	65, 68, 127
初期設定値	127	データ転送ソフト	101
初期値 (連続番号)	50	テープ送り	18, 28
□ (書体)	18, 58	テープカートリッジ	25, 134
書体	58	～をセットする	25
～を変更する	58	テープカートリッジケース (SR4TH)	11
書体 (編集)	67, 77, 127	テープカートリッジセット部	16
白抜き (飾り字)	66, 72	テープ確認窓	16
白抜影 (飾り字)	66, 72	テープ通路	16
白塗り (外字)	119	テープ出口	16
伸・縮 (編集)	66, 74, 127	テープ幅	43, 76
推奨テープ幅 (ビジネスフォーム)	96	テープ幅と同じ (余白)	65, 70
数字 (記号)	154	テープ幅の1/3 (余白)	65, 70
数値指定 (定長)	65, 68	テキスト画面	20

デザインフォーム	18、98
～一覧表	160
～メニュー一覧	100
デモ印刷	132
電源	
～を入れる	27
～を切る	28
電池	22
電池カバー	17、22
電池ケース	17
電池種類（環境設定）	124、126
点滅文字	20
同梱品	10
[特殊印刷]	18、84
特殊印刷	84
～メニュー一覧	84
止めるまで	84
取消	19
トリマー（RT36W）	11
トリマーガイド	16
トリマーカバー	17、140
トリマー差込み口	16
トリマーテープル	16
な	
長い文章	36
中揃え（割付け）	65、72
中寄せ（定長）	65
なし（囲・網）	66
名前	101、113
印刷	115
修正	114
消去	114
登録	113
日・英併記（デザインフォーム）	100、163
ニッケル水素電池（電池種類）	22、124、126
荷物（絵文字）	156
[入力]（入力切換）	19
入力状態	32
入力文字	30
入力文字一覧表	142
ネガ文字	20
熱収縮チューブ	134
年号（記号）	155
伸ばす（伸・縮）	66、74
乗り物（絵文字）	157
は	
バーコード	18、52、53
～メニュー一覧	52
バーコードマーク（■）	54
ハーフカッター（RH24）	11
○（パソコンリンク）	19
バックアップ	101
バックライト（環境設定）	124、125
貼り付け	19、42
範囲は？（編集）	63
半角スペース（_）	38
半濁音	34
ビジネスフォーム	18、94
～メニュー一覧	97
[備品管理・ケーブル]	18、95
備品管理（ビジネスフォーム）	94
備品管理/ケーブル（ビジネスフォーム）	97
病院（絵文字）	158
病院外枠（外枠・表）	65、153
描画エリア（外字）	119
表組み（外枠・表）	65、71
表示濃度（環境設定）	124、125
表示の切り替え	131
ひらがな	33
広い（文字間）	66、73
[ファイル]	18、101
ファイル	101
消去	104
登録	102
～メニュー一覧	101
呼出	103
部首画数（漢字検索）	47、49
部首読み（漢字検索）	47、49
ふつう（飾り字）	66、72
ふつう（伸・縮）	66、74
ふつう（文字間）	66、73
ふつう（余白）	65、70
[復活]	19
ふりがな（名前）	113、115
フルメモリーマーク（◀）	20
[プレビュー]	18、80
プレビュー	80
プロポーションナル（文字間）	66、73
分割（段落）	46
文章	
～を消去する	41
～を登録する	101
～を入力する	40
～を呼び出す	101
分別廃棄・環境（デザインフォーム）	100、160
ペースト	42
ヘッド・クリーニングキット（RC15）	11、141
ヘッド・クリーニングテープ（SR24C）	11、141
別売品	11
[変換スペース]（漢字変換、スペース入力）	19
変換	31、33
変換候補一覧（ATOK変換画面）	31
変換候補数（ATOK変換画面）	31

変換候補番号 (ATOK変換画面)	31
変換対象 (ATOK変換画面)	31
■ (編集)	18、62
編集	62
～メニュー一覧	65
編集 (記号)	155
細・太の比率 (バーコード)	52、53
保存値	127、128
保存値設定 (環境設定)	124、128
保存値復元 (環境設定)	124、128
ま	
枚数指定	84
前揃え (割付け)	65、72
前寄せ (定長)	65
マグネットテープ	134
マスキングテープ「mt」ラベル	134
丸囲み (囲・網)	66
丸囲み網 (囲・網)	66
みえ ²	18、131
密着 (文字間)	66、73
ミニDV (定長)	65、68
メニュー一覧	
印刷設定	89
環境設定	124
漢字検索	47
デザインフォーム	100
特殊印刷	84
バーコード	52
ビジネスフォーム	97
ファイル	101
編集	65
文字	
～を削除する	41
～を挿入する	41
～を入力する	33
文字間 (編集)	66、73、127
■ (文字サイズ)	18、59
文字サイズ	59
～を変更する	59
文字サイズ (編集)	67、75、127
文字入力	30
文字ボタン	19
文字モード指定マーク (▶)	20、63
や	
矢印 (記号)	154
有効範囲	63
拗音	34
用途 (QRコード)	52、55
よこ書き (縦・横)	60、66、75
予測	30
予測候補数 (ATOK予測入力画面)	30
予測候補番号 (ATOK予測入力画面)	30
予測入力	30、35
予測入力候補一覧 (ATOK予測入力画面)	30
予定 (絵文字)	157
余白 (編集)	65、70、127
読みの長さ	36
ら	
らく ² (文字サイズ)	67、75
ラベル	
～を貼る	83
ラベルラミネーター (RL18)	11
リセット (印刷設定)	89、92
りばん	134
りばんキット (SRR10)	11
連結呼出し (ファイル)	103
連続印刷	84、87
連続番号	50
■ (連番)	18
連番	50
連番マーク (N ² N)	50、51
ローマ字入力	32、33
ローマ字変換表	143
わ	
割付け (編集)	65、72、127

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

お客様相談室 ☎0120-79-8107

携帯電話からの場合 0570-06-4759 (通話料お客様負担)

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031

[https://www.kingjim.co.jp/](http://www.kingjim.co.jp/)

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

「テプラ」PRO SR550 取扱説明書

2013年 10月 第2版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目 10 番 18 号

SR550

取扱説明書



・お問い合わせ

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話からの場合 0570-06-4759 (通話料お客様負担)

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031

<https://www. kingjim.co.jp/>

©2009 Printed in China 06-②